

金城学院大学 看護学部 看護学科

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
 - 1) 学生の確保の見通し
 - 2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

2. 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
 - 1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）
 - 2) 上記 1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1.学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1) 学生の確保の見通し

(1) 定員設定および定員充足の見込み

金城学院大学看護学部看護学科（以下「本学科」という）の入学定員は、100名と設定した。その根拠と定員充足の見込みは以下の通りである。

第1に学生確保の見通しが可能な点である。本学が主な募集エリアとしている愛知県、岐阜県、三重県（以下「東海エリア」という）において、受験意向・入学意向のアンケート調査（対象30校(4,593人)、うち有効回答25校(2,945人))を実施した。アンケート結果では、「受験したいと思う」と回答した学生は321人であり、その内、「入学したいと思う」と回答した学生は271人であった。この結果から、定員を100名に設定しても十二分に充足の見込みがあると判断した。実際、本学が所在する愛知県内の他大学看護学部の入学定員が90～100名程度である中、令和2年度入試において、全ての大学の志願者が募集定員を上回る状況である。

第2に永続的な大学経営が可能な点である。設定した学生納付金、必要となる設置経費や経常経費を踏まえ、定員100名で永続的な大学経営が可能であると判断した。

第3に本学が所在する愛知県において、看護職者の需要が高い点である。現在、愛知県の就業看護師数は、人口10万人対の全国平均と比較して100人以上少ない。また、愛知県の医療介護需要予測指数においても、今後、看護職者の量的増加が望まれているところである。

第4に卒業生の進路先の確保が可能な点である。卒業生の就職が予想される東海エリアの病院、診療所・クリニック等の172施設に対し、本学部の卒業生の採用意向を調査した結果、299名の採用想定数が確認された。これは本学科入学定員設定の約3倍にあたる。愛知県内の背景や採用意向調査結果から、安定した人材需要があることがうかがえる。

第5に教育の質が担保できる点である。大学設置基準および保健師助産師看護師学校養成所指定規則を満たした教員組織、校地、校舎等の施設、設備、臨地実習施設の確保の状況、その他の教育上の諸条件を総合的に考慮して、入学定員100名（収容定員400名）に対して質の高い看護教育が提供できると判断した。

以上5点の理由により、入学定員を100名に設定し、定員を充足できると見通している。

(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

①18歳人口の減少と受験者数

本学が所在する愛知県内の令和3年の18歳推計人口は、リクルート進学総研マーケットレポートの資料によると71,537人であるが、今後減少する見通しであり、令和12年には68,275人となることが予想されている。女子の18歳人口においても同様に、令和3年に34,763人と推計されているが、令和12年には33,379人と1,384人減少することが予想されている。

一方で、愛知県内の女子の大学進学率は、平成23年には50.1%であったが、令和2年には53.4%まで上昇し、3.3ポイント上昇している。本学の主な募集エリアである東海エリア

でも同様に平成 23 年に 47.3%であった女子の大学進学率は、令和 2 年には 50.8%まで上昇している。

大学進学率の上昇に伴い、女子の大学進学者数も増加している。愛知県内における女子の大学進学者数は平成 23 年には 15,000 人であったが、令和 2 年には 16,598 人となり、1,598 人増加している。東海エリアにおいても同様に、平成 23 年には 22,290 人であった女子の大学進学者数は、令和 2 年には 24,095 人となり、1,805 人増加している。こうした女子の大学進学率の増加傾向は全国でも同様であり、男子の大学進学率と比べても顕著である。平成 23 年から令和 2 年にかけて、男子の大学進学率が 50.6%から 52.2%へ 1.6 ポイントの増加に対し、同一対象年度の女子の大学進学率は 44.6%から 49.8%へ 5.2 ポイントも増加している。これを人数にすると 21,553 人増加している。

依然として男子の方が大学進学率が高いが、平成 23 年から令和 2 年にかけて大学進学率の上昇幅は女子の方が高く、今後もこうした傾向が続き、おおよそ男子と同じくらいの進学率まで上昇することを見込むことができると想定している。

上述により、18 歳人口の減少に比例して本学の対象となる学生が減っていくわけではなく、女子の大学進学率の上昇により、本学の対象となる学生数は増加傾向にあると考えている。

【資料 1 18 歳人口の現状と将来予測】【資料 2 大学進学率の推移】

②看護学系統の志願者

日本私立学校振興・共済事業団の資料によると私立大学全体の看護師養成校への志願者数は平成 28 年度から令和 2 年度にかけて 44,462 人から 54,346 人となり、約 1.2 倍増加している。合わせて入学定員も平成 28 年度から令和 2 年度にかけて 7,427 人から 9,150 人まで増加しているが、増加する志願者数に対して入学定員数の増加が追い付いておらず、志願者数を入学定員で割った志願倍率は、平成 28 年度から令和 2 年度に至るまでおおよそ 6 前後の数値で大きな変動はない。ここ数年で全国的に看護系大学が新設されたが、未だに進学希望者の増加に対して収容定員が追い付いておらず、看護学を学びたい学生に対して、十二分に教育の機会が提供できているとは言い難い状況である。

令和 3 年度の入試においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、看護学系統の学部への志願者数、入学者数に一時的に影響を及ぼすと仮定しても、近年の志願倍率や看護職者の担う役割の重要性を考えれば、今後も看護学部への志願者は相当数いると想定している。

【資料 3 私立大学看護学部の志願者・入学者動向】

③愛知県内における看護系大学の学生確保の状況

「2020 年度入試結果調査 ベネッセコーポレーション調べ」によると愛知県内においても全国と同様の傾向がある。愛知県内で看護系学部を有する私立大学（12 大学）の看護系学部の入学定員の総数は 1,200 名であるが、令和 2 年度における志願者数の合計は 11,491

人と志願倍率は 9.58 となる。全国平均である 5.94 と比較しても高い志願倍率であることから、愛知県では全国平均以上に看護系大学への志望度が高いといえる。

実際、愛知県内の看護系学部では、全ての大学において志願者数が募集定員を大きく上回り、定員を充足している。このような状況から、本学科においても十分な学生の確保の見通しがあるものと考えている。

【資料 4 愛知県内私立大学看護学部の志願倍率】

【資料 5 愛知県内大学看護学部の入試状況(平成 30 年度～令和 2 年度)】

④外部機関によるアンケート調査結果

学生確保の見通しを定量的に確認することを目的として、開学時に学生募集の対象となる東海エリアの高校 2 年生に外部機関による進学意向調査を実施した。

(i)「金城学院大学 看護学部 看護学科」(仮称)設置に関するニーズ調査 結果概要

調査対象		高校 2 年生
調査エリア		愛知県、岐阜県、三重県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	4,593 人 (30 校)
	有効回収数 (回収校数)	2,945 人 (25 校) 有効回収率：64.1%
調査時期		令和 3 年 1 月 7 日 (木) ～令和 3 年 1 月 29 日 (金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

(ii)回答者の属性

性別：女性 100%

在籍高校種別：公立 43.1%、私立 56.9%

在籍高校所在地：愛知県 84.2%、岐阜県 15.8%、三重県 0%

所属クラス：文系クラス（文系コース） 61.3%、理系クラス（理系コース） 17.8%
コース選択はない 8.9%、その他 9.8%、無回答 2.2%

(iii)高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統を調査した結果は下記の通りであった。

高校卒業後の希望進路結果上位 2 回答（複数回答）

- ・私立大学に進学 70.4%、
- ・国公立大学に進学 35.1%

興味のある学問系統上位 2 回答（複数回答）

- ・文学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む） 20.1%、
- ・看護学 18.9%

【資料6 高校生に対する希望進路に関する調査】

【資料7 高校生に対する興味のある学問系統に関する調査結果】

(iv) 金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度

本学科の特色に対する魅力度を調査した結果は下記の通りであった。本学科の特色に対する魅力度は、特色として挙げた4項目中、全ての項目において8割前後の回答者から「とても魅力を感じる」または「ある程度魅力を感じる」との回答を得た。

最も魅力度が高いのは、「C.きめ細かな教育サポート (83.4%)」であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も30.1%で最も高かった。次に魅力度が高いのは、「D.総合大学ならではの幅広い交流 (82.9%)」、さらに「B.ICTを活用した教育 (81.5%)」、「A.看護実践力が養われる環境 (78.6%)」と続く順番であった。本学科の特色が、全体として好意的に受け入れられていることがうかがえる。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

【資料8 高校生に対する学科の魅力度に関する調査結果】

(v) 金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向／入学意向／受験意向別入学意向

本学科への受験意向・入学意向を調査した結果は、下記の通りであった。本調査結果から、271人と入学定員100名の約2.7倍の入学意向者があり、入学定員が問題なく充足できることを示唆している。

- ・調査対象者のうち、本学科を「受験したいと思う」と回答した人は全体の10.9% (321人)であった。「受験したいと思う」と回答した321人のうち、「入学したいと思う」と回答した人は84.4% (271人)であった。
- ・高校卒業後の希望進路別で見ると、「私立大学に進学」を考えると回答した人のうち、入学意向者は10.6% (2,072人中、219人)であり、本学科を受験・入学する可能性が高い層からの入学意向が取れている。
- ・興味ある学問系統別では、「看護学」に興味があると回答した人のうち、入学意向者は36.6% (557人中、204人)であった。

(vi) 保健師の資格取得意向

本学科へ「入学したいと思う」と回答した271人のうち、「保健師の資格取得を目指したいと思う」と回答した人は33.6% (91人)であった。選択制の保健師課程については、愛知県における「保健師学生の臨地実習（公衆衛生看護学）受け入れ方針」を勘案し、定員を15名としているが、約6倍の資格取得意向があり、定員を問題なく充足できることを示唆している。

【資料9 高校生に対する受験意向・入学意向に関する調査結果】

【資料10 高校生に対する調査結果まとめ】

(3) 学生納付金の設定の考え方

本学科の初年度学生納付金は下表の通り設定した。

入学金	授業料	施設設備費	諸費用	合計
200,000 円	1,320,000 円	380,000 円	35,870 円	1,935,870 円

入学金は 20 万円、授業料は半期 66 万円（年間 132 万円）、施設設備費は半期 19 万円（年間 38 万円）、諸会費は学生傷害保険料や父母会入会金など合計で 35,870 円と設定した。入学金、施設設備費については既設学科と同様の金額設定とした。諸会費も学生傷害保険料のみ既設学部とわずかに違うものの、他の費用は同じ金額設定となっている。

本学は、附属病院を有していないこと、本学科の校舎の新設、最新の ICT を活用した教育を実施できる環境整備、きめ細かな教育を実践するための教員数の確保などの理由により、愛知県内の私立看護学系大学の初年度納付金（1,650,000 円～1,939,800 円）の中では比較的高めの設定ではあるが、教育の質、収支の均衡の観点から妥当な金額の設定と考えている。

【資料 11 愛知県内の私立大学看護学部の入学金一覧】

2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学科の学生確保に向けた具体的な取組状況については、以下（2）～（8）の取り組みを計画・一部実施している。既に実施しているものについては、「設置構想中」かつ「内容については変更の可能性がある」旨を印刷物等に明記している。設置認可申請後は、「設置認可申請中」を明記の上、受験生や保護者に開設が確定したと誤解がないよう留意したうえで、下記の目標数値を目指し、広報活動等をしていく予定である。

(1) 目標値の設定

目標数値は「接触者数（直接）：610 人」「出願者数（延数）：610 人」とした。目標設定の考え方は以下の通りである。

令和 2 年度入試に係る本学既設学部の接触者数（資料請求のみの者は除く）が、全体で約 7,000 人、出願者数が全体で約 7,000 人であり、接触者数と志願者数の割合は 1：1 であった。接触者数の 7,000 人を既設学科の入学定員（1,140 名）で案分すると、入学定員 1 名につき接触者数は約 6.1 人となる。本学科の入学定員は 100 名と設定しているため、接触者数の目標は 610 人とした。接触者数に対して志願者数の割合が 1：1 であるため、接触者数 610 人であれば、約 610 人の出願者数が見込めると考え、上記設定とした。

出願者数の設定については、令和 2 年度の愛知県内看護系大学の志願者数からみても妥当な設定といえる。また、前述の外部機関によるアンケート調査結果においても、受験意向者 321 人、うち、入学意向者 271 人という高い水準の結果が出ていることから、十分見込める数値と考えている。

なお、資料請求のみの接触者は、志望学部の特定において不透明な点があるため、目標数値の対象から除外し、進学説明会やオープンキャンパス等で直接接触することができる生徒の数を目標の数値として設定した。

(2) 印刷物やメディア等による広報活動

入試広報部を中心に、看護学部の学生確保に向けた様々な広報活動を実施・計画している。大学案内パンフレットをはじめ、電子媒体、進学情報誌、各種PR活動、交通広告などにより、本学科の教育・研究活動等の情報を高校生はじめ、地域社会に広く発信していく予定である。また、「設置認可申請中」として本学科紹介の資料を作成し、愛知・岐阜・三重・静岡の高校約300校に62,000枚を送付する予定である。これにより、本学科を設置申請中であること、教育の特色や魅力を広く発信することができるため、本学科設置への認知を高め、接触者となるための導入としたい。

(3) 高校訪問

愛知県、岐阜県、三重県、を中心に、静岡県、石川県、富山県、福井県、長野県の合計355校を年2回(6月～7月上旬、9月～12月中旬まで)訪問する。訪問前には、学内で情報共有のための説明会を開催し、本学科の特色やPR内容等を共有することで、高校へ確実に本学科の情報が伝わるよう工夫する予定である。訪問の際には、大学案内パンフレットや進路向けの各種情報などを持参して、教職員が看護学部の学びの特色や魅力などについて説明することで、進路担当教員に対してのPRなどを行う予定である。進路担当教員への情報提供により、学問領域としての「看護学」に対して高校側の理解も深まると考える。また、間接的ではあるが、高校生へ本学の情報や看護学系統を学ぶ上で必要な力などが伝わると見込んでいる。

(4) 進学相談会

進学情報誌業者主催の進学説明会では、本学科の特色ある教育や魅力について、本学科就任予定教員を含む教職員が受験生やその保護者に直接紹介する予定である。相談者には、本学科の学びの特色や魅力を知ってもらうだけでなく、看護職者の社会的意義・使命、さらに看護職に求められる力を正しく理解してもらうことで、本学科に対する興味・関心を高めていきたい。また、双方向の意思疎通が可能のため、相談者の聞きたいことに対してピンポイントで説明・紹介ができ、情報のミスマッチを防ぐことができる。令和3年度では約90イベント(資料参加を含む)に参加予定である。

(5) オープンキャンパス

オープンキャンパスを年に3回(7月、8月、10月)実施し、本学科の学びを紹介することで、学ぶ意識を高めることを目指す。また、立地、通学手段や通学時間、学生やキャンパスの雰囲気を知り、実際の学生生活をイメージすることで、イメージとの不一致を防ぎ、入

学後の退学率も減らすことができると考えている。参考値として、令和元年度は、全体の参加者が3回合計で約4,300人(延数)の生徒、約2,500人(延数)の保護者が参加した。(令和2年度はコロナ禍により中止・縮小)

(6) 高校教員対象「金城学院大学説明会」

高校進路担当者に向けたアプローチとして、「金城学院大学説明会」を実施する。令和3年度は、本学(2回)、岐阜会場(1回)、三重会場(1回)の合計4回行い、高校の進路指導担当教員を集め、本学科の特色ある教育や魅力を重点的に紹介する予定である。高校訪問と同様の効果が得られると考えているが、教員側がある程度関心をもって積極的に説明を聞きに来てくれることから、高校訪問と同等以上の効果が得られると考えている。参考値として、令和元年度は4回合計で112人の教員が参加した。

(令和2年度はコロナ禍により中止)

(7) 併設校への説明会等

本学併設の金城学院高校(中高一貫)において、高校1・2年生及び保護者対象の個別相談会(2日間開催、全学部対象)を行った。本学科就任予定教員は2日間で4人参加し、設置構想などの紹介を行った。全体で約50人の生徒、保護者が参加した。

令和3年度も同様の形式で開催を予定していることに加え、看護系大学を志望する金城学院高校3年生向けに、本学科の説明会を設け、特色ある教育や魅力を紹介する予定である。併設校から他大学の看護系学部へ進学する生徒が毎年一定数いるが、同一法人内で継続した教育を望む声も多く、併設校への説明会で特色ある教育や魅力を伝えることで、受験意向や入学意向を高めることができると考える。

(8) 模擬授業や系統別学科紹介

各高校からの依頼を受け、本学科就任予定教員が模擬授業や系統別学科紹介等を行う予定である。これにより、本学の学びの特色や魅力を知ってもらうだけでなく、学問領域としての「看護学」の理解を深め、興味・関心を高めていきたい。

2.人材需要の動向等社会の要請

1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

金城学院大学の目的は、学則第1条に、「本学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的とする。」と定められている。また、建学の精神やスクールモットー、教育スローガンを総合し、本学科の養成する人材像を以下のように設定した。

【本学科の養成する人材像】

豊かな人間性を育むことにより、多様な価値観や文化を尊重し、人間への畏敬の念をもって他者をいたわり、思いやることができる優しさを備え、看護学の専門知識に基づいて自ら考え、判断する力と、確かな看護技術をもって実践する能力を有し、看護の質向上に寄与するために研鑽を重ねることができる看護職者を養成する。

2) 上記1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(1) 保健・医療・福祉を取り巻く環境と看護職者養成の必要性

①日本の保健・医療・福祉を取り巻く環境の現状

近年の看護を取り巻く環境を概観すると、公益社団法人日本看護協会（以下、日本看護協会）の「看護職の人材育成に関する要望書」（平成30年4月25日）に示されているように、医療に対する社会的ニーズが変化し、看護を取り巻く環境が変化してきている（資料12）。

(i) 人口構成

少子・超高齢化社会に伴い、「2025年問題」として、「団塊の世代」が後期高齢者（75歳）の年齢に達し、医療や介護などの社会保障費が急増することが懸念されている。総務省統計局によれば、65歳以上の老年人口割合は、令和7年(2025年)には30.0%、令和22年(2040年)には35.3%に（資料13）、そして、後期高齢者は、団塊世代が75歳以上となる令和7年(2025年)に17.8%となり、およそ5.6人に1人が75歳以上の高齢社会となる。

日本の人口の将来推計によれば、令和2年(2020年)以降の5年ごとの人口増減率（推計）は、年齢階級別では、65歳以上の増加率よりも20～64歳の生産年齢人口の減少率が大きく、そのため日本は人口全体が減少するが、高齢化率は高い状態で推移すると予測されている（資料14）。

平成29年の患者調査によれば、全国で調査日に医療施設を受療した推計患者数は、入院患者が131万人、外来患者が719万人で、人口10万人対の入院受療率が1,036、外来受療率が5,675であった（資料15）。すなわち、国民の1.0%が入院し、5.7%が外来に受

療していることになる。そして、65歳以上では入院受療率が2,734、外来受療率が10,369、75歳以上では入院受療率が3,997、外来受療率が11,899となっており、高齢者では10人に1人は受療していることになる。

今後、高齢化社会が続く日本においては、高齢者になっても健康な生活を送ることができるように、高齢者の健康増進を図る保健活動の推進や早期受診・早期治療の促進など、その人らしい生活を送ることができるようにしていく体制づくりが重要となっている。

愛知県の人口は、「愛知県地域医療構想（平成28年）」によれば、平成25年(2013年)に比して、令和7年（2025年）には735万人で約1%程度減少し、令和22年(2040年)には686万人とさらに約8%程度減少すると推計されている(資料16)。一方で、75歳以上人口は平成25年(2013年)に比して、令和7年（2025年）には117万人と約57%程度増加し、令和22年(2040年)にはさらに120万人と約62%程度増加すると推計されている。全国規模の推計と比較すると、愛知県の75歳以上人口の増加率は全国の増加率よりもやや高いことが示されている。

(ii) 家族・地域

令和元年（2019年）国民生活基礎調査によると、わが国の最近の世帯総数は5,178万世帯で、世帯構造別では単独世帯が1,490万世帯（28.8%）で最も多く、今後も増えるとされている。また、平成4年(1992年)に30.8%であった高齢者のみの世帯は58.1%となった。介護保険法の要支援又は要介護と認定された者のうち在宅の者（以下、要介護者等）のいる世帯は、核家族世帯が40.3%で最も多く、次いで単独世帯が28.3%となっている。年次推移は、核家族世帯、単独世帯の割合が上昇し、三世代世帯の割合が低下している（資料17）。要介護者世帯の背景には、独居老人世帯、老老夫婦世帯の増加、核家族化、家族機能の脆弱化、また、家族介護者の負担や疲弊、老老介護、独居老人への支援など、多岐にわたる課題が山積している。

(iii) 疾病構造

わが国の平均寿命は、昭和59年（1984年）から今日までの間、世界でトップの水準を示している。また、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間としての健康寿命は、平成13年（2001年）から平成28年（2016年）の15年間でみると、男女とも延伸している（資料18）。しかし、平均寿命と健康寿命の差は縮小しておらず、男性は8年、女性は12年ほどの差がある。

一方で、ライフスタイルや食生活・生活習慣の変化から、がん、糖尿病、循環器疾患などの生活習慣が要因となる疾患が増加しており、複数の疾患を抱えるケースも増加している。がんについては高齢化が進んでいることも要因の一つとして挙げられている。がん対策としては、小児がん患者らでは学業と治療の両立に必要な環境整備への取組、希少がん患者、AYA世代・若年性がん患者、そして高齢者がん患者と各々の世代における課題への

取組、加えて、がん患者への偏見をなくす取組や就労支援など、多方面での取組がなされている。

さらに、高齢化に伴う問題としては、虚弱老人の問題、エイジングに伴う身心の機能低下や認知症の問題があり、認知症患者に対しては、新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）（平成 27 年）を基にハード面・ソフト面でさまざまな取組がなされている。

(iv) 医療システム面・医療面

医療システムの IT 化や電子カルテの導入は、多職種連携での情報共有や効率化、地域医療連携、チーム医療、専門医育成、災害医療などに欠かせないツールとして、活用が期待されている。また、医療の高度化、専門化、先進医療の進歩の成果として、ゲノム医療、AI 活用による医療技術革新、ロボット手術、新型出生前診断（NIPT）などにみる新しい検査法の開発や、超未熟児や先天的な疾病をもつ児への治療方法の進歩、分子標的治療、放射線治療の開発などががんの新たな治療法の開発やがん研究の促進、認知症の早期診断・治療、再生医療や遺伝子治療による難病治療の開発などが進んでおり、「治らない」といわれていた疾病も「治る疾病」へと変化しつつある。これらの医療の進歩による変化は、健康課題をもつ人々に対して恩恵をもたらしている。その一方で、未だ、対症療法のみで治療方法の開発を待ちわびている患者・家族が多いのも現状である。

新生児医療分野の発達により、超未熟児や先天的な疾病をもつ児が救命できるようになり、医療的ケアを日常的に必要とする医療的ケア児が増加している。厚生労働省「医療的ケア児等とその家族に対する支援施策」（令和元年）によると、平成 17 年（2005 年）に 9,987 人であった医療的ケア児は令和元年（2019 年）には 20,155 人となり、約 2 倍にまで増加している。また、医療の進歩の恩恵を受けることができるようになった一方で、医療的ケア児の教育の問題（インクルーシブ教育）や小児慢性特定疾患事業の対象の子供たちの教育の保障の問題、小児期医療から成人期医療への移行の問題などがあり、国や地方公共団体は、社会保障制度を充実するための政策や施策などの充実・拡大を図る必要がある。

医療システムや医療の進歩とともに、対象となる人々が、適切に保健、医療、福祉、教育などの保障やサービスが受けられる環境づくりも求められている。

(v) 療養の場

疾病や障害をもっている自分らしく生活をしていくこと、また人生の最期を過ごす場所として病院だけでなく、在宅医療や在宅介護が受けられること、あるいは福祉施設で生活するといったように、その人がその人らしく、自分の住み慣れた地域で、望む場所で、生活していくことが求められるようになってきている。現在、「地域医療構想」や「地域包括ケアシステムの構築」への取組がなされており、「地域包括ケアシステム」は、介護が必要な状態になっても、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制であ

る。厚生労働省では、団塊の世代が75歳以上となる2025（平成37）年に向けて地域包括ケアシステムの構築を推進している。

75歳以上高齢者の増加に伴い、要介護認定や認知症や寝たきり高齢者の増加が予測され、医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ高齢者の増加が見込まれることから、地域における在宅医療・介護を包括的かつ継続的にシームレスに提供できる体制の構築が重要である。

【資料12 日本看護協会「看護職の人材育成に関する要望書」平成30年】

【資料13 高齢者人口及び割合の推移（1950～2040年）】

【資料14 人口の長期推移～高齢化率の推移】

【資料15 性・年齢階級別にみた受療率（人口10万対）】

【資料16 愛知県の人口の推移の見通し】

【資料17 要介護者等のいる世帯の世帯構造の構成割合の年次推移】

【資料18 平均寿命と健康寿命の推移】

②日本における海外との関係性の中で生じる医療的課題

(i) 世界規模で対応が必要な健康上の課題

健康問題は、地理的条件や気候などの地域特性、政治や国際関係、宗教、文化、生活習慣、衛生状態、識字率や教育施設数、保健・医療・福祉施設数とアクセス状況などさまざまな要因や格差が複雑に絡み合っている。近年では、地震・津波・台風・豪雨・火山噴火といった自然災害、海洋汚染・原発事故などの人的災害、地球温暖化、大気汚染などの地球環境の問題から生じる疾患の増加や新興・再興感染症の問題、紛争に伴う難民・ストリートチルドレンと貧困の問題、経済格差に伴う健康格差、女性差別、虐待など、世界に共通する問題も多くなってきている。

令和元年（2019年）末からの新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）は、1年におよそ1億人が感染し、200万人を超える人が死亡するパンデミック（世界的大流行）となり、世界中の人々の健康や社会生活を脅かす感染症となった。日本においても、医療機関や高齢者施設でのクラスター感染の発生とともに、東京、大阪、愛知などの地域では、感染者・患者の増加により医療が逼迫する状況となった。また、COVID-19の感染者やその家族、さらに医師、看護師、保健師などの医療職者へも差別・偏見が向けられることが起きた。

COVID-19のパンデミックはグローバル化時代における感染症対策のあり方に警鐘を鳴らすこととなり、看護職者にとっては、感染症対策・感染看護の重要性を再認識するとともに、世界規模で起こる未知なる健康問題にも対応しうる基本的能力が求められる。

(ii) 在留外国人の増加と医療アクセスへの課題

日本の人口の将来推計では、生産年齢人口の減少が予測されている。今後の生産年齢人口減少への対策として、外国から就学、就労で来日する人々を確保することが必要となってくる。わが国では、昭和 58 年（1983 年）から取り組んでいる外国人留学生受け入れ増の政策、平成 5 年（1993 年）制定の技能実習制度、並びに令和元年（2019 年）の出入国管理法改正等の取組がなされ、近年、在留外国人は増加している。出入国在留管理庁によれば、全国在留外国人数は、平成 20 年（2008 年）から平成 30 年（2018 年）にかけて約 58 万人増加した（資料 19）。近年では、ベトナム、インドネシア、ネパールを国籍とする増加が目立っている。令和元年（2019 年）の時点で在留外国人数は 2,933,137 人と過去最高の値を示し、総人口の約 2% を占めている。在留外国人の居住地は東京都が一番多く、次いで愛知県で、281,153 人（愛知県総人口の 3.7%）の在留外国人が生活している。首都圏、近畿圏と並んで東海地域は在留外国人が多い地域である（資料 20）。愛知県の報告（令和元年（2019 年）12 月末現在）によれば、愛知県に居住する外国人の国籍とその構成比は、ブラジルが 62,508 人で、全体の 22.2% を占め、中国 50,963 人（18.1%）、ベトナム 41,238 人（14.7%）、フィリピン 39,339 人（14.0%）と、多様な国籍からなる外国人が居住している。

在留外国人の中には、日本語の会話や読み書きが十分とは言えない人もおり、本人や家族が病気にかかった場合、本人や家族の受療や医療職者による説明の理解は容易なことではない。一方で、医療機関においては、外国語で外国人患者とコミュニケーションを取ることや文化的背景に即した対応ができる人員が十分に配されていない現状がある。

こうした現状に対して、愛知県では「愛知県における多文化共生」として、日本文化・日本語に不慣れな外国人に対して安心して働き・暮らしていくための支援体制づくりが進められ、外国人を対象とした日本語教育の充実をはかるための語学相談員の派遣、多文化子育てサロン、あいち医療通訳システムの設置などが行われている。

【資料 19 国籍・地域別在留外国人数の推移】

【資料 20 上位 15 位までの都道府県別在留外国人数の推移】

(2) 愛知県の看護職者として修得することが必要な能力

①愛知県の健康福祉を取り巻く社会情勢の現状と展望

愛知県は、政令指定都市の名古屋市、中核市の豊田市・豊橋市・岡崎市の 3 市を有している（一宮市は令和 3 年 4 月に中核市）。愛知県の全人口は 754 万人で、そのうちの 232 万人は名古屋市の人口である。愛知県は、福祉分野と医療分野の連携を含めた健康福祉全体の方向性を示す「あいち健康福祉ビジョン 2020」を策定しており、健康福祉を取り巻く社会情勢の現状・展望、そして、課題に対する施策の方向性と主要な取組について、以下のことを掲げている。

あいち健康福祉ビジョン 2020

○健康福祉を取り巻く社会情勢の現状・展望

1. 高齢化の進行

- (1)高齢者の増加：平成 37 年 の高齢者 194 万人、高齢化率 26.4%(平成 26 年:23.2%)
- (2)認知症高齢者等の増加：平成 37 年認知症高齢者 36 万 9 千人(平成 24 年の 1.56 倍)
- (3)障害のある人の高齢化と重度化の進行：65 歳以上の高齢者割合の増加

2. 人口減少社会の到来

- (1)少子化の進行 (2)本県の人口推計：平成 32 年をピークに減少の見込み

3. 社会環境の変化

- (1)家庭の変化：世帯の小規模化、高齢単身世帯の増加
- (2)地域社会の変化：人間関係の希薄化、コミュニティ機能の低下
- (3)健康福祉ニーズの多様化・複雑化：働き方などの多様化による
- (4)健康福祉人材の不足：医師等の慢性的不足・偏在、介護人材不足
- (5)先進的な技術の進展：健康福祉分野での ICT やロボットの活用等
- (6)災害リスクの増大：災害時要配慮者支援体制の整備の必要性

○課題に対する施策の方向性と主要な取組

- 1. 子ども・子育て支援～「日本一子育てしやすいあいち」の実現をめざして
- 2. 健康長寿～「健康長寿あいち」の実現をめざして
- 3. 医療・介護～住み慣れた地域で必要な医療・介護のサービスが受けられる社会
- 4. 障害者支援～身近な地域でともに暮らせる社会
- 5. 健康福祉を支える地域づくり・人づくり～ともに支え合う社会をめざして

②保健・医療・福祉現場で必要となる看護職者に求められる資質・能力

(i) 対象者を「生活者」として捉える

対象者を「生活者」として捉えることの重要性は看護職者にとっては周知のことである。日本看護協会は、「大学における質の高い看護学教育課程の推進」(平成 30 年 4 月 25 日付)を要望書として提出している。この要望に至った理由については、「医療提供体制の改革や地域包括ケアシステムの構築などの看護を取り巻く状況は大きく変化するとともに、看護を必要とする人々は複数の疾患や複雑な社会的背景を有するなど、患者像・利用者像も変化しています。このような状況下において、看護職には状況を的確に判断し対応するための看護実践能力の向上やニーズの多様化に対応した役割発揮が求められています。」と記述されている。

看護を取り巻く保健・医療・福祉の制度が時代や社会のニーズに応じて変化する中において、看護を必要とする対象者を的確に捉え、判断し、看護を提供していくことが必要で

ある。そのためには、看護の対象となる人を「病人」、「病気をもち人」としてではなく、病気をもちながら生活する人、「生活者」として捉えることが肝要である。

(ii) 「地域」を視野に入れる

医療提供体制は、病院完結型から地域完結型へと転換するとともに、看護の活躍の場や役割の変化が期待され、それに対応できる基礎的能力が求められている。前項の日本看護協会の要望書の理由のように「医療提供体制の改革や地域包括ケアシステムの構築」が進む中、また、「あいち健康福祉ビジョン2020」の対策の方向性にもあるように、「住み慣れた地域で医療・介護が受けられる社会」の実現のために、病院等の施設内医療における看護ケアの提供に留まらず、人々が住み慣れた地域で生活できるように看護ケアを提供する在宅療養へとシフトしていくことが求められている。そのため、看護を対象とする人の住んでいる地域の特性を理解し、住み慣れた地域のコミュニティの中で、その人らしく生活ができるように支援していく能力が求められる。

(iii) 国際的な視野をもつ

愛知県内には3つの貿易港と中部国際空港があり、貿易額の全国順位では名古屋港は第2位、三河港は11位、中部国際空港は15位と、国際貿易の拠点としてわが国の産業を支えている。中部国際空港は、アジアやヨーロッパなどの直行便が発着しており、中部地域の日本人の利用に加え、在留外国人並びに訪日外国人が利用する空港となっている。愛知県は、居住する在留外国人も多く、在留外国人の増加により医療機関を受診する外国人の数も多くなっている。看護職者は、対象者を「生活者」として捉えることが重要であるため、英語をはじめとした外国語でのコミュニケーション（医療通訳も含め）に加え、在留外国人の文化・社会的背景、生活習慣などを理解した診療の補助や看護実践が求められている。

(iv) 倫理的感性に基づく看護実践

COVID-19における差別・偏見の問題のみならず、過去には、ハンセン病、結核、ウイルス性肝炎、エイズなどにおいても、感染者・患者やその家族が差別や偏見の目を向けられ、医療場面においても診療拒否などが起きていた。これらの感染症では未だに差別・偏見をなくすための啓発活動が続けられている。また、障害者、特に知的障害者や精神障害者、性同一性障害を抱える人、がん患者に対しても、差別・偏見は依然として残っている。こうした疾患や障害に伴って差別や偏見を受けている人たちの中には、疾患をもっていることを隠しながら生きることを余儀なくされ、就学、就職、結婚などのライフイベントにまで影響を受けている人もいる。

看護職者は、常に、対象となる人々が適切な看護を受けられるよう配慮することが求められる。日本看護協会の倫理綱領には、「保健・医療・福祉関係者によって治療及び看護が阻害されているとき、不適切な判断や行為に気づいたとき、人々を保護するために働き

かけたり、あるいは他の適切な手段によって問題を解決したりするように行動する。」と記されている。最善の利益を患者・家族にもたらす看護ケアを提供できる資質として、「誰のための看護か?」を中心に、倫理的感性に基づく対象者中心の看護実践が必要である。

(v) 「多様性」の理解

看護職者は、上記の (i) ～ (iv) で述べたように、看護を必要とする対象者を「生活者」として捉え、その人らしく生活ができるように支援すること、そしてさまざまな国の人と出会う中で、対象者の多様な文化的・社会的背景、価値観を理解し、尊重することが求められる。また、疾患をもつ人に対する倫理的な感性をもち、本学の教育スローガン「強く、優しく。」に示されているように、隣人をいたわり思いやる「優しさ」、他者を認める「寛容さ」や「謙虚さ」をもち、看護の対象となる人の「多様性」を理解できる資質が求められる。

(vi) 多職種連携におけるチーム医療

看護実践を行う際、看護学の視点で対象者を捉えることは重要である。また、昨今の医療技術の高度化・先進医療の導入に対応することに加え、対象者の文化的・社会的背景、価値観などの多様性を踏まえ、地域特性を理解し、対象者が健康課題を抱えながらも住み慣れた地域で社会生活を送ることができるように支援することが求められている。このためには、多職種との連携は必須となっている。また、病気を抱えながら生活している対象者に、食事療法や薬物療法、外来化学療法、外来放射線療法、透析療法など、さまざまな治療を安心・安全に提供するには、多職種連携・協働が必要であり、チーム医療の充実を図ることがますます求められる。

③愛知県の保健・医療・福祉に携わる看護職者が学士課程で学ぶ意義

看護学学士課程の教育の目的の1つは、看護実践力の養成にある。学士課程において身につけるべき能力は、看護学モデル・コア・カリキュラムや卒業時到達目標コア・コンピテンシーなどに示されている通りである。看護職者と、他の医療・介護・福祉の職種と異なる最大の特徴として、解剖生理学、病理学などの医学的基礎知識や薬理学を用いた臨床推論をしつつ、生活者としての側面を統合して対象者を捉えることにある。さらに、昨今は、チーム医療推進の観点から、医療人として多職種との連携・協働の重要性が指摘されている。医療の高度化・専門分化・多様化に加え、さまざまな関連部署や専門職種との連携・協働が必要になっていく中で、それらに柔軟に対応できる看護職者の養成が求められている。

日本看護協会では、看護基礎教育制度改革の1つとして、看護師基礎教育の4年制化の推進をあげている。また、令和3年の予算・政策に関する要望書に、2040年を見据えた長期的な看護のあり方を体系的に検討し看護機能の強化を図ることなどについて意見を述べ

ている(資料 21)。

(i) 愛知県の看護職者養成の実情

日本看護協会では、要望書(平成 31 年 4 月 24 日付)として「大学・大学院における質の高い看護学教育課程の推進」を提出している(資料 22)。この要望書には、「地域医療構想に基づく医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築などにより、看護職の役割や活動場所はますます拡大しており、保健師・助産師・看護師ともに、さらなる専門性の発揮が求められています。」と記述されている。また、愛知県看護協会からは、本学に対して看護学部看護学科を設置し、看護師、保健師の育成を行うことの要望書が提出された(資料 23)。

看護学の学士課程教育は、昭和 27 年高知女子大学家政学部看護学科(現高知県立大学看護学部看護学科)に始まり、平成 3 年までの約 40 年間 11 校で行われていた。その後、平成 3 年大学設置基準の改正による規制の緩和があり、平成 4 年には看護師等の人材確保の促進に関する法律が制定された。この法律には、「資質の高い看護師の養成」として大学における看護師養成の整備が明示された。

厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」の結果によれば、令和 2 年の全国の看護師養成所数は 989 校であり、そのうち 4 年制大学が 290 校(29.3%)であった(資料 24)。平成 4 年時点では、看護師養成所の 4 年制大学の割合が 1.5%であったことを考えると、約 30 年間で看護基礎教育の約 30%が 4 年制大学で行われるようになり、量的・質的にも看護基礎教育の充実化が図られるようになってきた。

愛知県の看護基礎教育における 4 年制大学は 15 校(28.3%)で、全国(29.3%)とほぼ同率である。また、愛知県の看護師養成数は、令和 2 年同調査から、1 学年定員数が 3,357 名、このうち 4 年制大学における定員数は 1,450 名(43.2%)である。

保健師の養成については、保健師教育課程の 1 年課程から看護系大学の増加とともに統合カリキュラムを導入する大学が多かったが、平成 23 年(2011 年)からは、保健師の需要と供給のバランスや、保健師実習施設の確保などの理由から選択制が導入されるようになった。全国の保健師養成施設については、令和 2 年の調査結果によれば、286 校のうち 4 年制大学が 250 校(87.4%)、大学専攻科が 2 校(0.7%)、大学院が 14 校(4.9%)、専修学校等養成所が 16 校(5.6%)であった(資料 25)。1 学年定員では、4 年制大学において 90.6%が養成されている。令和 2 年の愛知県の保健師養成施設数は 15 校で、そのうち 4 年制大学は 12 校(80.0%)で、ほぼ全国に近い割合である。しかし、1 学年定員 354 名のうち、4 年制大学の定員は 194 名で 54.8%と全国を下回っている。

【資料 21 日本看護協会・令和 3 年度予算・政策に関する要望書】

【資料 22 日本看護協会「2020 年度予算・政策に関する要望書」平成 31 年】

【資料 23 愛知県看護協会からの要望書】

【資料 24 愛知県及び隣接する 3 県の看護師養成所数及び 1 学年定員(平成 30 年～令

和2年、募集中止を除く)】

【資料25 愛知県及び隣接する3県の保健師養成所数及び1学年定員(平成30年～令和2年、募集中止を除く)】

(ii) 愛知県における看護師、保健師の需給状況

厚生労働省の平成30年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況によれば、全国の就業看護師数は、およそ121万人であり、人口10万人対の看護師数は963.8人である(資料26)。愛知県の就業看護師数は、61,389人(平成30年愛知県衛生年報)、人口10万人対814.5人で全国を下回っていた(資料27、資料28)。愛知県地域医療構想(平成28年)によると、愛知県における人口10万人あたりの病院数は4.4施設(全国平均6.7施設)、診療所数は5.5施設(全国平均7.3施設)、病院病床数は908.9床(全国平均1,236.3床)、有床診療所病床数は64.6床(全国平均95.3床)で、全国と比較して医療施設数、病床数はいずれも少ない状況である(資料29)。更に、愛知県における人口10万人対の医師数は197.9人(全国平均226.5人)、歯科医師数は72.8人(全国平均78.2人)、薬剤師数は141.6(全国平均161.3人)、看護師数は486.1人(全国平均586.8人)で、医療施設従事者数、特に看護師数が全国平均よりも少ない状況である。

平成30年の全国の就業保健師数は52,955人、人口10万人対では41.9人であった(資料26)。愛知県の就業保健師数は、2,726人(平成30年愛知県衛生年報)、人口10万人対36.2人で、全国を下回る値であった(資料27、資料28)。愛知県の平成30年と平成18年の就業保健師数を就業施設別に比較すると、平成30年は平成18年に比して、総数では1.56倍で、保健所では1.25倍であった(資料30)。保健所に比べて就業者数は少ないが、病院は3.46倍、訪問看護ステーションが4.00倍、介護保険施設等が15.14倍、事業所1.78倍と、保健所より増加が著しく、保健師の勤務場所の多様化がみられていた。

愛知県の医療介護需要予測指数では、2015年の実績を100とした場合、2025年には、医療は110、介護は136、2040年には、医療は112、介護は143、そして、2045年には、医療113、介護が150と予測指数が報告されている。医療の分野における需要指数は微増であるのに対して、介護における需要は1.5倍までに増加している(資料31)。そのため、今後、医療職者の量的増加が望まれるところである。愛知県地域医療構想(平成28年)によると、全国と比較して医療施設数、病床数はいずれも少ない状況であるが、今後は、福祉施設・介護施設や在宅医療の充実が必要になると推察される。

人々の療養の場が多様化し地域包括ケアが推進されるなかで、看護のニーズは病院のみならず在宅医療や福祉施設等でも拡大している。しかし、新卒看護師の大半は、新人教育や院内教育の充実等を理由に病院志向に就職することが多い現状にある。看護職員需給推計分科会は、看護職者の領域別(就業場所別)偏在の問題が生じていることから、地域の多様な療養の場や生活の場における看護の理解を深めるための教育や、学士課程の養成時点から多様なキャリア・プランを学生に支援していくことが重要であると指摘している。

- 【資料 26 全国の就業保健師・助産師・看護師・准看護師の年次推移】
- 【資料 27 愛知県の就業看護師数及び就業保健師数～業務の種類・就業地別】
- 【資料 28 都道府県別の就業看護師数及び就業保健師数（人口 10 万人対）】
- 【資料 29 全国・愛知県の医療資源に関する現状－全国・愛知県の医療職者人口、医療施設数】
- 【資料 30 愛知県の施設別就業保健師数～平成 30 年と平成 18 年の比較】
- 【資料 31 医療介護需要予測指数（全国・愛知県）】

（3）愛知県における看護師、保健師の需給状況からみた本学科の定員

愛知県の看護職者養成状況は、看護系大学における看護基礎教育がやや増加し、専修学校での養成は減少傾向にある。一方、愛知県の人口 10 万人対の就業看護師数は全国平均を下回っており、医療資源に関する現状においても看護職者の確保が必要となっている。また、少子高齢化や医療技術の高度化などにより、人々の健康へのニーズや医療サービス提供の場が多様化する状況にあって、看護職者に求められる役割も変化してきている。愛知県のみならず、「住み慣れた地域に必要な医療・介護のサービスが受けられる社会」を実現していくために、看護師養成数の増加だけでなく、社会のニーズに対応できる専門性が発揮される看護師の養成が求められている。

本学科は、「世界の平和と人類の福祉に貢献する女性を養成する」の精神のもと、保健・医療・福祉に貢献できる人材を社会に送り出す教育機関としての社会的責任を果たすために、大学設置基準及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則を満たした教員組織、校地、校舎等の施設、設備、臨地実習施設を確保した。これらの状況をふまえ、入学定員を 100 名とする。

保健師は、高齢化が顕著な社会的背景にあって、従来の行政や保健所、事業所、学校等に加え、訪問看護ステーション、介護保険施設等、社会福祉施設などの施設においてもその需要は高まっている。加えて、令和 2 年（2020 年）以来の新型コロナウイルス感染症への対応で保健所業務が逼迫している現状が明らかになっている。このような社会的ニーズに柔軟に対応し、保健師の役割を遂行することができるようになるために、最新の保健・医療・福祉に関する知識と技術を修得し、関係する様々な部署や職種との連携能力を有する保健師を育成することが強く求められている。愛知県の現状、入学意向調査結果、並びに愛知県の「保健師学生の臨地実習(公衆衛生看護学)受入れ方針」における実習受け入れ施設の状況を勘案して、定員 15 名の選択制とする。

（4）学士課程卒業の看護職者に求められる能力

①教養教育に裏付けされた思考力・判断力・批判的思考力

大学で学ぶことの 1 つの特徴として教養教育がある。社会が複雑かつ急激な変化を遂げる中で、幅広い視野から物事を捉え、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断ができる人材の育成が一層強く期待されている。中央教育審議会の答申には、「教養教育は、学生に、

グローバル化や科学技術の進展など社会の激しい変化に対応し得る統合された知の基盤を与えるものでなければならない。各大学は、理系・文系、人文科学、社会科学、自然科学といった従来の縦割りの学問分野による知識伝達型の教育や、専門教育への単なる入門教育ではなく、専門分野の枠を超えて共通に求められる知識や思考法などの知的な技法の獲得や、人間としての在り方や生き方に関する深い洞察、現実を正しく理解する力の涵養など、新しい時代に求められる教養教育の制度設計に全力で取り組む必要がある。」と記述されている。

学士課程における教育は「教養教育」と「専門教育」を中心に行うことが基本である。看護学を学士課程で学ぶことの意義は、卒業して、すぐに看護実践ができるように方法や手順を伝授するだけでなく、未知の事象への対応をするために、臨床推論や臨床的判断、批判的思考力を養うことにある。そのために、看護学を学ぶだけでなく、教養教育や看護学の関連学問分野の知識を学ぶことで、それらを養う基盤となる知識や思考法の涵養につながる。

②科学的根拠に基づく看護実践力

時代の変遷とともに、少子超高齢化、疾病構造の変化、医療・看護・介護体制の変化、社会保障制度の変化などの社会情勢の変化に応じて、あらゆるライフステージ、あらゆる健康状態、多様な場において看護実践を提供することが求められている。そのためには、「人々の生命の尊重」、「多様な人々の文化的・社会的背景と価値観の尊重」、「あらゆる健康レベル状態と看護実践」、「あらゆるライフサイクルにおける看護実践」、「チーム医療や多職種連携・協働の必要性」を理解し、さらに、看護の対象者を「生活者」の視点から捉えることができる看護職者の養成が重要である。

「教養教育」と「専門教育」を統合し、学問として看護学を学ぶことによって、看護実践を行う知識・理論と技術だけでなく、論理的思考、批判的思考、臨床判断力なども修得していくことが可能となり、これらが科学的な根拠に基づく看護実践力の涵養につながることになる。

③コミュニケーション能力の向上

近年の若者の特徴として、住環境の変化やインターネットの普及などにより、人間関係の希薄化や生活体験の不足があげられている。また、子どもの数が減少していること、核家族化が進んでいることから、高齢者や子ども達との交流の場が減少していることが以前から指摘されている。看護職者においては、コミュニケーション能力が低下しているとの指摘もあり、看護基礎教育においても文章作成能力や読解力とともに、コミュニケーション能力の向上を図る教育が求められている。一方、在留外国人の中には、日本語によるコミュニケーションを不得手としている人もおり、保健医療機関を利用する上での障害となっている。看護職者は、あらゆるライフサイクルにある人々へ、国籍や文化などの特性に関わらず、看護実践を行うことが求められる。そのため、国籍・世代を問わず、コミュニ

ケーションができる能力、援助的関係性を築く能力を修得する必要がある。

また、医療の高度化・専門分化・多様化が進むにつれ、様々な関連部署や専門職種との連携・協働が必要となる。チーム医療や多職種連携・協働の中で、医療職間での円滑なコミュニケーションが、看護を対象とする人々の利益になることを理解し、コミュニケーション能力を高めていくことが重要である。

④看護学の学問の探究と発展への貢献

現在の保健師、助産師、看護師養成所で学習している看護実践の知識・技術は、これまでの看護学の研究や看護実践の蓄積から導き出されている。看護学研究成果は、看護学教育モデル・コア・カリキュラムにも示されているように、看護実践の根拠として、看護の対象となる人々の支援に還元され、また、社会における看護の必要性を示すとともに看護を説明することにもつながる。そのため、看護学研究は、看護学の体系を構築する基盤となり、看護学の専門性の発展に貢献することになる。これらを学士課程の中で教授していくこと、また、卒業研究や4年間の学修のプロセスの中で体験し、基礎的な知識を理解していくことは、看護学の発展への礎となる。

(5) 外部機関によるアンケート調査結果

外部機関によるアンケート調査を、卒業生の就職が予想される東海エリアにおいて、医療施設の採用担当者を対象に行い、本学看護学部看護学科に対する関心度などについて、「出口」調査を行った。

①「金城学院大学 看護学部 看護学科」(仮称) 設置に関するニーズ調査 結果概要

調査対象	医療施設の採用担当者	
調査エリア	愛知県、岐阜県、三重県	
調査方法	郵送調査	
調査対象数	依頼数	950 施設
	回収数 (回収率)	172 施設 (18.1%)
調査時期	令和3年1月6日(水)～令和3年1月26日(火)	
調査実施機関	株式会社 進研アド	

②回答施設(回答者)の属性

回答者の人事採用への関与度：採用の決裁権があり、選考にかかわっている 54.1%、

採用の決裁権はないが、選考にかかわっている 30.2%

回答施設の本社所在地：愛知県 80.8%、岐阜県 10.5%、三重県 8.1%

回答施設の業種：病院 52.9%、診療所・クリニック 44.8%、その他 2.3%

回答施設の従業員数：50名未満 45.3%、100名～500名未満 32.6%、50名～100名未満 7.6%、1,000名～5,000名未満 6.4%

③回答施設の採用状況（過去3か年）/令和2年度の採用予定数

回答施設の平均的な正規職員・社員の採用人数は、「1名～5名未満」が36.6%で最も多く、次いで「10名～20名未満」が12.8%、「5名～10名未満」が12.2%であり、毎年正規職員・社員を採用している施設がほとんどであった。

回答施設の令和2年度の採用予定数は、「昨年度並み」が46.5%で最も多く、次いで「未定」が30.8%、「増やす」が14.5%であった。採用予定数が「未定」という施設も一定数見られるものの、回答施設の多くは昨年と同等かそれ以上の採用が予定されていた。

【資料32 医療施設に対する採用状況に関する調査結果】

④看護師・保健師の勤務者数・採用希望人数

看護師の現在の勤務者数は、「1名～5名未満」が32.6%で最も多く、次いで「100名以上」が23.8%、「50名～100名未満」が16.3%であり、総数は18,892人、平均は112.5人であった。

看護師の今後5年間の採用希望人数は、「1名～5名未満」が27.3%で最も多く、次いで「0名」が15.7%、「10名～20名未満」が10.5%であった。総数は6,255名、平均42.6名であった。

保健師の今後5年間の採用希望人数は、「0名」が75.6%で最も多く、次いで「1名～5名未満」が7.6%、「10名～20名未満」が0.6%であり、総数は29名、平均は0.2名であった。

【資料33 医療施設に対する勤務者数・採用希望に関する調査結果】

⑤金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度

本学科の特色に対する魅力度を調査した結果は、下記の通りであった。本学科の特色に対する魅力度は、特色として挙げた4項目中、全ての項目において8割を超える回答者から「とても魅力を感じる」または「ある程度魅力を感じる」との回答を得た。

最も魅力度が高いのは、「A.看護実践力が養われる環境（93.0%）」であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も36.0%で最も高かった。次に魅力度が高いのは、「C.きめ細かな教育サポート（90.7%）」、そして「B.ICTを活用した教育（81.4%）」と「D.総合大学ならではの幅広い交流（81.4%）」が同率で続いた。本学科の特色が、全体として好意的に受け入れられていることがうかがえる。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

【資料34 医療施設に対する学科の魅力度に関する調査結果】

⑥金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性

本学科の社会的必要性については、92.4%（159施設）が「必要だと思う」と回答してお

り、多くの施設からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

【資料 35 医療施設に対する本学科設置の必要性に関する調査結果】

⑦金城学院大学「看護学部 看護学科（看護師資格所有者）」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

本学科の看護師資格を所有した卒業生を「採用したいと思う」（※看護師として採用）と回答した施設は、82.0%（141 施設）であった。その 141 施設に対して行った「毎年の採用想定人数」では、合計で 299 名という入学定員の 3 倍に近い採用想定数の回答があった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。採用意向・採用想定人数について、詳細は以下のとおりである。

- ・本社所在地別では、愛知県の採用意向施設数が 111 施設、採用想定人数が 227 人と最も多かった。岐阜県、三重県においても、採用意向の割合は非常に高く、岐阜県 88.9%（18 施設中 16 施設）、三重県では 92.9%（14 施設中 13 施設）の採用意向があった。これにより、東海エリアの卒業生が、愛知県内の施設だけでなく、地元に戻って就職することも可能であることがうかがえる。
- ・業種別では、「病院」、「診療所・クリニック」からの採用意向は「病院」が 91.2%（91 施設中 83 施設、採用想定人数 237 名）、「診療所・クリニック」が 71.4%（77 施設中 55 施設、採用想定人数 58 名）と非常に高い採用意向であった。また、採用想定人数の合計は 295 名であり、この結果から、本学科卒業生が目指す活躍のフィールドとして想定している機関・施設から評価を得ていることがうかがえる。
- ・看護師の勤務者数別の各施設採用意向では、「1 名～5 名未満」の施設から 73.2%（56 施設中 41 施設）で採用想定人数の合計が 42 人、「5 名～100 名未満」の施設から 85.1%（67 施設中 57 施設）で採用想定人数の合計が 99 人、「100 名以上」の施設から 95.1%（41 施設中 39 施設）で採用想定人数の合計が 151 人であった。看護師勤務者数の多寡にかかわらず採用意向の割合は高く、本学科の目指す教育が社会的ニーズに合ったものであることがうかがえる。

⑧金城学院大学「看護学部 看護学科（保健師資格所有者）」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

本学科の保健師資格を所有した卒業生を「採用したいと思う」（※保健師として採用）と回答した施設は、18.6%（32 施設）であった。その 32 施設に対して行った「毎年の採用想定人数」では、合計で 33 名という保健師課程定員の 2 倍を超える採用想定数の回答があった。このことから、一定の人材需要があることがうかがえる。

本調査結果から、本学科卒業生に対する採用意向は高く、卒業生の進路を確保できるものと見通している。

【資料 36 医療施設に対する本学科卒業生の採用意向に関する調査結果】

【資料 37 医療施設に対する調査結果まとめ】

【資料 38 アンケート同封資料】

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

- 【資料 1】 18歳人口の現状と将来予測
- 【資料 2】 進学率の推移
- 【資料 3】 私立大学看護学部の志願者・入学者動向
- 【資料 4】 愛知県内私立大学看護学部の志願倍率
- 【資料 5】 愛知県内大学看護学部の入試状況(平成 30 年度～令和 2 年度)
- 【資料 6】 高校生に対する希望進路に関する調査
- 【資料 7】 高校生に対する興味のある学問系統に関する調査結果
- 【資料 8】 高校生に対する学科の魅力に関する調査結果
- 【資料 9】 高校生に対する受験意向・入学意向に関する調査結果
- 【資料 10】 高校生に対する調査結果まとめ
- 【資料 11】 愛知県内の私立大学看護学部の入学金一覧
- 【資料 12】 日本看護協会「看護職の人材育成に関する要望書」平成 30 年
- 【資料 13】 高齢者人口及び割合の推移(1950～2040 年)
- 【資料 14】 人口の長期推移～高齢化率の推移
- 【資料 15】 性・年齢階級別にみた受療率(人口 10 万対)
- 【資料 16】 愛知県の人口の推移の見通し
- 【資料 17】 要介護者等のいる世帯の世帯構造の構成割合の年次推移
- 【資料 18】 平均寿命と健康寿命の推移
- 【資料 19】 国籍・地域別在留外国人数の推移
- 【資料 20】 上位 15 位までの都道府県別在留外国人数の推移
- 【資料 21】 日本看護協会・令和 3 年度予算・政策に関する要望書
- 【資料 22】 日本看護協会「2020 年度予算・政策に関する要望書」平成 31 年
- 【資料 23】 愛知県看護協会からの要望書
- 【資料 24】 愛知県及び隣接する 3 県の看護師養成所数及び 1 学年定員(平成 30 年～令和 2 年、募集中止を除く)
- 【資料 25】 愛知県及び隣接する 3 県の保健師養成所数及び 1 学年定員(平成 30 年～令和 2 年、募集中止を除く)
- 【資料 26】 全国の就業保健師・助産師・看護師・准看護師の年次推移
- 【資料 27】 愛知県の就業看護師数及び就業保健師数～業務の種類・就業地別
- 【資料 28】 都道府県別の就業看護師数及び就業保健師数(人口 10 万人対)
- 【資料 29】 全国・愛知県の医療資源に関する現状－全国・愛知県の医療職者人口、医療施設数
- 【資料 30】 愛知県の施設別就業保健師数～平成 30 年と平成 18 年の比較

- 【資料 31】 医療介護需要予測指数（全国・愛知県）
- 【資料 32】 医療施設に対する採用状況に関する調査結果
- 【資料 33】 医療施設に対する勤務者数・採用希望に関する調査結果
- 【資料 34】 医療施設に対する学科の魅力に関する調査結果
- 【資料 35】 医療施設に対する本学科設置の必要性に関する調査結果
- 【資料 36】 医療施設に対する本学科卒業生の採用意向に関する調査結果
- 【資料 37】 医療施設に対する調査結果まとめ
- 【資料 38】 アンケート同封資料

【資料1 18歳人口の現状と将来予測】

1. (出典)

リクルート進学総研

2. (引用範囲)

「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.77 2020年1月号」

http://souken.shingakunet.com/research/202001_tohoku_souken_report.pdf

3. (その他の説明)

「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.77 2020年1月号」の内、18歳人口予測（全体：東海：2019~2031年）の東海、岐阜、愛知、三重県の数値について、2021年の指数を100として2030年までの人数・指数を表として加工した。同様に18歳人口予測（女子：東海：2019~2030年）の東海、岐阜、愛知、三重県の数値について、2021年の指数を100として2030年までの人数・指数を表として加工した。

【資料2 大学進学率の推移】

【全体】大学への進学者数・進学率（現役）の推移（平成23年～令和2年）

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
全国	卒業者数	1,061,564	1,053,180	1,088,124	1,047,392	1,064,376	1,059,266	1,069,568	1,056,378	1,050,559	1,037,284
	進学者数	505,702	501,305	514,905	502,279	519,132	521,320	528,686	524,158	523,466	529,009
	進学率	47.6%	47.6%	47.3%	48.0%	48.8%	49.2%	49.4%	49.6%	49.8%	51.0%
東海	卒業者数	95,037	94,830	97,594	95,387	97,621	97,560	99,795	98,619	98,237	96,449
	進学者数	48,372	47,900	49,222	48,412	50,084	49,756	51,156	50,648	50,571	50,776
	進学率	50.9%	50.5%	50.4%	50.8%	51.3%	51.0%	51.3%	51.4%	51.5%	52.6%
愛知	卒業者数	60,168	60,584	62,695	61,326	63,156	63,579	65,204	64,684	64,353	63,287
	進学者数	31,849	31,980	33,130	32,598	33,950	34,127	34,813	34,725	34,617	34,821
	進学率	52.9%	52.8%	52.8%	53.2%	53.8%	53.7%	53.4%	53.7%	53.8%	55.0%
岐阜	卒業者数	18,503	18,172	18,475	18,263	18,477	18,029	18,379	18,240	18,146	17,778
	進学者数	9,068	8,567	8,763	8,656	8,899	8,534	8,959	8,868	8,980	8,900
	進学率	49.0%	47.1%	47.4%	47.4%	48.2%	47.3%	48.7%	48.6%	49.5%	50.1%
三重	卒業者数	16,366	16,074	16,424	15,798	15,988	15,952	16,212	15,695	15,738	15,384
	進学者数	7,455	7,353	7,329	7,158	7,235	7,095	7,384	7,055	6,974	7,055
	進学率	45.6%	45.7%	44.6%	45.3%	45.3%	44.5%	45.5%	45.0%	44.3%	45.9%

※進学率は進学者数/卒業者数として計算

【男子】大学への進学者数・進学率（現役）の推移（平成23年～令和2年）

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
全国	卒業者数	536,615	531,210	547,355	526,467	534,898	531,716	537,285	532,219	530,584	523,777
	進学者数	271,509	267,366	271,898	264,685	272,585	271,877	274,354	270,253	268,465	273,263
	進学率	50.6%	50.3%	49.7%	50.3%	51.0%	51.1%	51.1%	50.8%	50.6%	52.2%
東海	卒業者数	47,868	47,702	48,994	47,571	48,755	48,790	49,895	49,599	49,232	49,020
	進学者数	26,082	25,825	26,211	25,731	26,353	25,984	26,408	26,427	25,905	26,681
	進学率	54.5%	54.1%	53.5%	54.1%	54.1%	53.3%	52.9%	53.3%	52.6%	54.4%
愛知	卒業者数	30,200	30,384	31,589	30,471	31,398	31,719	32,451	32,464	32,087	32,189
	進学者数	16,849	17,087	17,589	17,222	17,675	17,671	17,758	17,910	17,619	18,223
	進学率	55.8%	56.2%	55.7%	56.5%	56.3%	55.7%	54.7%	55.2%	54.9%	56.6%
岐阜	卒業者数	9,295	9,163	9,275	9,093	9,283	9,013	9,257	9,224	9,218	8,980
	進学者数	5,114	4,768	4,886	4,664	4,798	4,560	4,778	4,796	4,654	4,730
	進学率	55.0%	52.0%	52.7%	51.3%	51.7%	50.6%	51.6%	52.0%	50.5%	52.7%
三重	卒業者数	8,373	8,155	8,130	8,007	8,074	8,058	8,187	7,911	7,927	7,851
	進学者数	4,119	3,970	3,736	3,845	3,880	3,753	3,872	3,721	3,632	3,728
	進学率	49.2%	48.7%	46.0%	48.0%	48.1%	46.6%	47.3%	47.0%	45.8%	47.5%

※進学率は進学者数/卒業者数として計算

【女子】大学への進学者数・進学率（現役）の推移（平成23年～令和2年）

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
全国	卒業者数	524,949	521,970	540,769	520,925	529,478	527,550	532,283	524,159	519,975	513,507
	進学者数	234,193	233,939	243,007	237,594	246,547	249,443	254,332	253,905	255,001	255,746
	進学率	44.6%	44.8%	44.9%	45.6%	46.6%	47.3%	47.8%	48.4%	49.0%	49.8%
東海	卒業者数	47,169	47,128	48,600	47,816	48,866	48,770	49,900	49,020	49,005	47,429
	進学者数	22,290	22,075	23,011	22,681	23,731	23,772	24,748	24,221	24,666	24,095
	進学率	47.3%	46.8%	47.3%	47.4%	48.6%	48.7%	49.6%	49.4%	50.3%	50.8%
愛知	卒業者数	29,968	30,200	31,106	30,855	31,758	31,860	32,753	32,220	32,266	31,098
	進学者数	15,000	14,893	15,541	15,376	16,275	16,456	17,055	16,815	16,998	16,598
	進学率	50.1%	49.3%	50.0%	49.8%	51.2%	51.7%	52.1%	52.2%	52.7%	53.4%
岐阜	卒業者数	9,208	9,009	9,200	9,170	9,194	9,016	9,122	9,016	8,928	8,798
	進学者数	3,954	3,799	3,877	3,992	4,101	3,974	4,181	4,072	4,326	4,170
	進学率	42.9%	42.2%	42.1%	43.5%	44.6%	44.1%	45.8%	45.2%	48.5%	47.4%
三重	卒業者数	7,993	7,919	8,294	7,791	7,914	7,894	8,025	7,784	7,811	7,533
	進学者数	3,336	3,383	3,593	3,313	3,355	3,342	3,512	3,334	3,342	3,327
	進学率	41.7%	42.7%	43.3%	42.5%	42.4%	42.3%	43.8%	42.8%	42.8%	44.2%

※進学率は進学者数/卒業者数として計算

※平成23年度～令和2年度学校基本調査に基づき作成

【資料3 私立大学看護学部の志願者・入学者動向】

私立大学看護学部の志願者・入学者動向

	集計学部数		入学定員		志願者数		入学者数		志願倍率 (B/A)
		前年度増減	(A)	前年度増減	(B)	前年度増減		前年度増減	
平成28年度	81		7,427		44,462		7,997		5.99
平成29年度	88	7	8,112	685	48,762	4,300	8,708	711	6.01
平成30年度	95	7	8,819	707	56,612	7,850	9,402	694	6.42
平成31年度	101	6	9,335	516	56,868	256	9,604	202	6.09
令和2年度	100	-1	9,150	-185	54,346	-2,522	9,406	-198	5.94

出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立学校・短期大学等入学志願者動向」を基に作成

【資料 4 愛知県内私立大学看護学部の志願倍率】

愛知県内の私立大学看護系学部の入試状況（令和2年度）

区分	大学名	学部学科	入学定員 (A)	志願者数 (B)	受験者数 (C)	合格者数 (D)	志願倍率 (B) / (A)
私立	中部大学	生命健康学部保健看護学科	100	703	684	230	7.03
私立	名古屋学芸大学	看護学部看護学科	100	2,529	2,322	198	25.29
私立	藤田医科大学	保健衛生学部看護学科	135	1,154	1,147	550	8.55
私立	名古屋女子大学	健康科学部看護学科	80	758	748	228	9.48
私立	愛知医科大学	看護学部看護学科	100	1,047	1,042	382	10.47
私立	人間環境大学	看護学部看護学科	95	1,030	933	316	10.84
私立	椋山女学園大学	看護学部看護学科	100	873	856	283	8.73
私立	日本福祉大学	看護学部看護学科	100	965	927	293	9.65
私立	修文大学	看護学部看護学科	100	1,348	1,302	509	13.48
私立	日本赤十字豊田看護大学	看護学部看護学科	120	498	492	207	4.15
私立	豊橋創造大学	保健医療学部看護学科	90	326	317	228	3.62
私立	一宮研伸大学	看護学部看護学科	80	260	246	166	3.25
合計			1,200	11,491	11,016	3,590	9.58

※志願者数・受験者数・合格者数の数値は、推薦・AO・一般・センターの合算

※全学部入試など看護学科における志願者数、受験者数を特定できない方式は除外

※「2020年度入試結果調査 ベネッセグループ進研アド調べ」に基づき作成

【資料5 愛知県内大学看護学部の入試状況（平成30年度～令和2年度）】

【愛知県】看護系学科 平成30年度～令和2年度入試状況

大学名称（略称）	学部名称	学科名称	入学定員			志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
			2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)												
中部大	生命健康	保健看護	100	100	100	1,073	1,048	703	1,048	1,032	684	238	204	230	92	95	103
名古屋学芸大	看護	看護	100	100	100	3,846	2,435	2,529	3,502	2,204	2,322	149	248	198	106	106	107
藤田医科大	保健衛生	看護	120	135	135	1,089	1,111	1,154	1,085	1,105	1,147	416	459	550	131	135	140
名古屋女子大	健康科学	看護	開設前	80	80	開設前	599	758	開設前	589	748	開設前	164	228	開設前	79	87
愛知医科大	看護	看護	100	100	100	1,003	1,006	1,047	996	1,001	1,042	355	369	382	103	101	103
人間環境大	看護	看護	95	95	95	999	930	1,030	870	848	933	222	242	316	105	99	106
椋山女学園大	看護	看護	100	100	100	696	766	873	658	719	856	268	295	283	103	107	101
日本福祉大	看護	看護	100	100	100	836	843	965	781	785	927	198	329	293	101	97	108
修文大	看護	看護	100	100	100	1,485	1,589	1,348	1,458	1,561	1,302	535	455	509	105	103	104
日赤豊田看護大	看護	看護	120	120	120	567	734	498	547	712	492	215	200	207	134	130	129
豊橋創造大	保健医療	看護	90	90	90	659	517	326	641	510	317	253	239	228	91	85	100
一宮研伸大	看護	看護	80	80	80	244	246	260	233	231	246	152	157	166	98	88	83
愛知県立大	看護	看護	90	90	90	458	628	465	378	436	342	93	94	91	92	90	91
名古屋市立大	看護	看護	80	80	80	258	235	200	175	199	160	85	82	82	83	80	81
名古屋大	医	保健 <small>（看護学専攻）</small>	80	80	80	202	184	162	173	151	132	86	85	86	82	82	81
合計			1,355	1,450	1,450	13,415	12,871	12,318	12,545	12,083	11,650	3,265	3,622	3,849	1,426	1,477	1,524

※志願者数・受験者数・合格者数の数値は推薦・AO・一般・センター入試の合算（大学非公表の数値は除外）

※志願者数、受験者数について、全学部入試は除外（学部・学科ごとの志願者数が集計できないため）

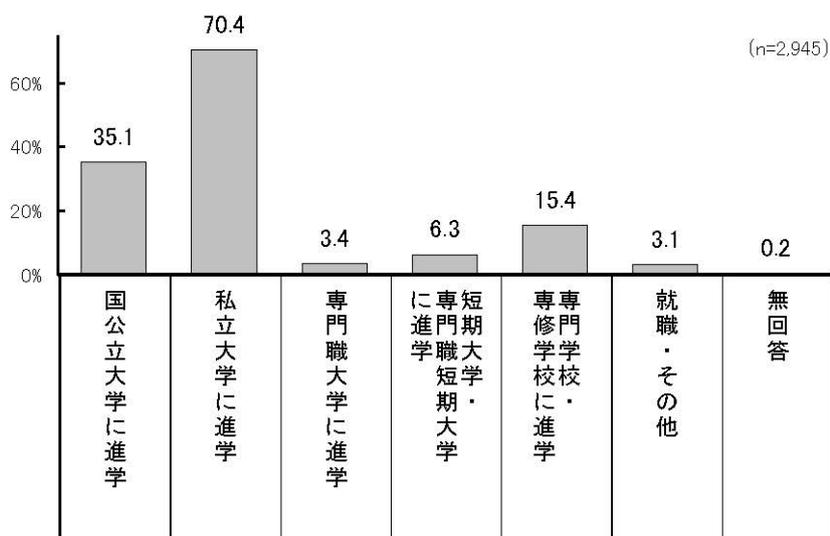
※各大学公式WEBサイト、入試ガイド、入試結果調査、マナビジョンブック「大学発見ナビ」より作成

【資料6 高校生に対する希望進路に関する調査】

高校卒業後の希望進路

■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

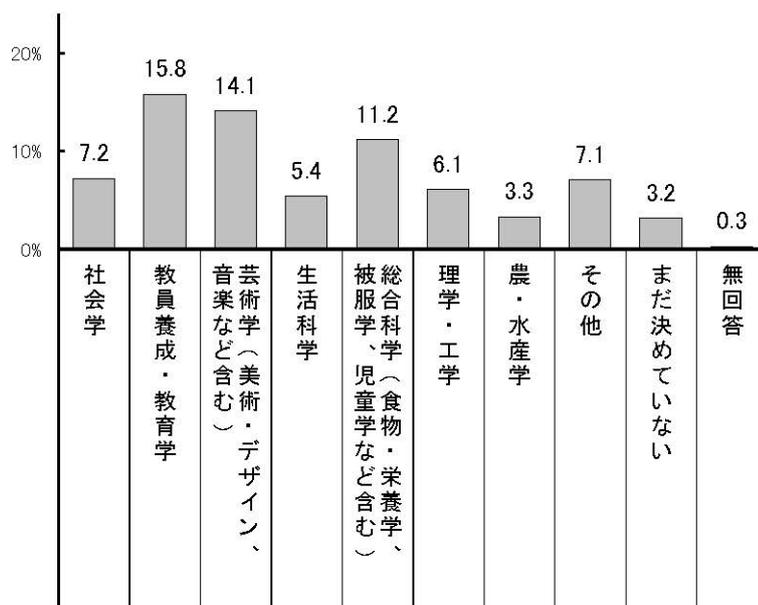
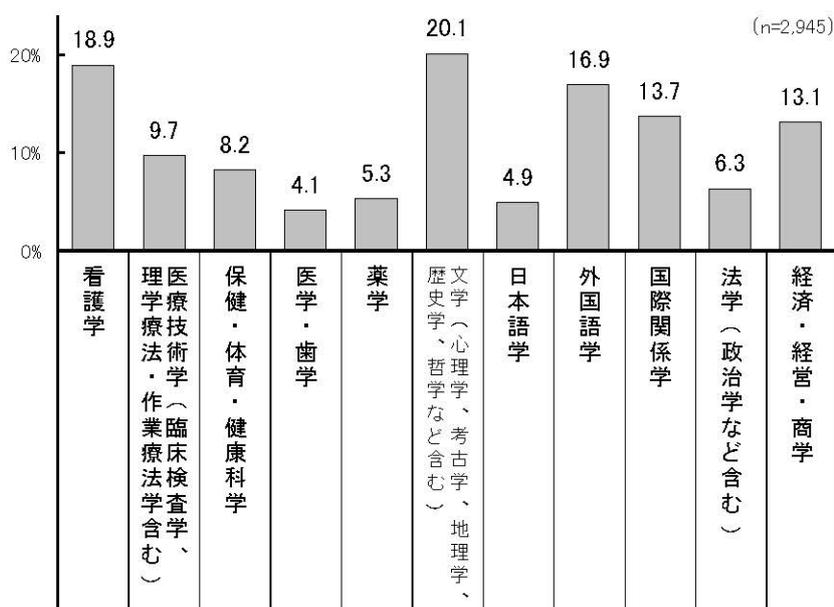


【資料7 高校生に対する興味のある学問系統に関する調査結果】

興味のある学問系統

■興味のある学問系統

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
 以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)
 (現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

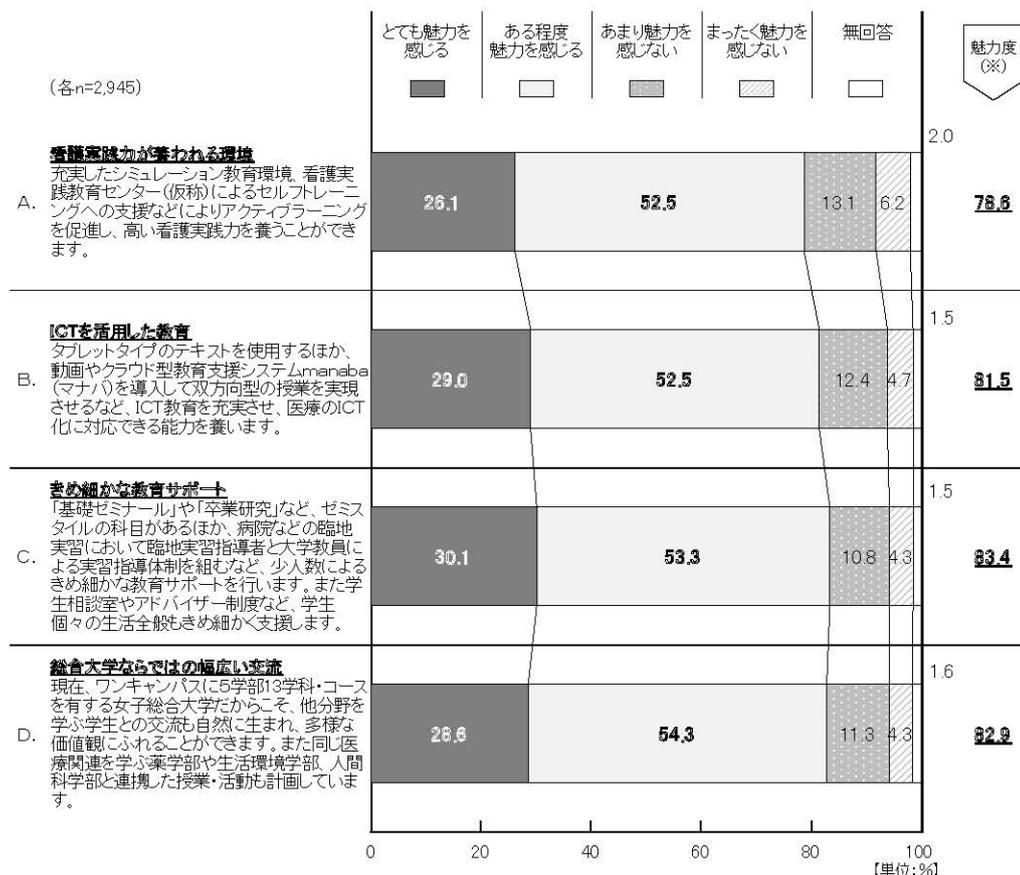


【資料 8 高校生に対する学科の魅力に関する調査結果】

金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度

■金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度

Q3. 金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

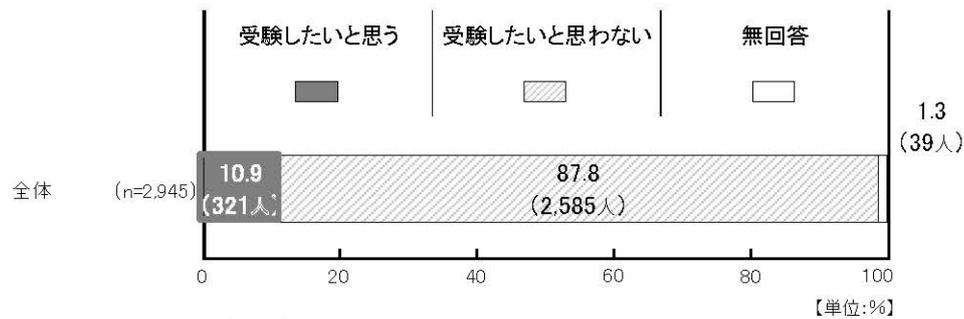
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

【資料9 高校生に対する受験意向・入学意向に関する調査結果】

金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向／ 入学意向／受験意向別入学意向

■金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向

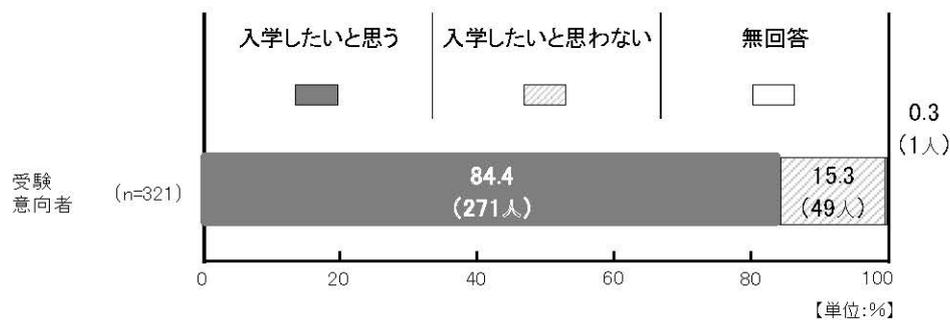
Q4. あなたは、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つにQをつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた321人のみ抽出

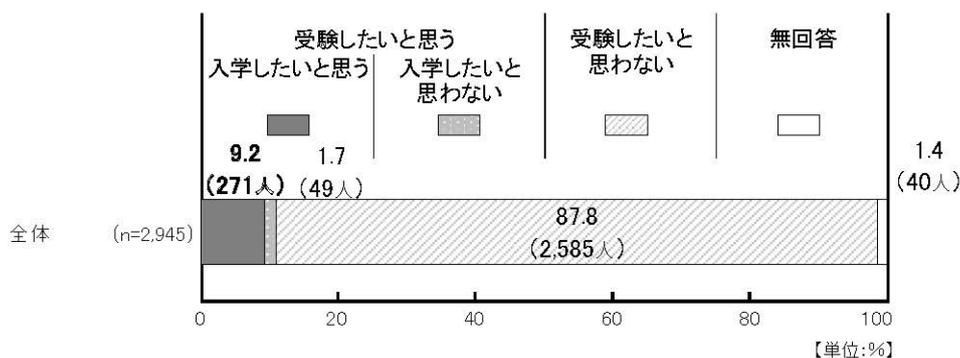
■金城学院大学「看護学部 看護学科」への入学意向

Q5. あなたは、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つにQをつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

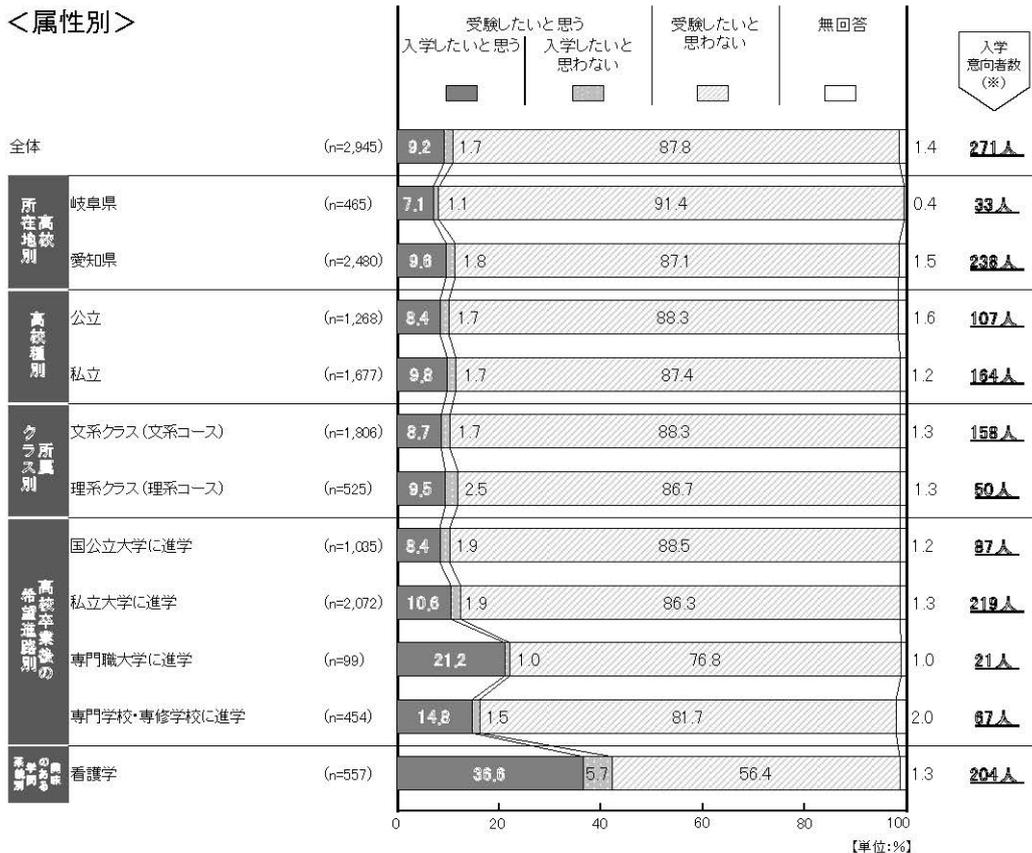
■金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別入学意向



金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別 入学意向<属性別>

■金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別入学意向 <属性別>

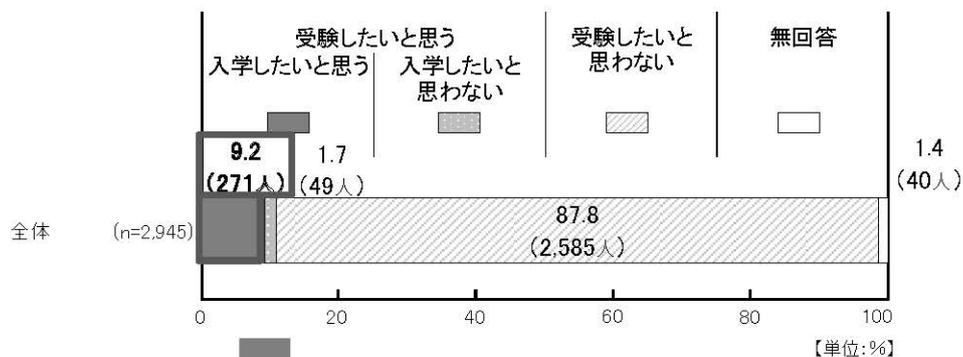
※金城学院大学「看護学部 看護学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。



※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

保健師の資格取得意向／取得希望資格

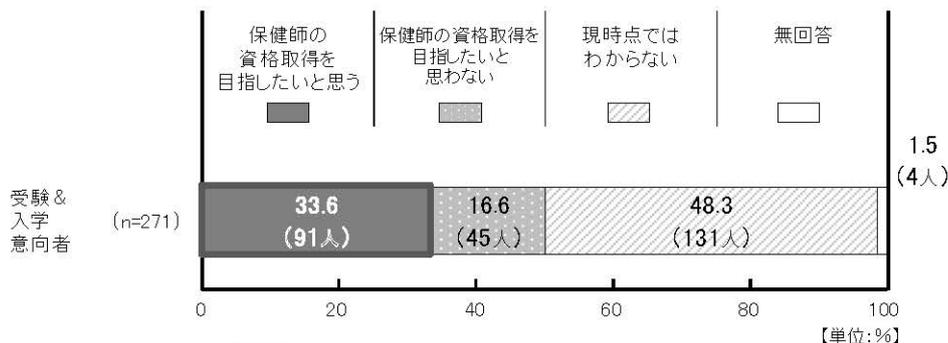
■(再掲)金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別入学意向



↓ 「受験したいと思う」かつ、「入学したいと思う」と答えた271人のみ抽出

■保健師の資格取得意向

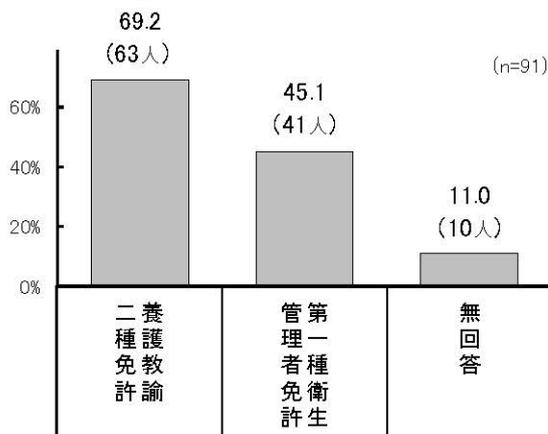
Q6. Q5で、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)に「入学したいと思う」と回答した方にお聞きます。金城学院大学「看護学部 看護学科」では、看護師に加え「保健師」の資格取得を目指すことができます。あなたは入学後、「保健師」の資格取得を目指したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



↓ 「保健師の資格取得を目指したいと思う」と答えた91人のみ抽出

■取得希望資格

Q6-2. 保健師の資格を取得すれば、申請により以下の資格を得ることができます。取得を希望する番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



【資料10 高校生に対する調査結果まとめ】

金城学院大学
「看護学部 看護学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象】

令和3年3月
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学「看護学部 看護学科」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		愛知県、岐阜県、三重県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	4,593人(30校)
	有効回収数 (回収校数)	2,945人(25校) 有効回収率:64.1%
調査時期		2021年1月7日(木)～2021年1月29日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

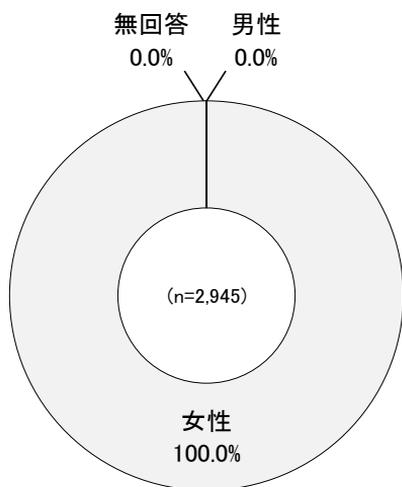
高校生対象調査
・性別
・高校種別
・高校所在地
・所属クラス
・高校卒業後の希望進路
・興味のある学問系統
・金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度
・金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向
・金城学院大学「看護学部 看護学科」への入学意向
・保健師の資格取得意向
・取得希望資格

高校生対象 調査結果

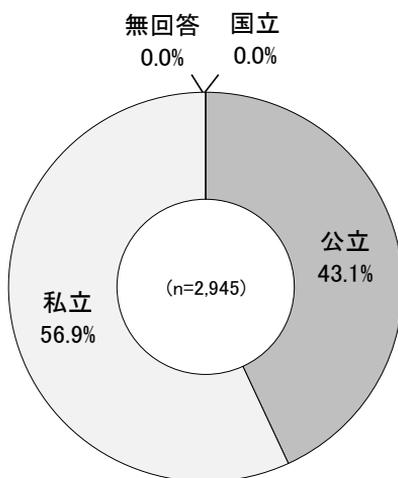


回答者の属性(性別/高校種別/高校所在地/所属クラス)

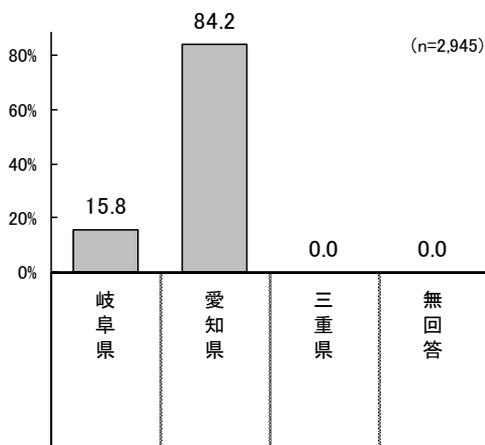
■性別



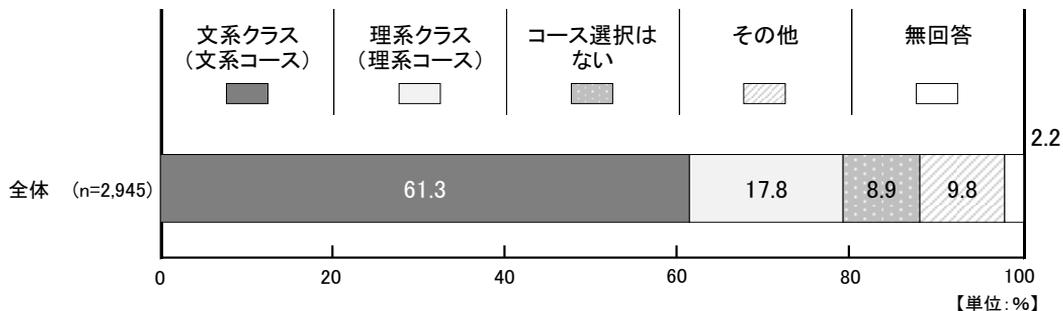
■高校種別



■高校所在地



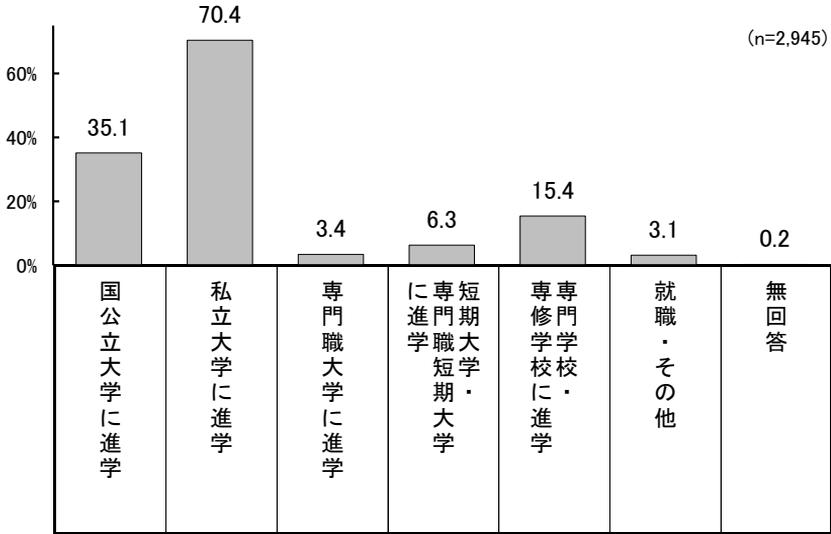
■所属クラス



高校卒業後の希望進路

■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

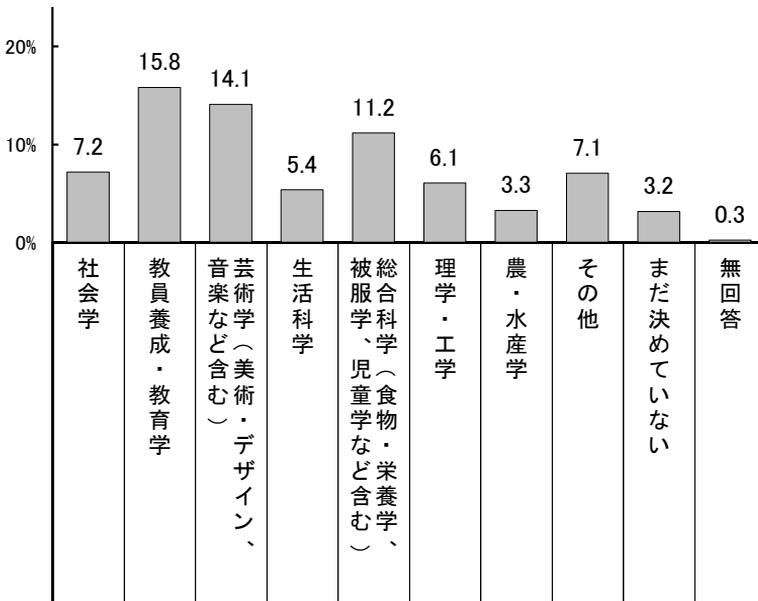
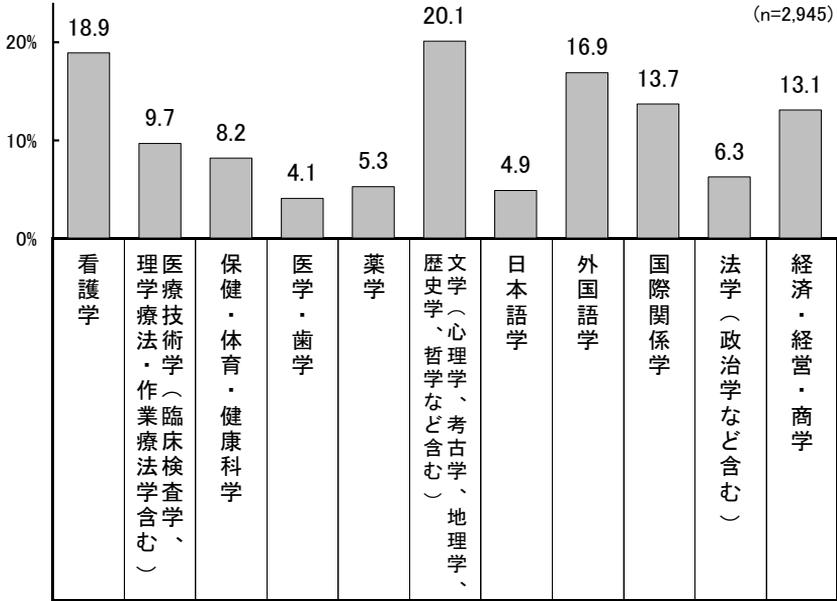


興味のある学問系統

■興味のある学問系統

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。

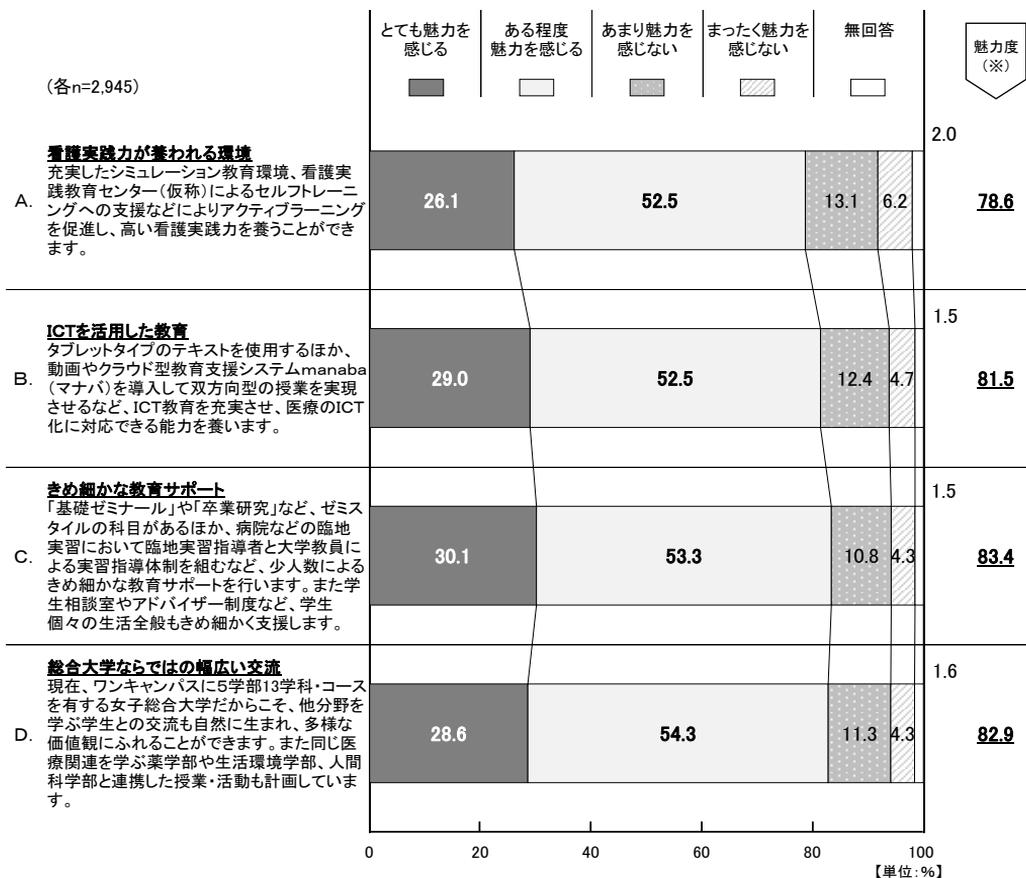
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度

■金城学院大学「看護学部 看護学科」の特色に対する魅力度

Q3. 金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



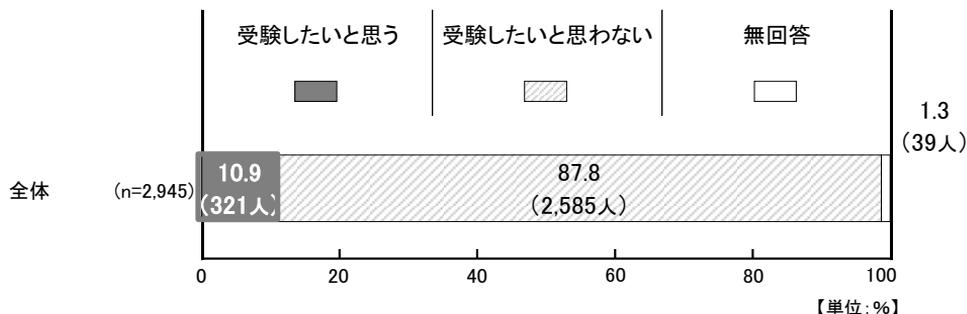
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向／ 入学意向／受験意向別入学意向

■金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向

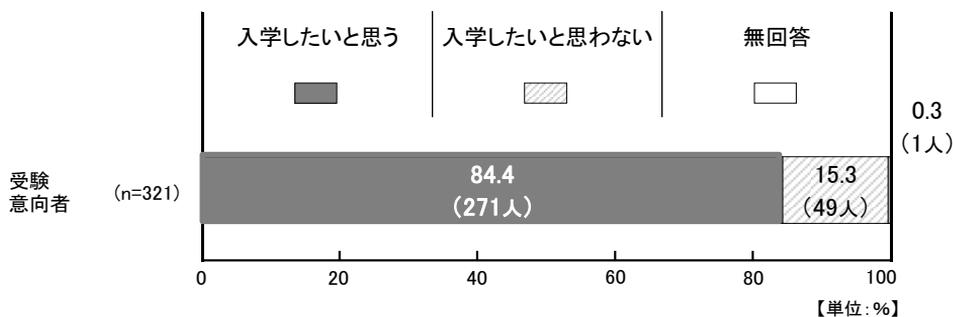
Q4. あなたは、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた321人のみ抽出

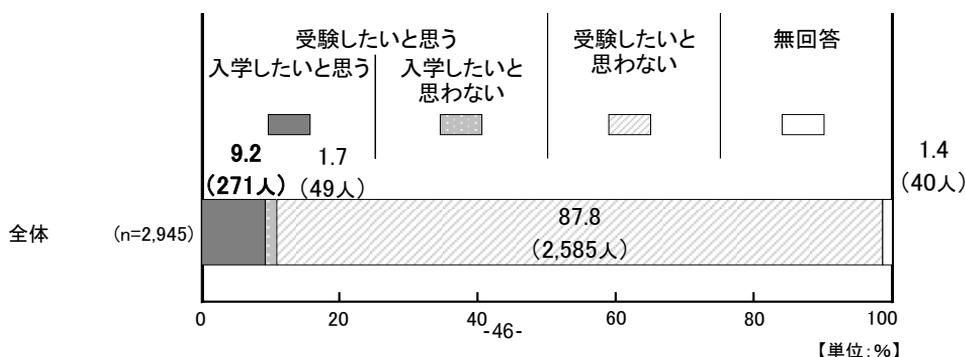
■金城学院大学「看護学部 看護学科」への入学意向

Q5. あなたは、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

■金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別入学意向

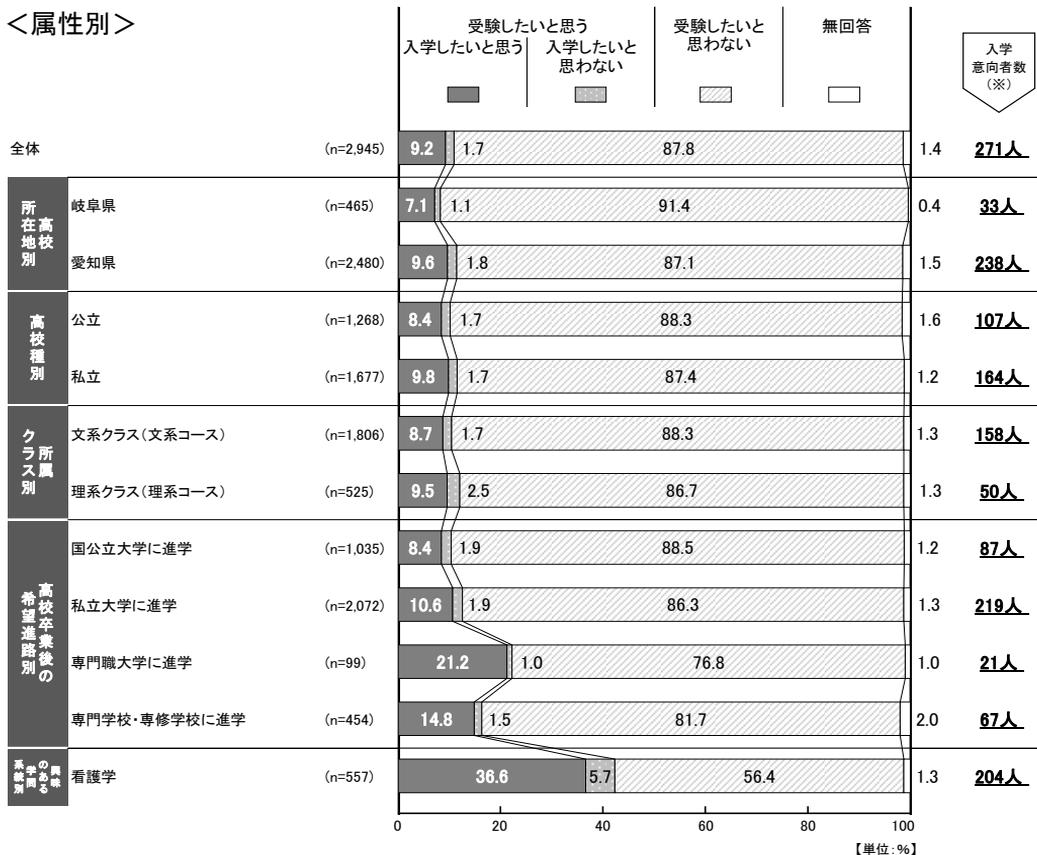


金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別 入学意向<属性別>

■金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別入学意向 <属性別>

※金城学院大学「看護学部 看護学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

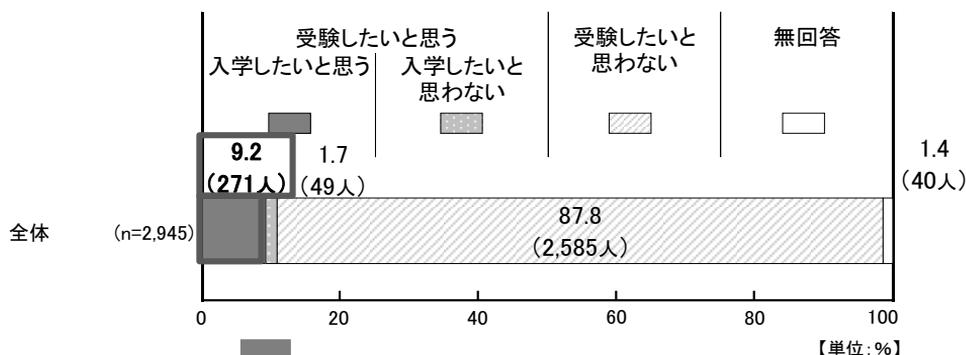
<属性別>



※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

保健師の資格取得意向／取得希望資格

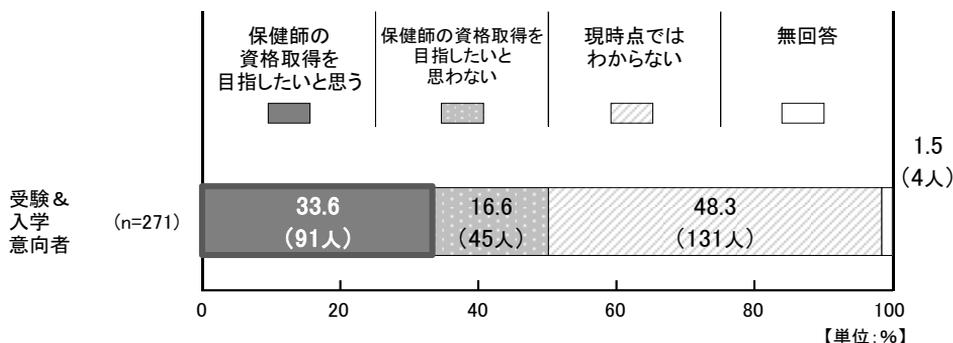
■(再掲)金城学院大学「看護学部 看護学科」への受験意向別入学意向



「受験したいと思う」かつ、「入学したいと思う」と答えた271人のみ抽出

■保健師の資格取得意向

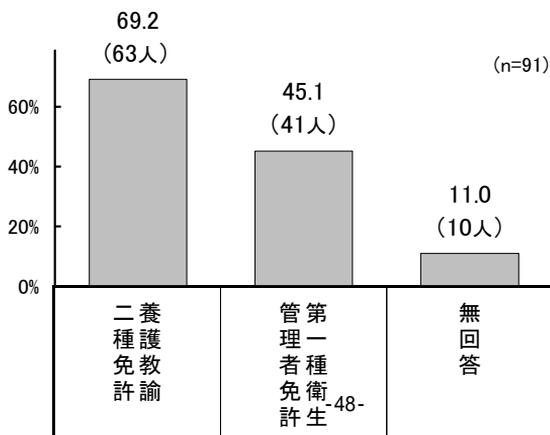
Q6. Q5で、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)に「入学したいと思う」と回答した方にお聞きします。金城学院大学「看護学部 看護学科」では、看護師に加え「保健師」の資格取得を目指すことができます。あなたは入学後、「保健師」の資格取得を目指したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「保健師の資格取得を目指したいと思う」と答えた91人のみ抽出

■取得希望資格

Q6-2. 保健師の資格を取得すれば、申請により以下の資格を得ることができます。取得を希望する番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



卷末資料 調查票



【資料11 愛知県内の私立大学看護系学部の初年度納付金一覧】

愛知県内の私立大学看護系学部の初年度納付金一覧

区分	大学名	学部学科	初年度納付金
私立	中部大学	生命健康学部保健看護学科	¥1,755,300
私立	名古屋学芸大学	看護学部看護学科	¥1,700,000
私立	藤田医科大学	保健衛生学部看護学科	¥1,846,000
私立	名古屋女子大学	健康科学部看護学科	¥1,759,000
私立	愛知医科大学	看護学部看護学科	¥1,750,000
私立	人間環境大学	看護学部看護学科	¥1,795,000
私立	椋山女学園大学	看護学部看護学科	¥1,929,300
私立	日本福祉大学	看護学部看護学科	¥1,939,800
私立	修文大学	看護学部看護学科	¥1,650,000
私立	日本赤十字豊田看護大学	看護学部看護学科	¥1,900,000
私立	豊橋創造大学	保健医療学部看護学科	¥1,830,000
私立	一宮研伸大学	看護学部看護学科	¥1,680,000

※各大学が公表している金額（令和2年11月16日時点）に基づき作成

【資料12 日本看護協会「看護職の人材育成に関する要望書」平成30年】

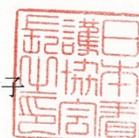
平成30年4月25日

文部科学省

高等教育局長 義本 博司 殿

公益社団法人 日本看護協会

会長 福井 トシ子



看護職の人材育成に関する要望書

医療提供体制の改革や地域包括ケアシステムの構築などの看護を取り巻く状況は大きく変化するとともに、看護を必要とする人々は複数の疾患や複雑な社会的背景を有するなど、患者像・利用者像も変化しています。このような状況下において、看護職には状況を的確に判断し対応するための看護実践能力の向上やニーズの多様化に対応した役割発揮が求められています。

つきましては、大学における看護師の育成および大学院における保健師・助産師育成についてご尽力を賜りますよう要望いたします。

重点要望事項

大学における質の高い看護学教育課程の推進

出典：公益社団法人日本看護協会ホームページ
https://www.nurse.or.jp/up_pdf/20180427150208_f.pdf

【資料13 高齢者人口及び割合の推移(1950～2040年)】

年次	総人口 (万人)	高齢者人口 (万人)				総人口に占める割合 (%)			
		65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上	65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上
1950	8320	411	234	106	37	4.9	2.8	1.3	0.4
1955	8928	475	278	139	51	5.3	3.1	1.6	0.6
1960	9342	535	319	163	67	5.7	3.4	1.7	0.7
1965	9827	618	362	187	78	6.3	3.7	1.9	0.8
1970	10372	733	435	221	95	7.1	4.2	2.1	0.9
1975	11194	887	542	284	120	7.9	4.8	2.5	1.1
1980	11706	1065	669	366	162	9.1	5.7	3.1	1.4
1985	12105	1247	828	471	222	10.3	6.8	3.9	1.8
1990	12361	1493	981	599	296	12.1	7.9	4.8	2.4
1995	12557	1828	1187	718	388	14.6	9.5	5.7	3.1
2000	12693	2204	1492	901	486	17.4	11.8	7.1	3.8
2005	12777	2576	1830	1164	636	20.2	14.3	9.1	5.0
2010	12806	2948	2121	1419	820	23.0	16.6	11.1	6.4
2015	12709	3387	2411	1632	997	26.6	19.0	12.8	7.8
2018	12643	3556	2617	1795	1104	28.1	20.7	14.2	8.7
2019	12617	3588	2715	1848	1125	28.4	21.5	14.7	8.9
2020	12532	3619	2795	1872	1161	28.9	22.3	14.9	9.3
2025	12254	3677	2961	2180	1331	30.0	24.2	17.8	10.9
2030	11913	3716	2969	2288	1569	31.2	24.9	19.2	13.2
2035	11522	3782	2971	2260	1629	32.8	25.8	19.6	14.1
2040	11092	3921	3013	2239	1578	35.3	27.2	20.2	14.2

資料：1950年～2015年は「国勢調査」、2018年及び2019年は「人口推計」

2020年以降は「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計
（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

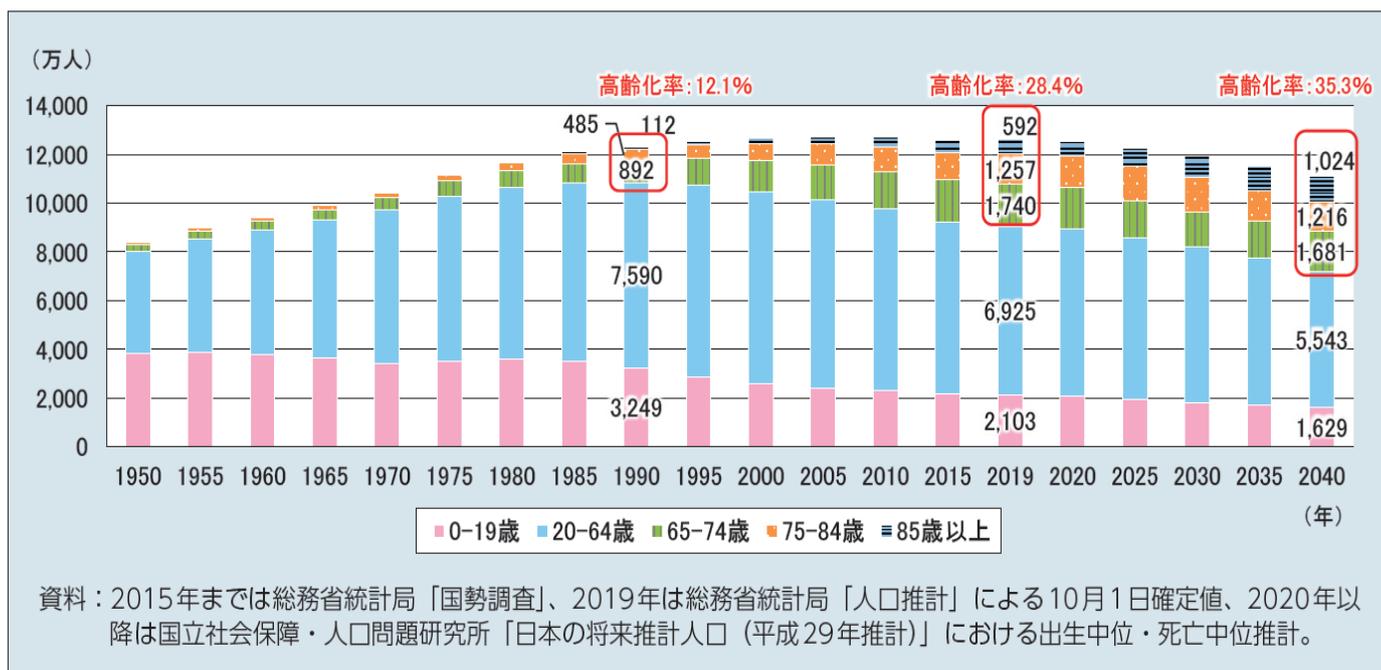
注1）2018年及び2019年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

2）国勢調査による人口及び割合は、年齢不詳をあん分した結果

3）1970年までは沖縄県を含まない。

出典：総務省統計局；統計トピックス No. 121 統計からみた我が国の高齢者—「敬老の日」にちなんで
一、p3

【資料14 人口の長期推移 ～高齢化率の推移】



出典：厚生労働省、令和2年版・厚生労働白書—令和時代の社会保障と働き方を考える—、
（平成30年度・令和元年度厚生労働行政年次報告）、p4

【資料15 性・年齢階級別にみた受療率(人口10万対)】

平成29年10月

年齢階級	入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	1 036	972	1 096	5 675	4 953	6 360
0 歳	1 167	1 208	1 124	7 276	7 439	7 105
1 ~ 4	169	191	146	6 517	6 670	6 354
5 ~ 9	86	94	77	4 377	4 495	4 253
10 ~ 14	94	100	86	2 764	2 899	2 623
15 ~ 19	113	116	110	1 923	1 734	2 123
20 ~ 24	158	134	182	2 108	1 599	2 648
25 ~ 29	235	159	314	2 751	1 882	3 663
30 ~ 34	291	199	385	3 104	2 104	4 138
35 ~ 39	296	248	346	3 203	2 260	4 173
40 ~ 44	311	327	296	3 362	2 668	4 075
45 ~ 49	398	442	354	3 782	3 072	4 507
50 ~ 54	552	628	475	4 481	3 802	5 167
55 ~ 59	758	888	628	5 233	4 464	5 998
60 ~ 64	997	1 188	811	6 279	5 710	6 832
65 ~ 69	1 305	1 560	1 067	7 824	7 297	8 317
70 ~ 74	1 712	2 002	1 457	10 174	9 661	10 626
75 ~ 79	2 448	2 715	2 233	12 123	11 764	12 410
80 ~ 84	3 633	3 818	3 505	12 551	12 745	12 414
85 ~ 89	5 326	5 409	5 285	11 608	12 075	11 368
90 歳以上	7 815	7 433	7 936	9 968	10 339	9 850
(再掲)						
65 歳以上	2 734	2 699	2 760	10 369	9 977	10 670
75 歳以上	3 997	3 868	4 080	11 899	12 023	11 820

注：総数には、年齢不詳を含む。

出典：厚生労働省、平成29年（2017年）患者調査の概況、2. 受療率(1)性・年齢階級別、表4

【資料16 愛知県の人口の推移の見通し】

愛知県の総人口は、平成 25 (2013) 年を 1 とした場合、平成 37 (2025) 年には 0.99、平成 52 (2040) 年には 0.92 に減少すると推定、全国平均と比較すると緩やかな減少である。

65 歳以上の人口は、平成 37 (2025) 年には 1.18 倍、平成 52 年 (2040) 年には 1.35 倍、75 歳以上人口は、1.57 倍、1.62 倍に増加すると推計されている。全国を上回る増加が見込まれている。

＜人口の推移＞ ※ () は平成 25 年を 1 とした場合の各年の指数

区 分	総人口		
	平成25年	平成37年	平成52年
全 国	127,298,000 (1.00)	120,658,000 (0.95)	107,276,000 (0.84)
愛知県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)

区 分	65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年
全 国	31,898,000 (1.00)	36,573,000 (1.15)	38,678,000 (1.21)	15,603,000 (1.00)	21,786,000 (1.40)	22,230,000 (1.42)
愛知県	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)

・平成 25 年：全国は「人口推計（平成 25 年 10 月 1 日現在）（総務省）」。県は「愛知県人口動向調査（平成 25 年 10 月 1 日現在）」。

・平成 37 年及び平成 52 年：全国、県ともに「日本の地域別将来推計人口（人口問題研究所）」。

出典：愛知県、愛知県地域医療構想、愛知県地域医療計画別冊、P2、平成 28 年 10 月

【資料17 要介護者等のいる世帯の世帯構造の構成割合の年次推移】

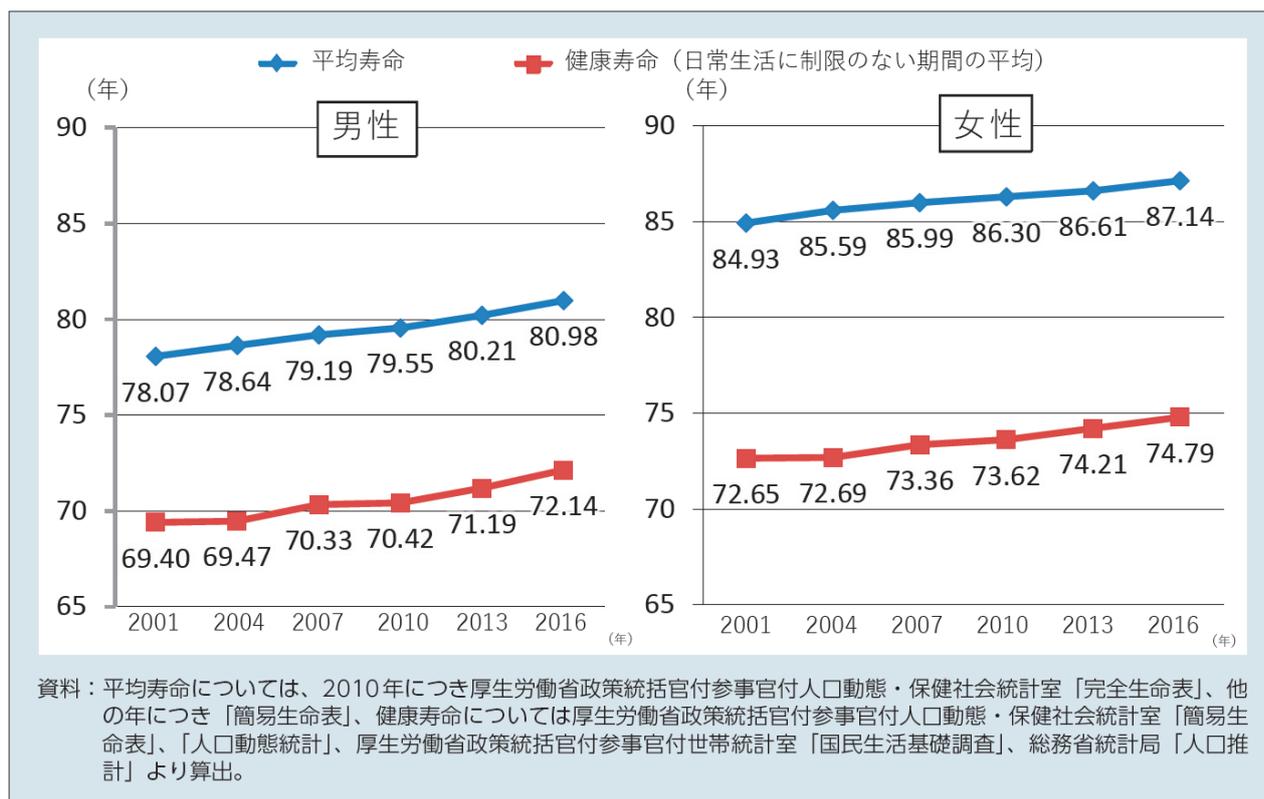
(単位：%)

年次	総数	単独世帯	核家族世帯	(再掲) 夫婦のみの 世帯	三世代世帯	その他の 世帯	(再掲) 高齢者世帯
'04(16)	100.0	20.2	30.4	19.5	29.4	20.0	40.4
'07(19)	100.0	24.0	32.7	20.2	23.2	20.1	45.7
'10(22)	100.0	26.1	31.4	19.3	22.5	20.1	47.0
'13(25)	100.0	27.4	35.4	21.5	18.4	18.7	50.9
'16(28)	100.0	29.0	37.9	21.9	14.9	18.3	54.5
'19(令和元)	100.0	28.3	40.3	22.2	12.8	18.6	57.1

注：2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。

出典：厚生労働省、政策統括官付参事官付世帯統計室、2019年国民生活基礎調査の概況、P23、
令和2年7月17日

【資料18 平均寿命と健康寿命の推移】



出典：厚生労働省、令和2年版・厚生労働白書—令和時代の社会保障と働き方を考える—、
（平成30年度・令和元年度厚生労働行政年次報告）、p17

【資料19 国籍・地域別在留外国人数の推移】

国籍・地域	平成27年末 2015	平成28年末 2016	平成29年末 2017	平成30年末 2018	令和元年末 2019	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
総数	2,232,189	2,382,822	2,561,848	2,731,093	2,933,137	100.0	7.4
中国	665,847	695,522	730,890	764,720	813,675	27.7	6.4
韓国・朝鮮	-	-	-	-	-	-	-
韓国	457,772	453,096	450,663	449,634	446,364	15.2	-0.7
ベトナム	146,956	199,990	262,405	330,835	411,968	14.0	24.5
フィリピン	229,595	243,662	260,553	271,289	282,798	9.6	4.2
ブラジル	173,437	180,923	191,362	201,865	211,677	7.2	4.9
ネパール	54,775	67,470	80,038	88,951	96,824	3.3	8.9
インドネシア	35,910	42,850	49,982	56,346	66,860	2.3	18.7
台湾	48,723	52,768	56,724	60,684	64,773	2.2	6.7
米国	52,271	53,705	55,713	57,500	59,172	2.0	2.9
タイ	45,379	47,647	50,179	52,323	54,809	1.9	4.8
その他	321,524	345,189	373,339	396,946	424,217	14.5	6.9

出典：法務省、出入国在留管理庁、令和元年末現在における在留外国人数について（令和2年3月27日）の第1表から抜粋して作成。

【資料20 上位15位までの都道府県別在留外国人数の推移】

都道府県	平成27年末 (2015)	平成28年末 (2016)	平成29年末 (2017)	平成30年末 (2018)	令和元年末 (2019)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
総数	2,232,189	2,382,822	2,561,848	2,731,093	2,933,137	100.0	7.4
東京都	462,732	500,874	537,502	567,789	593,458	20.2	4.5
愛知県	209,351	224,424	242,978	260,952	281,153	9.6	7.7
大阪府	210,148	217,656	228,474	239,113	255,894	8.7	7.0
神奈川県	180,069	191,741	204,487	218,946	235,233	8.0	7.4
埼玉県	139,656	152,486	167,245	180,762	196,043	6.7	8.5
千葉県	122,479	133,071	146,318	156,058	167,512	5.7	7.3
兵庫県	98,625	101,562	105,613	110,005	115,681	3.9	5.2
静岡県	76,081	79,836	85,998	92,459	100,148	3.4	8.3
福岡県	60,417	64,998	72,039	77,044	83,468	2.8	8.3
茨城県	54,095	58,182	63,491	66,321	71,125	2.4	7.2
京都府	53,575	55,111	57,639	61,022	64,972	2.2	6.5
群馬県	46,401	50,220	55,137	58,220	61,689	2.1	6.0
岐阜県	45,923	48,465	51,029	55,205	60,206	2.1	9.1
広島県	42,899	46,047	49,068	52,134	56,898	1.9	9.1
三重県	43,031	44,913	49,178	52,087	56,590	1.9	8.6

出典：法務省、出入国在留管理庁、令和元年末現在における在留外国人数について（令和2年3月27日）の第4表から抜粋して作成。

【資料21 日本看護協会・令和3年度予算・政策に関する要望書】

令和2年7月8日

厚生労働大臣
加藤 勝信殿

公益社団法人 日本看護協会
会長 福井 トシ子



令和3年度予算・政策に関する要望書

地域包括ケアが推進される中、人々の療養の場が医療機関から地域のあらゆる場所へ広がっています。それに伴い訪問看護や地域における療養支援などがますます必要となっています。また、看護実践の場が多様化する一方で、柔軟な働き方、多様な働き方のニーズも高まっています。このような状況を踏まえた看護職員確保施策の枠組みの見直しと、看護提供を質と量の両方から担保するための堅実な看護提供体制としていくことが求められています。そのためには、特に看護師基礎教育の教育年限の見直し、効率的な医療提供に資する新たな看護資格の創設、看護師の勤務環境改善などの実現が急務であり、これらについて2040年を見据えた準備を早急に始める必要があります。

さらに、将来にわたり看護の実効性を確保していくためには、未就業者を含むすべての看護資格保有者の動静を適切に把握する資格管理体制を構築するとともに、長期的な視点で看護のあり方を体系的に検討し、看護機能の強化等を図っていくことも急がれます。

以上より、令和3年度予算案等の編成にあたっては、特に以下の事項につきまして必要な予算等が確保されるよう、格別のご高配を賜りますよう要望します。

要 望 事 項

1. 訪問看護提供体制の強化
2. 「看護婦等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改訂
3. 看護職の確保・質向上のための資格管理体制の構築に向けた検討
4. 2040年を見据えた看護機能の強化
5. 全世代型社会保障への転換を支える 地域における療養指導環境の整備

出典：公益社団法人日本看護協会ホームページ
https://www.nurse.or.jp/up_pdf/20200710134028_f.pdf

【資料22 日本看護協会「2020 年度予算・政策に関する要望書」平成31年】

文部科学省
高等教育局長 伯井 美德 殿

平成31年 4月24日

公益社団法人 日本看護協会
会長 福井 トシ子



2020年度予算・政策に関する要望書

地域医療構想に基づく医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築などにより、看護職の役割や活動場所はますます拡大しており、保健師・助産師・看護師ともに、さらなる専門性の発揮が求められています。とりわけ、看護師には、状況を的確に観察・判断し、状況に応じた適切に対応するための看護実践能力の向上が必要であり、それらの能力を育成する基礎教育の強化は喫緊の課題です。

つきましては、大学における看護師の育成および大学院における保健師・助産師育成についてご尽力を賜りますようお願いいたします。

要 望 事 項

大学・大学院における質の高い看護学教育課程の推進

出典：公益社団法人日本看護協会ホームページ
https://www.nurse.or.jp/up_pdf/20190425154118_f.pdf

【資料23 愛知県看護協会からの要望書】

令和3年2月15日

学校法人金城学院
理事長・学院長
戸 莉 創 様

公益社団法人
愛知県看護協会
会長 三浦 昌子



看護師・保健師の養成に関する要望書

愛知県では、今後増加する医療ニーズに対応するために、早急に質の高い医療職人材の養成と、地域の保健医療福祉の水準向上が求められています。また、看護職の役割や活動場所がますます広がるなか、看護師・保健師ともに更なる専門性の発揮が求められています。とりわけ、看護師には状況を的確に観察・判断し、状況に応じて適切に対応するための看護実践能力の向上が必要であり、それらの能力を養成するための基礎教育強化は必須です。

つきましては、大学における看護師・保健師の育成についてご尽力を賜りますよう要望致します。

以上

【資料24 愛知県及び隣接する3県の看護師養成所数及び1学年定員
(平成30年～令和2年、募集中止を除く)】

年次	地域	大学 a		短期大学/ 3年課程 b		養成所/ 3年課程 c		小計 a+b+c (d)		2年課程養成 小計 (e)		合計 (d+e)	
		学校数	1学年 定員	学校数	1学年 定員	学校数	1学年 定員	学校数	1学年 定員	学校数	1学年 定員	学校数	1学年 定員
令和2年 2020	全国	290	25,048	14	1,160	536	28,232	840	54,440	149	9,089	989	63,529
	%	29.3	39.4	1.4	1.8	54.2	44.4	84.9	85.7	15.1	14.3	100	100
	岐阜県	9	740	1	80	6	225	16	1,045	4	160	20	1,205
	%	45.0	61.4	5.0	6.6	30.0	18.7	80.0	86.7	20.0	13.3	100	100
	静岡県	5	530	0	0	16	747	21	1,277	1	40	22	1,317
	%	22.7	40.2	0.0	0.0	72.7	56.7	95.5	97.0	4.5	3.0	100	100
	愛知県	15	1,450	0	0	34	1,550	49	3,000	4	357	53	3,357
	%	28.3	43.2	0.0	0.0	64.2	46.2	92.5	89.4	7.5	10.6	100	100
	三重県	4	380	0	0	11	485	15	865	0	0	15	865
%	26.7	43.9	0.0	0.0	73.3	56.1	100.0	100.0	0.0	0.0	100	100	
令和元年 2019	全国	285	24,495	14	1,150	532	28,132	831	53,777	162	9,835	993	63,612
	%	28.7	38.5	1.4	1.8	53.6	44.2	83.7	84.5	16.3	15.5	100.0	100.0
	岐阜県	9	740	1	80	6	225	16	1,045	4	160	20	1,205
	%	45.0	61.4	5.0	6.6	30.0	18.7	80.0	86.7	20.0	13.3	100	100
	静岡県	5	530	0	0	16	747	21	1,277	1	40	22	1,317
	%	22.7	40.2	0.0	0.0	72.7	56.7	95.5	97.0	4.5	3.0	100	100
	愛知県	15	1,450	0	0	34	1,590	49	3,040	4	397	53	3,437
	%	28.3	42.2	0.0	0.0	64.2	46.3	92.5	88.4	7.5	11.6	100	100
	三重県	4	360	0	0	11	485	15	845	0	0	15	845
%	26.7	42.6	0.0	0.0	73.3	57.4	100.0	100.0	0.0	0.0	100	100	
平成30年 2018	全国	278	23,840	17	1,390	544	28,802	839	54,032	148	9,090	987	63,122
	%	28.2	37.8	1.7	2.2	55.1	45.6	85.0	85.6	15.0	14.4	100.0	100.0
	岐阜県	7	580	3	240	6	225	16	1,045	4	160	20	1,205
	%	35.0	48.1	15.0	19.9	30.0	18.7	80.0	86.7	20.0	13.3	100	100
	静岡県	5	530	0	0	16	747	21	1,277	1	40	22	1,317
	%	22.7	40.2	0.0	0.0	72.7	56.7	95.5	97.0	4.5	3.0	100	100
	愛知県	14	1,355	0	0	36	1,710	50	3,065	4	357	54	3,422
	%	25.9	39.6	0.0	0.0	66.7	50.0	92.6	89.6	7.4	10.4	100	100
	三重県	4	360	0	0	11	485	15	845	0	0	15	845
%	26.7	42.6	0.0	0.0	73.3	57.4	100.0	100.0	0.0	0.0	100	100	

* 「%」は、学校数の合計および1学年定員の合計に対する比率を示す。

* 厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」の調査結果「統計表一覧」e-Statからデータを引用して作成した。

【資料25 愛知県及び隣接する3県の保健師養成所数及び1学年定員
(平成30年～令和2年、募集中止除く)】

年次	地域	大学院		大学		短期大学		養成所		大学専攻科		保健師・合計	
		学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員
令和2年 2020年	全国	14	99	250	8,325	4	115	16	630	2	23	286	9,192
	%	4.9	1.1	87.4	90.6	1.4	1.3	5.6	6.9	0.7	0.3	100	100
	岐阜県	0	0	8	220	0	0	0	0	0	0	8	220
	%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100
	静岡県	0	0	4	371	0	0	0	0	0	0	4	371
	%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100
	愛知県	0	0	12	194	0	0	3	160	0	0	15	354
	%	0.0	0.0	80.0	54.8	0.0	0.0	20.0	45.2	0.0	0.0	100	100
	三重県	0	0	4	200	0	0	0	0	0	0	4	200
%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100	
令和元年 2019年	全国	14	100	246	8,515	4	115	16	670	0	0	280	9,400
	%	5.0	1.1	87.9	90.6	1.4	1.2	5.7	7.1	0.0	0.0	100	100
	岐阜県	0	0	8	220	0	0	0	0	0	0	8	220
	%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100
	静岡県	0	0	4	375	0	0	0	0	0	0	4	375
	%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100
	愛知県	0	0	12	213	0	0	3	160	0	0	15	373
	%	0.0	0.0	80.0	57.1	0.0	0.0	20.0	42.9	0.0	0.0	100	100
	三重県	0	0	4	250	0	0	0	0	0	0	4	250
%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100	
平成30年 2018年	全国	12	86	245	8666	5	135	17	690	0	0	279	9577
	%	4.3	0.9	87.8	90.5	1.8	1.4	6.1	7.2	0.0	0.0	100	100
	岐阜県	0	0	8	200	0	0	0	0	0	0	8	200
	%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100
	静岡県	0	0	4	404	0	0	0	0	0	0	4	404
	%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100
	愛知県	0	0	12	218	0	0	3	160	0	0	15	378
	%	0.0	0.0	80.0	57.7	0.0	0.0	20.0	42.3	0.0	0.0	100	100
	三重県	0	0	4	250	0	0	0	0	0	0	4	250
%	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100	

* 「%」は、学校数の合計および1学年定員の合計に対する比率を示す。

* 厚生労働省「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」の調査結果「統計表一覧」e-Statからデータを引用して作成した。

【資料26 全国の就業保健師・助産師・看護師・准看護師の年次推移】

各年末現在

	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	対平成28年	
	2008	2010	2012	2014	2016	2018	増減数	増減率 (%)
実人員 (人)								
保健師	43,446	45,028	47,279	48,452	51,280	52,955	1,675	3.3
男	447	582	730	936	1,137	1,352	215	18.9
女	42,999	44,446	46,549	47,516	50,143	51,603	1,460	2.9
助産師	27,789	29,672	31,835	33,956	35,774	36,911	1,137	3.2
看護師	877,182	952,723	1,015,744	1,086,779	1,149,397	1,218,606	69,209	6.0
男	44,884	53,748	63,321	73,968	84,193	95,155	10,962	13
女	832,298	898,975	952,423	1,012,811	1,065,204	1,123,451	58,247	5.5
准看護師	375,042	368,148	357,777	340,153	323,111	304,479	△18,632	△5.8
男	23,268	23,196	23,148	22,877	22,140	21,777	△363	△1.6
女	351,774	344,952	334,629	317,276	300,971	282,702	△18,269	△6.1
構成割合 (%)								
保健師	100	100	100	100	100	100		
男	1	1.3	1.5	1.9	2.2	2.6		
女	99	98.7	98.5	98.1	97.8	97.4		
看護師	100	100	100	100	100	100		
男	5.1	5.6	6.2	6.8	7.3	7.8		
女	94.9	94.4	93.8	93.2	92.7	92.2		
准看護師	100	100	100	100	100	100		
男	6.2	6.3	6.5	6.7	6.9	7.2		
女	93.8	93.7	93.5	93.3	93.1	92.8		
人口10万対 (人)								
保健師	34	35.2	37.1	38.1	40.4	41.9		
男	0.4	0.5	0.6	0.7	0.9	1.1		
女	33.7	34.7	36.5	37.4	39.5	40.8		
助産師	21.8	23.2	25	26.7	28.2	29.2		
看護師	687	744	796.6	855.2	905.5	963.8		
男	35.2	42	49.7	58.2	66.3	75.3		
女	651.8	702	746.9	797	839.2	888.5		
准看護師	293.7	287.5	280.6	267.7	254.6	240.8		
男	18.2	18.1	18.2	18	17.4	17.2		
女	275.5	269.4	262.4	249.7	237.1	223.6		

* 助産師は女性のみ。

出典：厚生労働省、平成30年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況から作成

【資料27 愛知県の就業看護師数及び就業保健師数～業務の種類・就業地別】

1) 就業看護師数

平成30年12月31日現在

保健所・市区町村	総数	病院	診療所	助産所	訪問看護 ステーション	介護老人 保健施設等	社会福 祉施設	保健所、 市町村又 は 都道府県	事業所	看護師等 学校養成 所又は 研究機関	その他
愛知県 (総数に占める%)	61,389 100%	41,729 68.0%	10,235 16.7%	4 0.0%	3,333 5.4%	3,507 5.7%	452 0.7%	473 0.8%	296 0.5%	1,014 1.7%	346 0.6%
市・市部・郡部は再掲)											
名古屋市	23,289	15,973	3,881	1	1,675	1,082	64	41	69	355	148
豊橋市	3,194	2,255	492	-	108	192	31	22	7	79	8
岡崎市	2,616	1,481	568	2	118	235	119	38	7	34	14
豊田市	3,229	2,064	519	-	96	307	31	55	67	69	21
県総数	29,061	19,956	4,775	1	1,336	1,691	207	317	146	477	155
(名古屋市・中核市を除く)											
市部総数	27,356	19,071	4,359	1	1,212	1,498	182	288	136	466	143
(名古屋市・中核市を除く)											
郡部総数	1,705	885	416	-	124	193	25	29	10	11	12

資料 医務課調べ

2) 就業保健師数

平成30年12月31日現在

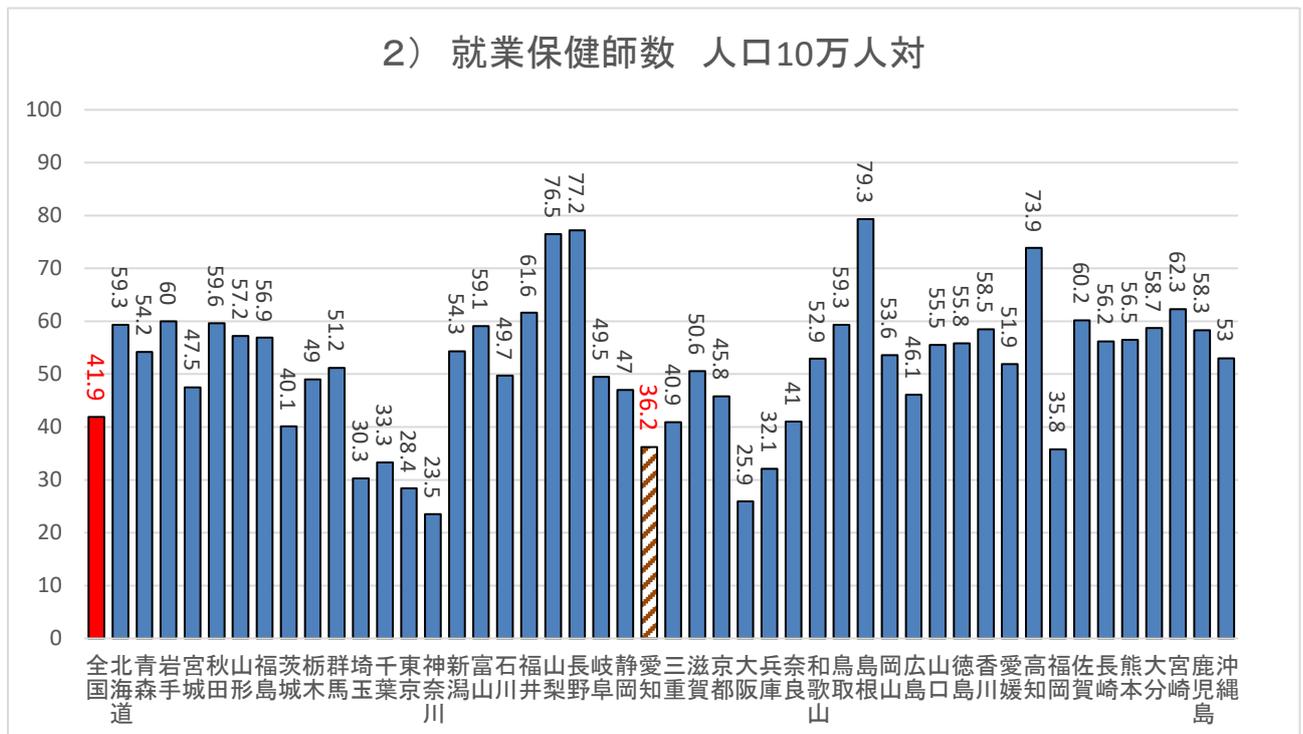
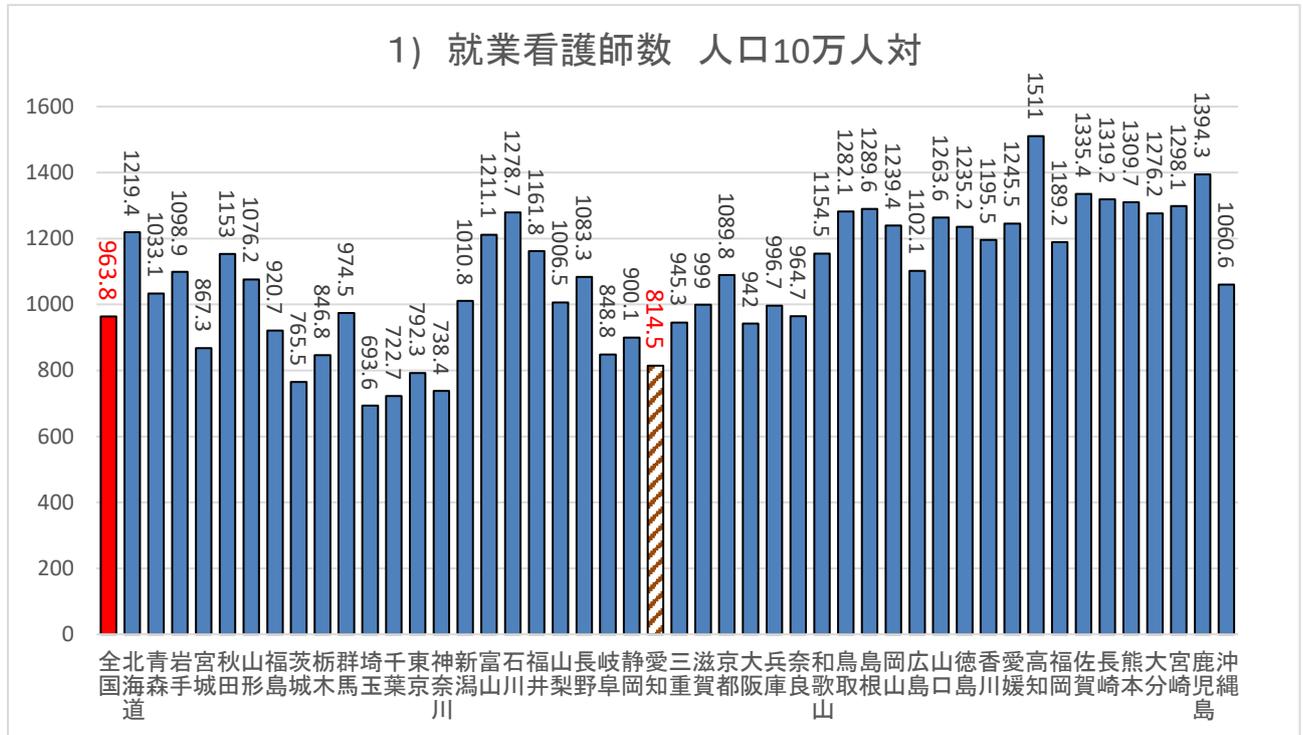
保健所・市区町村	総数	保健所	都道府県 (保健所 を除く)	市町村	病院	診療所	訪問看 護ステー ション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	事業所	看護師等 学校養成 所又は 研究機関	その他
愛知県 (総数に占める%)	2,726 100%	530 19.4%	29 1.1%	1,230 45.1%	194 7.1%	62 2.3%	20 0.7%	106 3.9%	31 1.1%	332 12.2%	71 2.6%	121 4.4%
市・市部・郡部は再掲)												
名古屋市	784	264	26	76	28	32	16	71	13	164	36	58
豊橋市	105	65	-	14	12	1	-	3	-	6	2	2
岡崎市	100	47	-	21	1	10	-	7	1	10	-	3
豊田市	223	25	-	76	24	3	-	8	7	59	4	17
県総数	1,514	129	3	1,043	129	16	4	17	10	93	29	41
(名古屋市・中核市を除く)												
市部総数	1,308	128	3	868	128	11	4	13	9	85	29	30
(名古屋市・中核市を除く)												
郡部総数	206	1	-	175	1	5	-	4	1	8	-	11

資料 医務課調べ

出典：平成30(2018)年・愛知県衛生年報、第4部医務、第6表、第8表を参照し、抜粋して作成した。

【資料28 都道府県別の就業看護師数及び就業保健師数】

平成30年末現在



出典：厚生労働省、平成30年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況から引用作成

【資料29 全国・愛知県の医療資源に関する現状】

一 全国・愛知県の医療職者人口、医療施設数】

＜医療資源等の状況＞

区 分	全国①	愛知県②	②/①
病院数	8,540	325	—
人口10万対	6.7	4.4	65.7%
診療所数	100,528	5,259	—
有床診療所	9,249	408	—
人口10万対	7.3	5.5	75.3%
歯科診療所数	68,701	3,707	—
人口10万対	54.0	49.9	92.4%
病院病床数	1,537,772	67,579	—
人口10万対	1,236.3	908.9	73.5%
一般病床数	897,380	40,437	—
人口10万対	704.9	543.9	77.2%
療養病床数	328,195	13,806	—
人口10万対	257.8	185.7	72.0%
精神病床数	339,780	13,010	—
人口10万対	266.9	175.0	65.6%
有床診療所病床数	121,342	4,801	—
人口10万対	95.3	64.6	67.8%

区 分	全国①	愛知県②	②/①
医療施設従事医師数	288,850	14,712	—
人口10万対	226.5	197.9	87.4%
病床100床対	17.0	20.3	119.4%
医療施設従事歯科医師数	99,659	5,410	—
人口10万対	78.2	72.8	93.1%
薬局・医療施設従事薬剤師数	205,716	10,525	—
人口10万対	161.3	141.6	87.8%
病院従事看護師数	747,009	36,145	—
人口10万対	586.8	486.1	82.8%
病床100床対	47.5	49.9	105.1%
特定機能病院	84	4	—
救命救急センター数	271	22	—
面積(km ²)	377,972.28	5,169.83	—

- ・病院・病床数等(全国):医療施設調査(平成25年10月1日現在)
- ・病院・病床数等(愛知県):病院名簿(平成25年10月1日現在)
- ・医療施設従事医師数、歯科医師数、薬剤師数、薬局・医療施設従事薬剤師数:
平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査(平成24年12月31日現在)
- ・病院従事者看護師数:病院報告(平成25年10月1日現在)
- ・特定機能病院:平成27年6月1日現在(厚生労働省電話照会)
- ・救命救急センター(全国):厚生労働省資料(平成27年3月1日現在)
- ・面積:平成26年度全国都道府県市区町村面積調(平成26年10月1日現在)

【留意事項】

- ・人口10万対における人口は、平成25年10月1日現在における愛知県人口動態調査を使用
- ・病床100床対医療施設従事者における病床数は、病院病床数と有床診療所病床数の合計を使用

出典：愛知県、愛知県地域医療構想、愛知県地域医療計画別冊、P3、平成28年10月

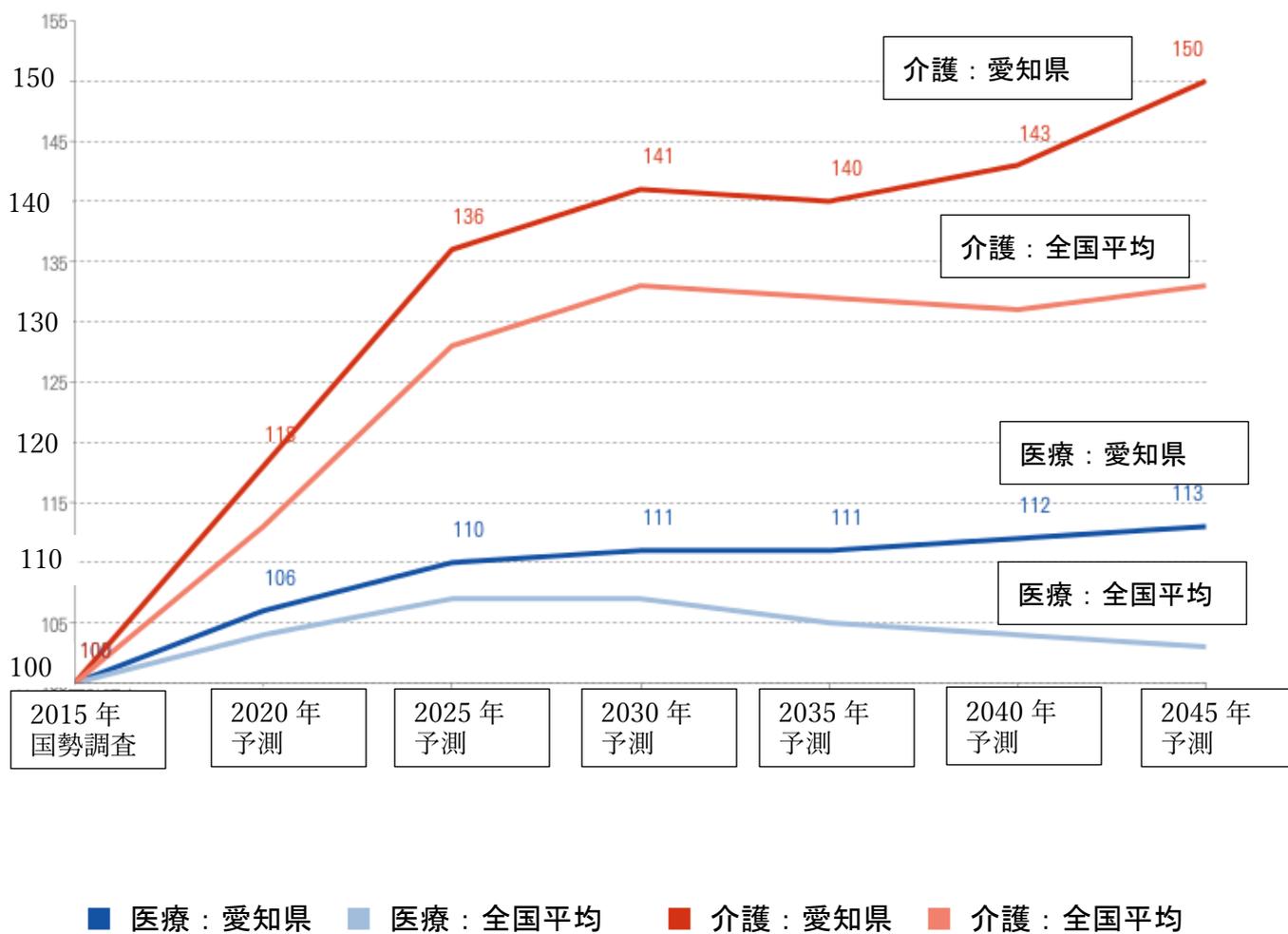
【資料30 愛知県の施設別就業保健師数～平成30年と平成18年の比較】

年次	総数	就業施設										
		保健所	都道府県(保健所を除く)	市町村	病院	診療所	訪問看護ステーション	介護保険施設等	社会福祉施設	事業所	看護師等学校養成所又は研究機関	その他
平成30年	2,726	530	29	1,230	194	62	20	106	31	332	71	121
平成29年	2,553	502	34	1,188	123	70	11	46	54	300	83	142
平成28年	2,553	502	34	1,188	123	70	11	46	54	300	83	142
平成27年	2,341	470	—	1,082	107	50	17	8	29	399	79	100
平成26年	2,341	470	—	1,082	107	50	17	8	29	399	79	100
平成25年	2,200	461	—	1,046	84	41	13	4	42	354	84	71
平成24年	2,200	461	—	1,046	84	41	13	4	42	354	84	71
平成23年	2,097	462	—	994	66	32	8	7	33	321	89	85
平成22年	2,097	462	—	994	66	32	8	7	33	321	89	85
平成21年	2,007	493	—	928	57	36	9	8	34	229	65	148
平成20年	2,007	493	—	928	57	36	9	8	34	229	65	148
平成19年	1,746	425	—	875	56	41	5	7	29	186	55	67
平成18年	1,746	425	—	875	56	41	5	7	29	186	55	67
比率(平成30年÷平成18年)	1.56	1.25	—	1.41	3.46	1.51	4.00	15.14	1.07	1.78	1.29	1.81

出典：愛知県衛生年報、平成18年版から平成30年版の第4部医務の就業保健師数、業務の種類・就業地による保健所・市区町村別のデータから作成。

【資料31 医療介護需要予測指数(全国・愛知県)】

(2015年実績=100)



出典：地域医療情報システム JMAP、地域・愛知県、日本医師会

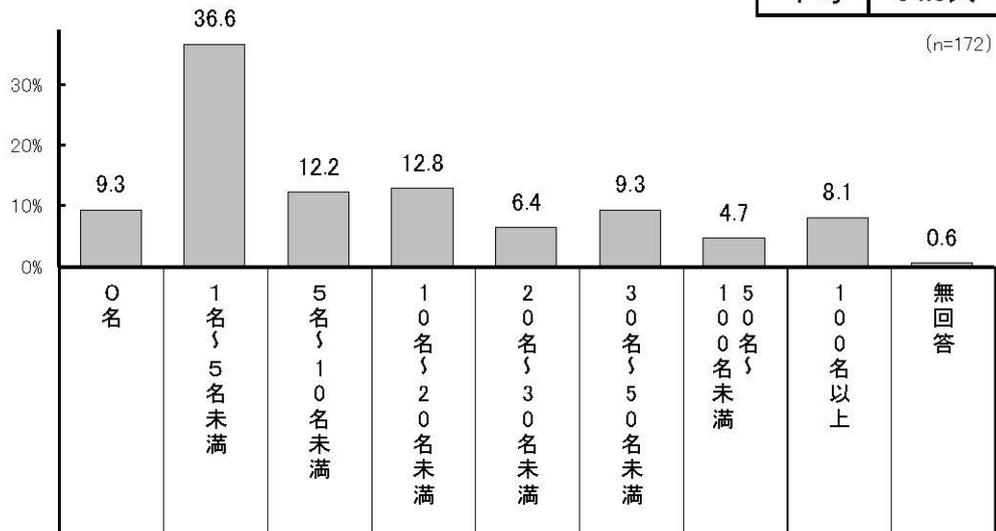
【資料32 医療施設に対する採用状況に関する調査結果】

正規職員・社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

■正規職員・社員の平均採用人数

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規職員・社員の採用数について、お教えください。

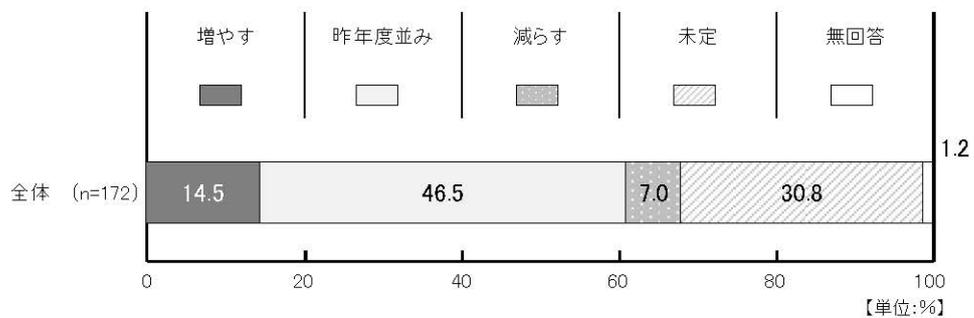
総数	5,953人
平均	34.8人



※総数は、平均的な正規職員・社員採用人数の合計値

■本年度の採用予定数

Q6. 貴院・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



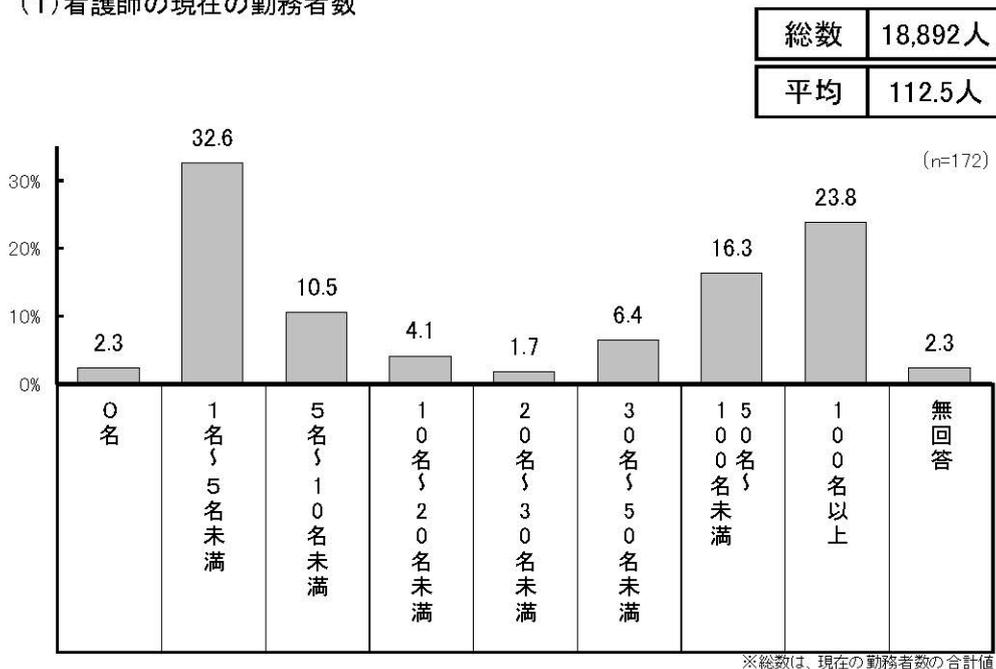
【資料33 医療施設に対する勤務者数・採用希望に関する調査結果】

看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

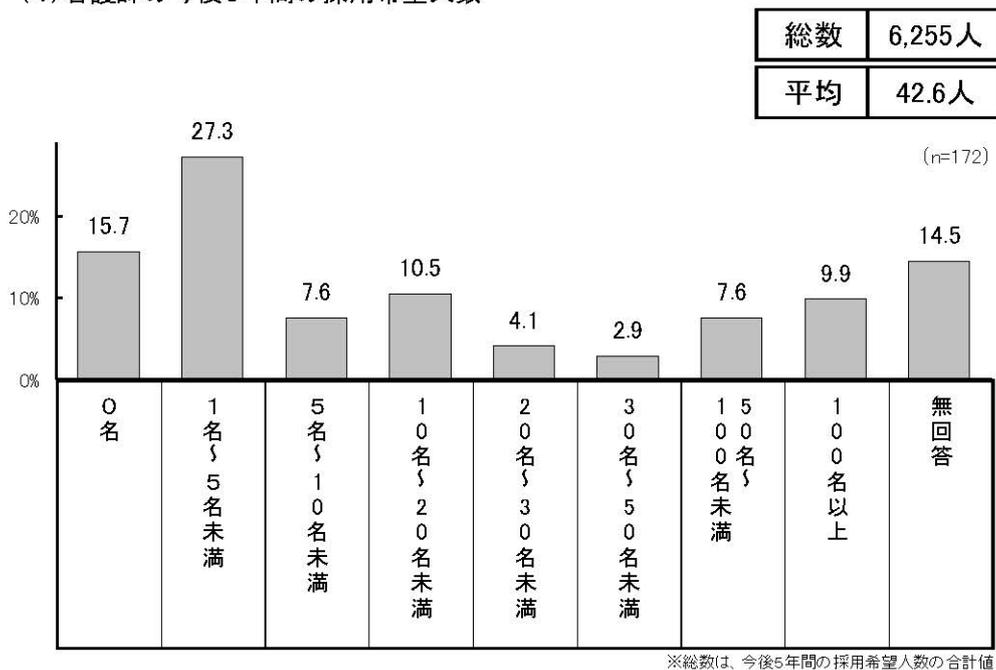
■看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

Q7. 貴院・貴団体に、(1)～(3) 現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数。
 (4)～(6) 今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(1) 看護師の現在の勤務者数



(4) 看護師の今後5年間の採用希望人数



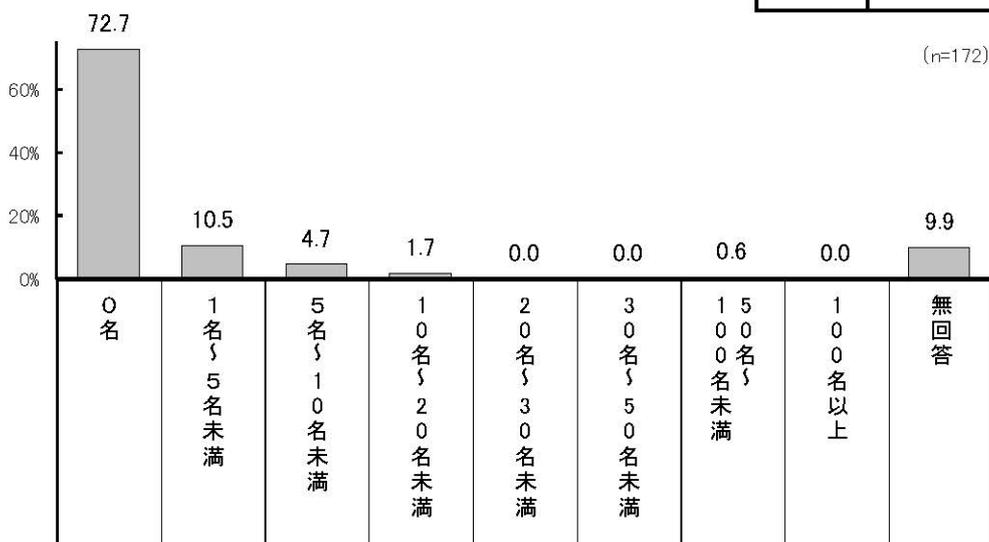
看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

■看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

Q7. 貴院・貴団体に、(1)～(3) 現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数。
 (4)～(6) 今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(2) 保健師の現在の勤務者数

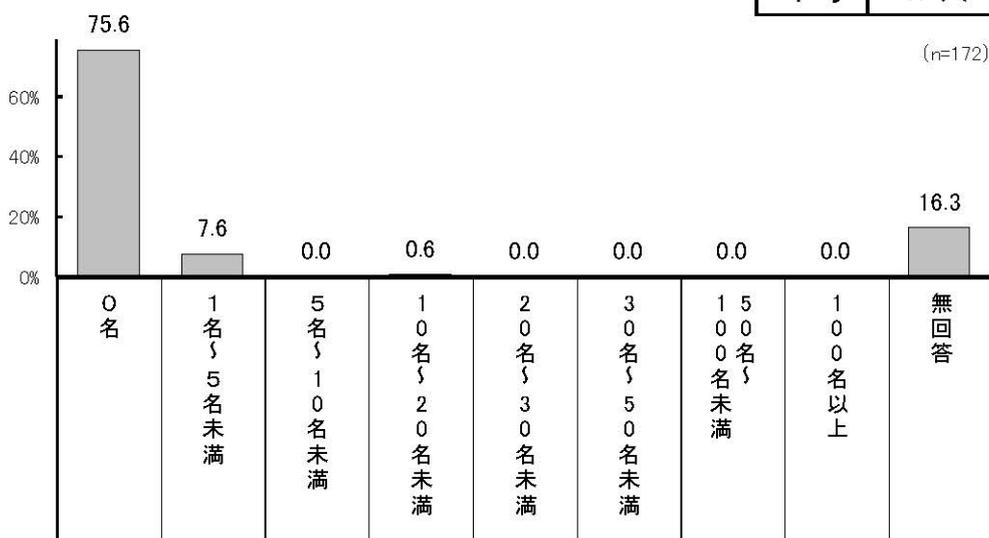
総数	189人
平均	1.2人



※総数は、現在の勤務者数の合計値

(5) 保健師の今後5年間の採用希望人数

総数	29人
平均	0.2人



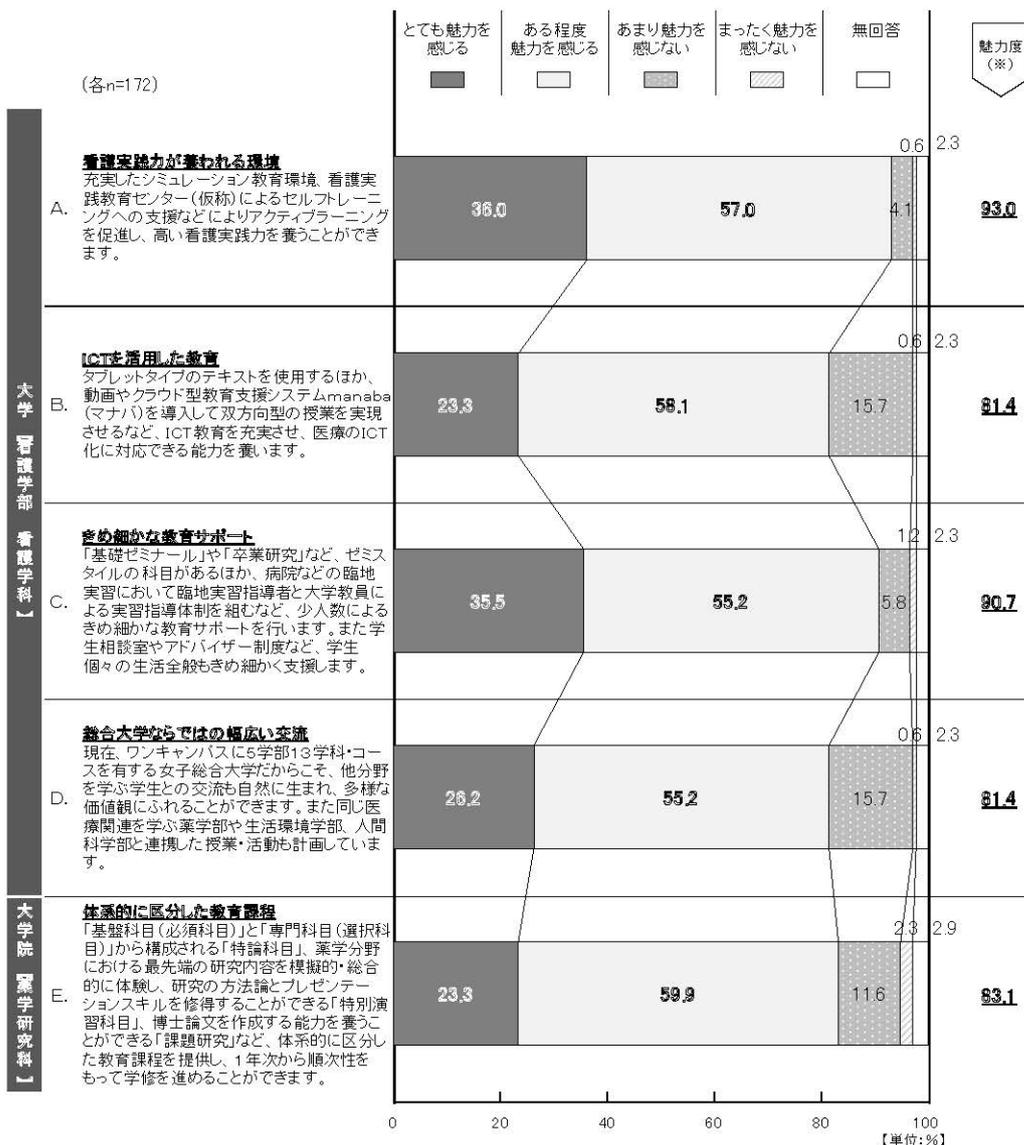
※総数は、今後5年間の採用希望人数の合計値

【資料34 医療施設に対する学科の魅力に関する調査結果】

金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度

■金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度

Q8. 金城学院大学の「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)、金城学院大学大学院の「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)には以下の特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

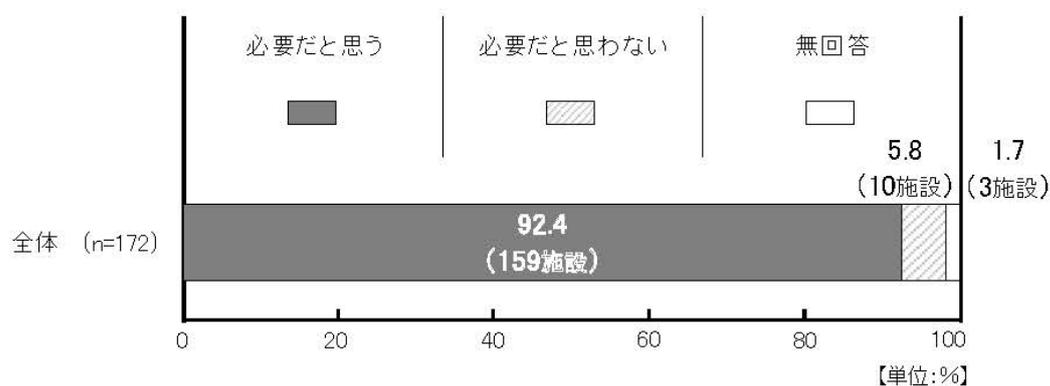
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

【資料35 医療施設に対する本学科設置の必要性に関する調査結果】

金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

■金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性

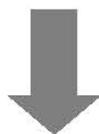
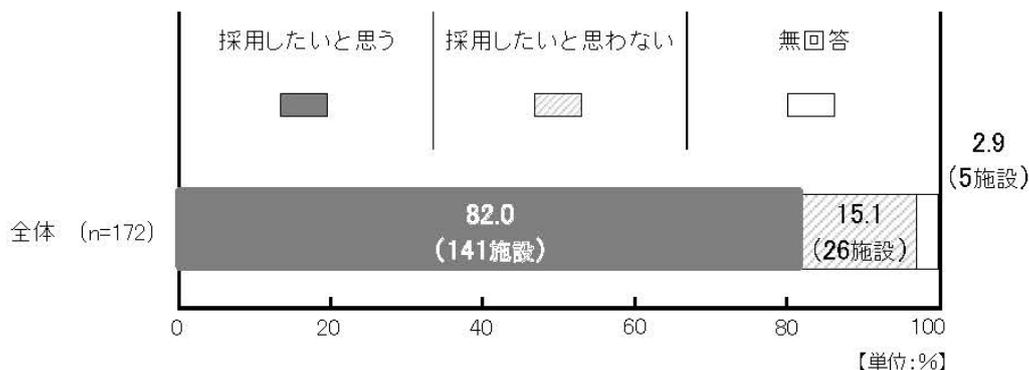
Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



【資料36 医療施設に対する本学科卒業生の採用意向に関する調査結果】

■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)※看護師として採用



「採用したいと思う」と答えた141施設のみ抽出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)※看護師として採用

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計
		141	%	47.5%	13.5%	15.6%	1.4%	
	施設数	67	19	22	2	12	6	
	名	67	38	66	8	60	60	

計お示毎
(※よした年の
びたの採用
施設採用
) 想定人数
想定人数
・ 計人数
を

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

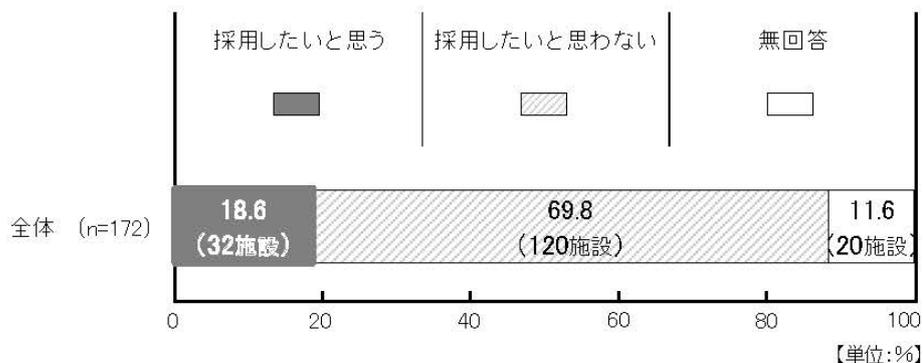
※金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」に対して、Q10で「採用したいと思う」(※看護師として採用)と回答した施設を【採用意向施設】と定義し、さらに【採用意向施設】のうち、Q11で具体的な人数を回答した施設の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

<属性別>			採用意向(%)	採用意向施設・合計	採用想定人数・合計
			[単位: %]		
			0 20 40 60 80 100		
全体	(n=172)		82.0	141施設	299人
所在地別 本社	岐阜県	(n=18)	88.9	16施設	36人
	愛知県	(n=139)	79.9	111施設	227人
	三重県	(n=14)	92.9	13施設	36人
業種別	病院	(n=91)	91.2	83施設	237人
	診療所・クリニック	(n=77)	71.4	55施設	58人
従業員数別	50名未満	(n=78)	70.5	55施設	62人
	50名～100名未満	(n=13)	76.9	10施設	12人
	100名～500名未満	(n=56)	92.9	52施設	120人
	500名以上	(n=25)	96.0	24施設	105人
(勤務者数別) (看護師)	1名～5名未満	(n=56)	73.2	41施設	42人
	5名～100名未満	(n=67)	85.1	57施設	99人
	100名以上	(n=41)	95.1	39施設	151人
(採用希望数別) (看護師)	1名～5名未満	(n=47)	85.1	40施設	47人
	5名～100名未満	(n=56)	96.4	54施設	135人
	100名以上	(n=17)	94.1	16施設	80人
社会的 必要性別 【必属だと認める】	看護学部 看護学科	(n=159)	85.5	136施設	293人

※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)※保健師として採用



「採用したいと思う」と答えた32施設のみ抽出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)※保健師として採用

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 } 9名	10名以上	計	
		%	62.5%	3.1%	6.3%	0.0%	3.1%		0.0%
全体	32	施設数	20	1	2	0	1	0	⇒ 24 33
		名	20	2	6	0	5	0	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名~9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

【資料37 医療施設に対する調査結果まとめ】

金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称)
金城学院大学大学院
「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【医療施設対象】

令和3年3月
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

医療施設対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の金城学院大学「看護学部 看護学科」、金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」新設構想に関して、医療施設のニーズを把握する。

2. 調査概要

		医療施設対象調査
調査対象		医療施設の採用担当者
調査エリア		愛知県、岐阜県、三重県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	950施設
	回収数(回収率)	172施設(18.1%)
調査時期		2021年1月6日(水)～2021年1月26日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

医療施設対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・本社所在地・業種・従業員数・正規職員・社員の平均採用人数・本年度の採用予定数・看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数・金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度・金城学院大学の各学部・学科および研究科の社会的必要性・金城学院大学の各学部・学科卒業生および研究科修了生に対する採用意向・金城学院大学の各学部・学科卒業生および研究科修了生の毎年の採用想定人数

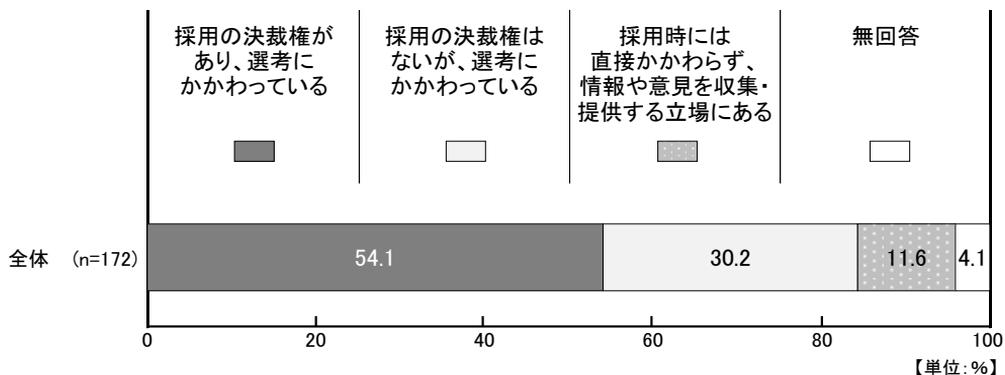
医療施設対象 調査結果



回答施設(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

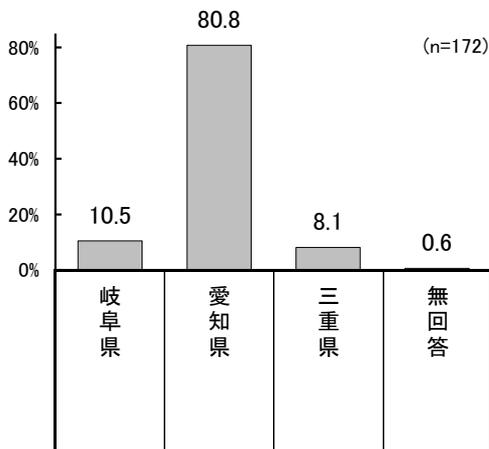
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

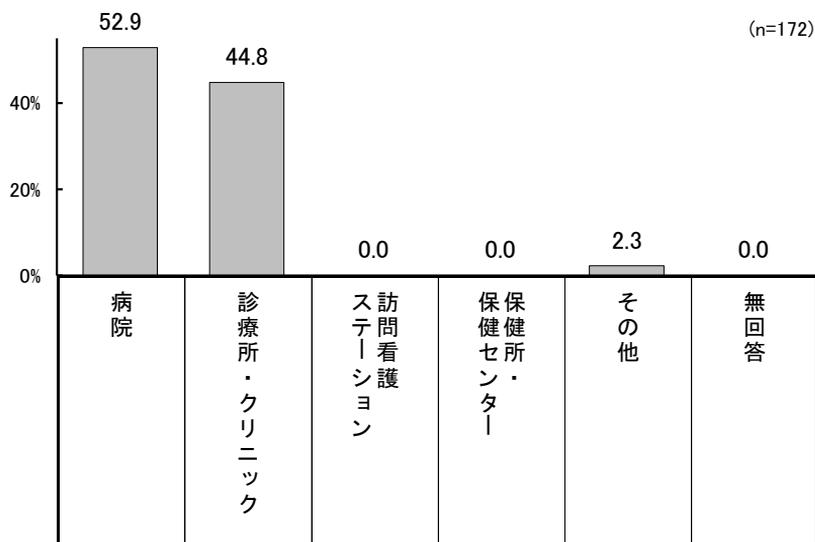
Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答施設(回答者)の属性(業種/従業員数)

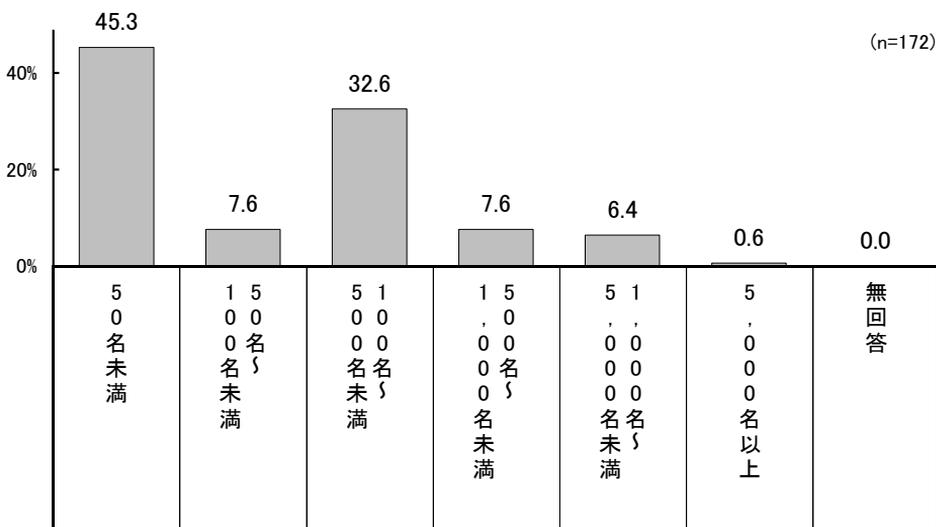
■業種

Q3. 貴院・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規職員・社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



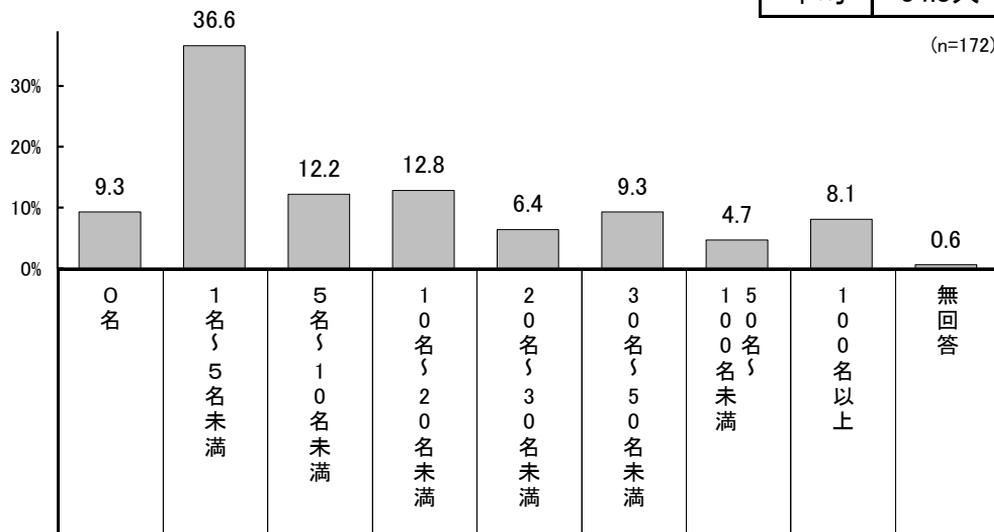
正規職員・社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

■正規職員・社員の平均採用人数

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規職員・社員の採用数について、お教えてください。

総数	5,953人
平均	34.8人

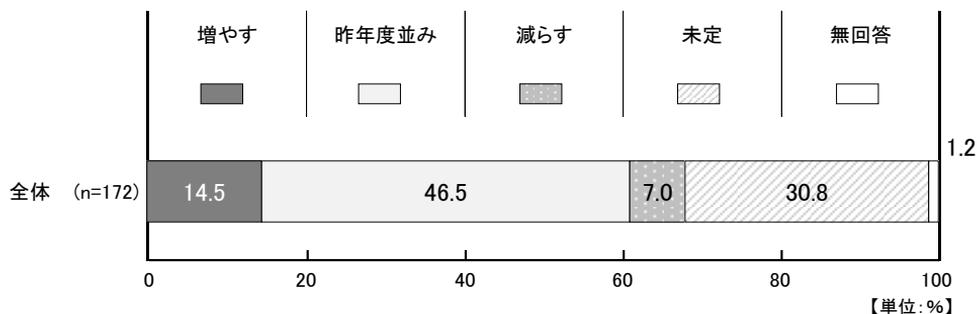
(n=172)



※総数は、平均的な正規職員・社員採用人数の合計値

■本年度の採用予定数

Q6. 貴院・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

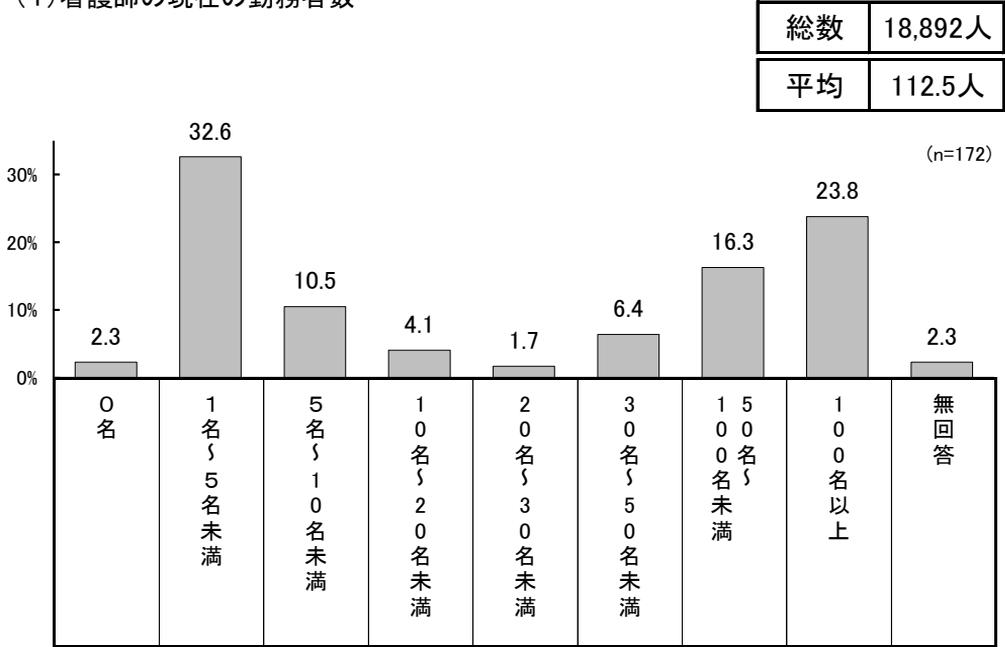


看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

■看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

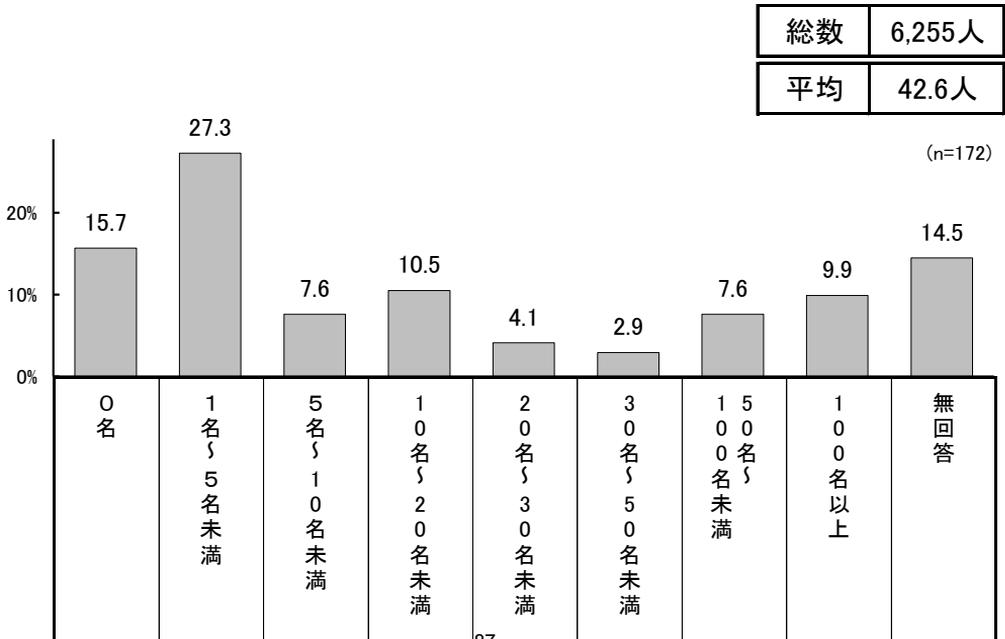
Q7. 貴院・貴団体に、(1)～(3)現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数、
 (4)～(6)今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(1)看護師の現在の勤務者数



※総数は、現在の勤務者数の合計値

(4)看護師の今後5年間の採用希望人数



※総数は、今後5年間の採用希望人数の合計値

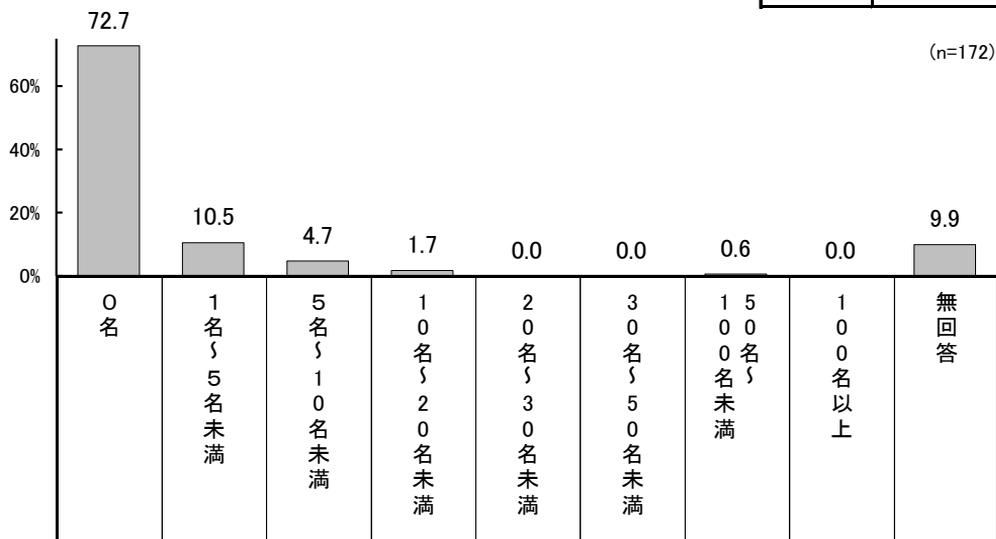
看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

■看護師・保健師・薬剤師の勤務者数・採用希望人数

Q7. 貴院・貴団体に、(1)～(3)現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数、
 (4)～(6)今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(2) 保健師の現在の勤務者数

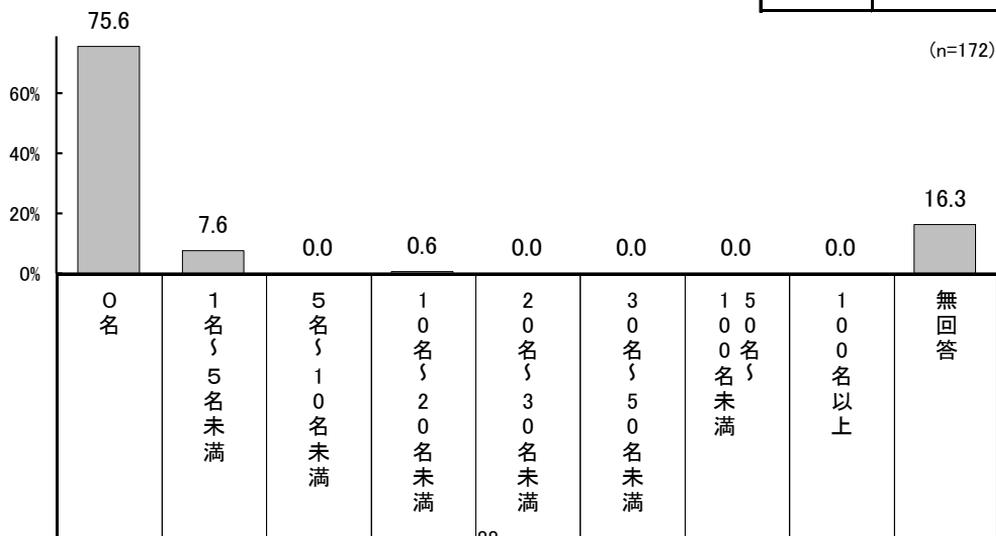
総数	189人
平均	1.2人



※総数は、現在の勤務者数の合計値

(5) 保健師の今後5年間の採用希望人数

総数	29人
平均	0.2人

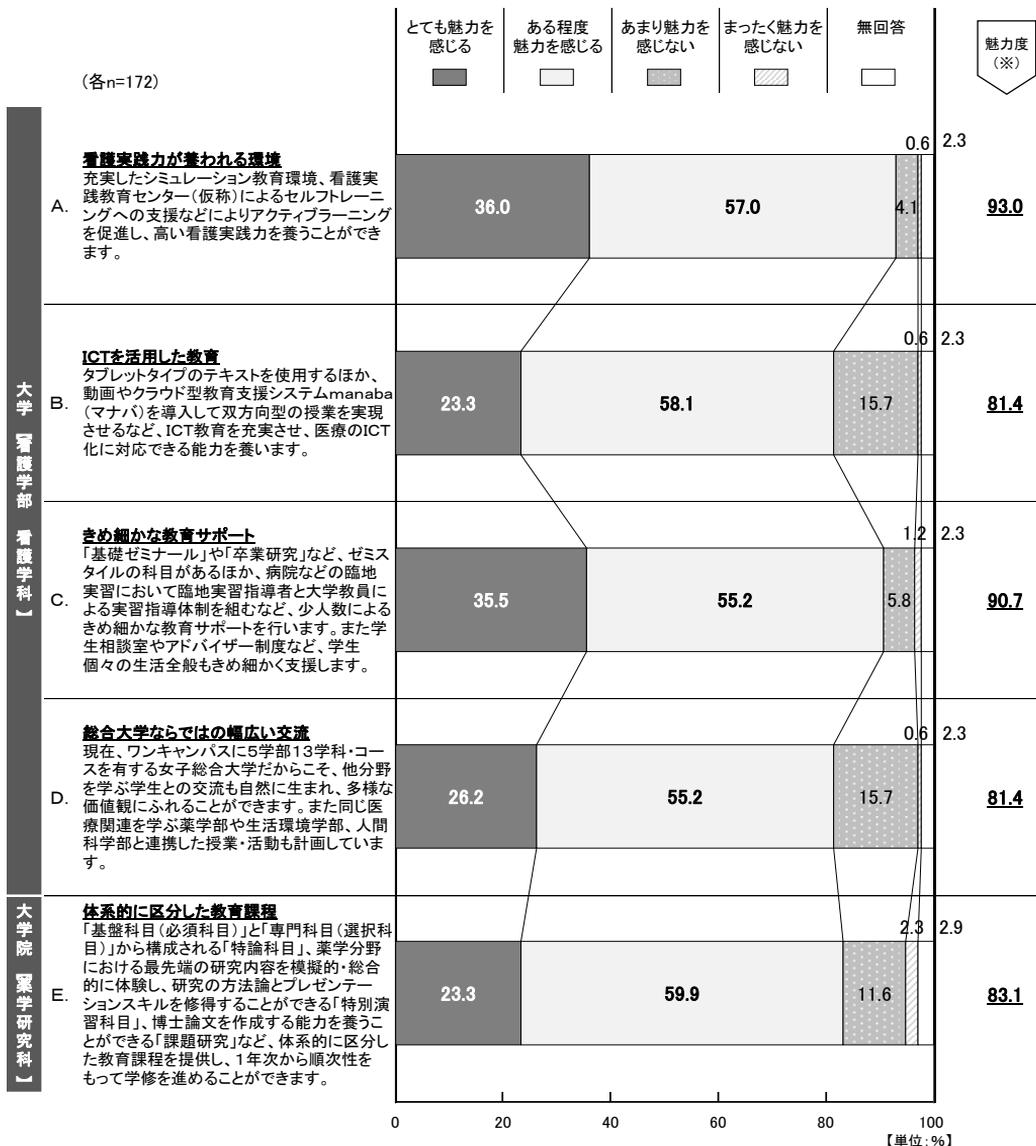


※総数は、今後5年間の採用希望人数の合計値

金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度

■金城学院大学の各学部・学科および研究科の特色に対する魅力度

Q8. 金城学院大学の「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)、金城学院大学大学院の「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)には以下の特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



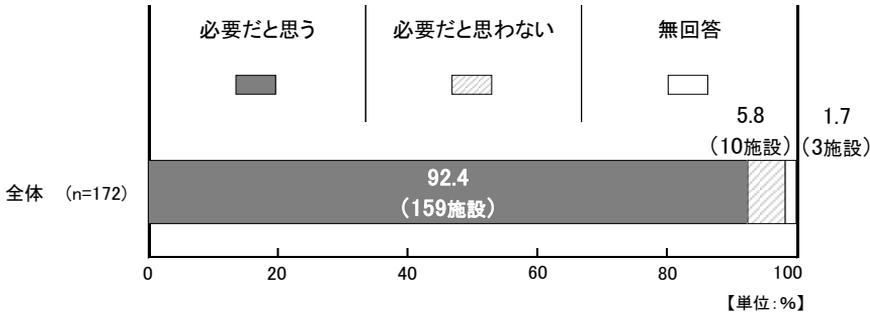
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

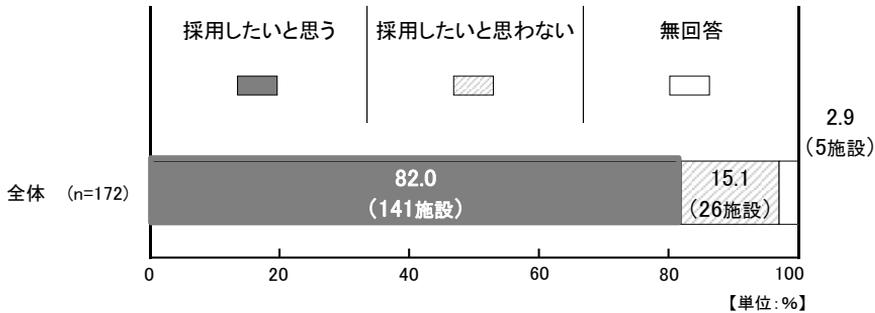
■金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)※看護師として採用



「採用したいと思う」と答えた141施設のみ抽出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

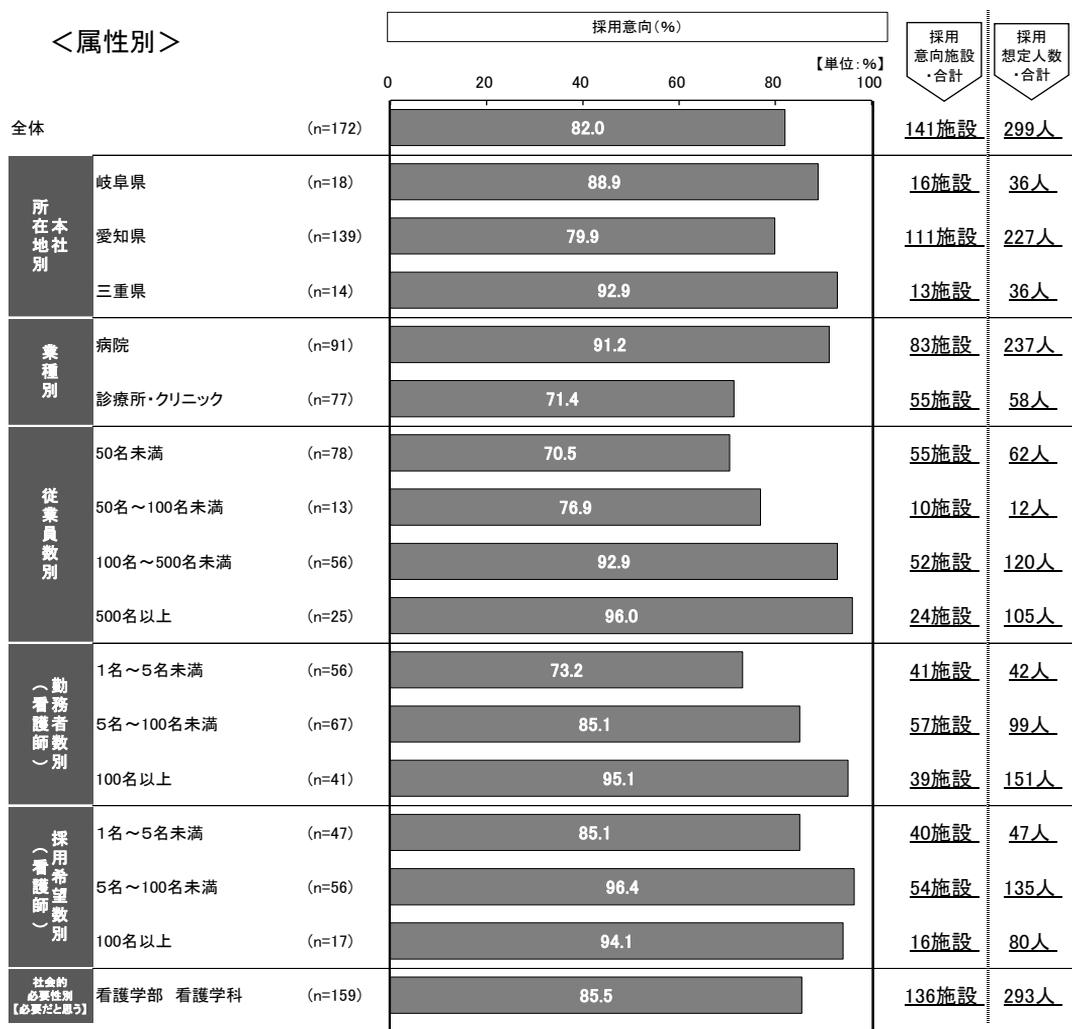
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)※看護師として採用

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計 (※ よしの びたの 採用 施設 採用 想定 人数 ・ 計 人数 を)	
		%	%	%	%	%	%		
全体		47.5%	13.5%	15.6%	1.4%	8.5%	4.3%	⇒	
	施設数	67	19	22	2	12	6		128
	名	67	38	66	8	60	60		299

金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」 卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

■金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数<属性別>

※金城学院大学「看護学部 看護学科(看護師資格所有者)」に対して、
Q10で「採用したいと思う」(※看護師として採用)と回答した施設を【採用意向施設】と定義し、さらに【採用意向施設】のうち、Q11で具体的な人数を回答した施設の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

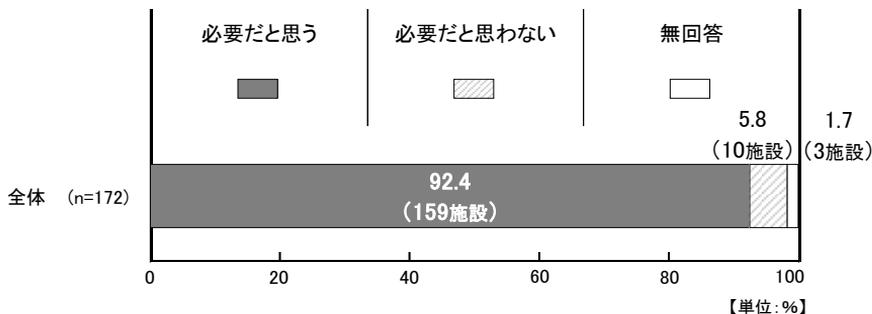


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

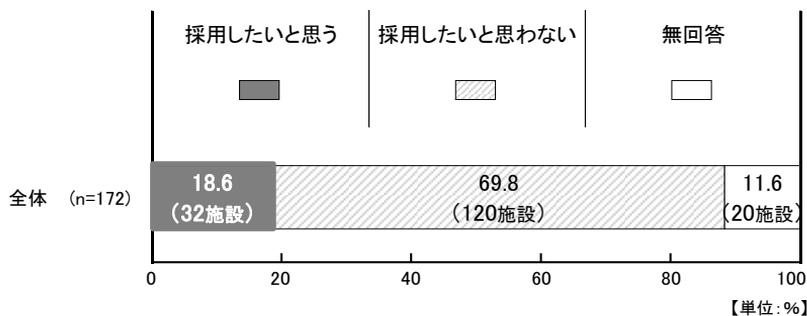
■金城学院大学「看護学部 看護学科」の社会的必要性

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)※保健師として採用



「採用したいと思う」と答えた32施設のみ抽出

■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)※保健師として採用

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計
		%	%	%	%	%	%	
全体	%	62.5%	3.1%	6.3%	0.0%	3.1%	0.0%	⇒
	施設数	20	1	2	0	1	0	
	名	20	2	6	0	5	0	

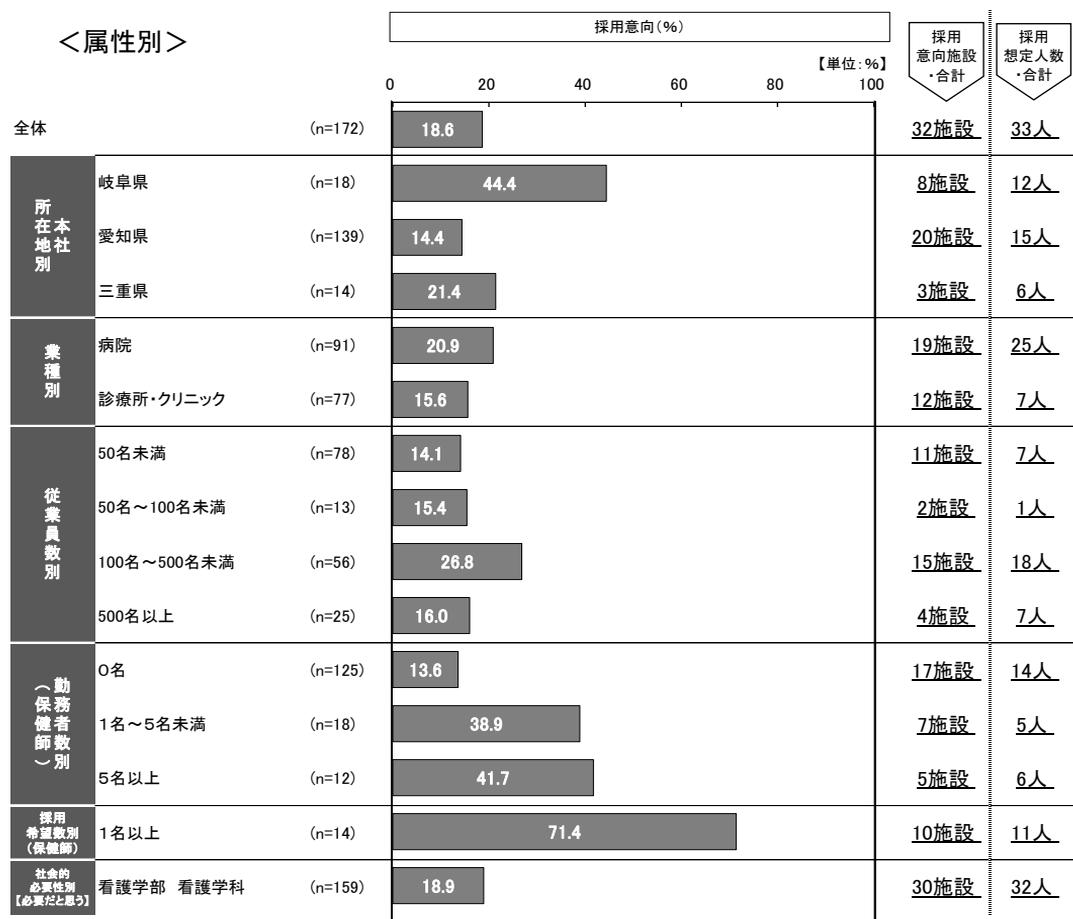
計お示よしたの(※びたの採用施設採用想定人数・計人数を)

⇒ 24 / 33

金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」 卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

■金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数<属性別>

※金城学院大学「看護学部 看護学科(保健師資格所有者)」に対して、
Q10で「採用したいと思う」(※保健師として採用)と回答した施設を【採用意向施設】と定義し、さらに【採用意向施設】のうち、Q11で具体的な人数を回答した施設の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

卷末資料 調查票



調査票

看護師・薬剤師の採用ご担当者様

金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中) 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」 (仮称、設置構想中)に関するアンケート

2022年(令和4年)4月より、金城学院大学では「看護学部 看護学科」(仮称)を、金城学院大学大学院では「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称)を新設することを構想しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部学科・研究科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※このアンケートや同封した資料に記載されている内容に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴院・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴院・貴団体の所在地について、都道府県名をお教えてください。

所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴院・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|--------|
| 1. 病院 | 3. 訪問看護ステーション | 5. その他 |
| 2. 診療所・クリニック | 4. 保健所・保健センター | |

Q4. 貴院・貴団体の従業員数(正規職員・社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴院・貴団体の過去3か年の平均的な正規職員・社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

Q6. 貴院・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 増やす | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 |

→次ページに続く

調査票

- Q7. 貴院・貴団体で、(1)～(3)現在、看護師・保健師・薬剤師として勤務されている方の人数、
 (4)～(6)今後5年間で看護師・保健師・薬剤師として新たに採用したいと思う人数を、それぞれ教えてください。
 (それぞれ、[]内に人数を記入)

(1) <u>看護師</u> の現在の勤務者数	[]人	(4) <u>看護師</u> の今後5年間の採用希望人数	[]人
(2) <u>保健師</u> の現在の勤務者数	[]人	(5) <u>保健師</u> の今後5年間の採用希望人数	[]人
(3) <u>薬剤師</u> の現在の勤務者数	[]人	(6) <u>薬剤師</u> の今後5年間の採用希望人数	[]人

ここからは、金城学院大学「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)、
 金城学院大学大学院「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)
 についてお聞きます。

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

- Q8. 金城学院大学の「看護学部 看護学科」(仮称、設置構想中)、
 金城学院大学大学院の「薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)」(仮称、設置構想中)
 には以下の特色があります。貴院・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色は
 それぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	
		→	1	②	3	4	
大学	看護学部 看護学科	A. 看護実践力が養われる環境 充実したシミュレーション教育環境、看護実践教育センター(仮称)によるセルフレARNINGへの支援などによりアクティブラーニングを促進し、高い看護実践力を養うことができます。	→	1	2	3	4
		B. ICTを活用した教育 タブレットタイプのテキストを使用するほか、動画やクラウド型教育支援システムmanaba(マナバ)を導入して双方向型の授業を実現させるなど、ICT教育を充実させ、医療のICT化に対応できる能力を養います。	→	1	2	3	4
		C. きめ細かな教育サポート 「基礎ゼミナール」や「卒業研究」など、ゼミスタイルの科目があるほか、病院などの臨地実習において臨地実習指導者と大学教員による実習指導体制を組むなど、少人数によるきめ細かな教育サポートを行います。また学生相談室やアドバイザー制度など、学生個々の生活全般もきめ細かく支援します。	→	1	2	3	4
		D. 総合大学ならではの幅広い交流 現在、ワンキャンパスに5学部13学科・コースを有する女子総合大学だからこそ、他分野を学ぶ学生との交流も自然に生まれ、多様な価値観にふれることができます。また同じ医療関連を学ぶ薬学部や生活環境学部、人間科学部と連携した授業・活動も計画しています。	→	1	2	3	4
大学院	薬学研究科	E. 体系的に区分した教育課程 「基礎科目(必須科目)」と「専門科目(選択科目)」から構成される「特論科目」、薬学分野における最先端の研究内容を模範的・総合的に体験し、研究の方法論とプレゼンテーションスキルを修得することができる「特別演習科目」、博士論文を作成する能力を養うことができる「課題研究」など、体系的に区分した教育課程を提供し、1年次から順次性をもって学修を進めることができます。	→	1	2	3	4

調査票

Q9. 貴院・貴団体(ご回答者)は、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)

		必要だと思う	必要だと思わない
大学	看護学部 看護学科	→ 1	2
大学院	薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程)	→ 1	2

Q10. 貴院・貴団体(ご回答者)では、金城学院大学の下記の学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)

		採用したいと思う	採用したいと思わない
大学	看護学部 看護学科(看護師資格所有者) ※看護師として採用	→ 1	2
	看護学部 看護学科(保健師資格所有者) ※保健師として採用	→ 1	2
大学院	薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程) ※薬剤師として採用	→ 1	2

Q11. Q10でいずれかの学部・学科、研究科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された学部・学科および研究科を卒業・修了した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

		1名	2名	3名	4名	5名 ～9名	10名 以上
大学	看護学部 看護学科(看護師資格所有者) ※看護師として採用	→ 1	2	3	4	5	6
	看護学部 看護学科(保健師資格所有者) ※保健師として採用	→ 1	2	3	4	5	6
大学院	薬学研究科 医療薬学専攻(博士課程) ※薬剤師として採用	→ 1	2	3	4	5	6

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

【資料38 アンケート同封資料】

✦ 学びの環境

自己学習やグループ学習を促す 施設の充実

東海・北陸地区トップクラスの蔵書数を誇る図書館、ラーニングcommons、ラウンジなどの学習施設が充実しており、グループワークや議論、発表など、学生の主体的な学びを支援します。

キャンパス内の専門施設との 連携・協働

女性みらい研究センター、KIDSセンター、国際交流センター、マルチメディアセンターなど、キャンパス内には多くの専門施設があります。そこで学内外の専門家や社会人、外国人留学生などと連携・協働した活動が実現するため、国際力やコミュニケーション力を磨くことができます。

開放的で美しいキャンパス

エラ・ヒューストン記念礼拝堂を中心に、弧を描くように校舎が広がります。開放的な空間は豊かな緑に囲まれ、美しいキャンパス環境の中で学び、過ごすことができます。



✦ 設置概要

- 設置キャンパス / 名古屋市守山区大森2-1723
- 修業年限 / 4年
- 開設時期 / 2022年4月
- 入学定員 / 100名 ● 学位 / 学士(看護学)
- 初年度納付金(入学金含む) / 1,900,000円
- 2年次以降納付金 / 1,700,000円

✦ 奨学金

金城サポート奨学金

年間学費が50万円になる金城独自の奨学金制度です。返還義務はなく、4年間の継続受給が可能。一般入試(前期)もしくは共通テスト利用入試(前期)を受験して、給付対象者をめざすことができます。

★この他にも学内奨学金を多数設けています。詳細は本学ホームページでご確認ください。

看護奨学金制度

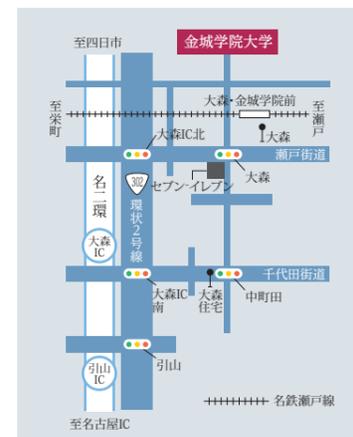
近隣の病院と多数提携を結び、看護奨学金制度も用意します。卒業後、病院が定める期間をその病院で働くことによって返済が免除される奨学金もあります。

✦ 競合する大学の学部・学科

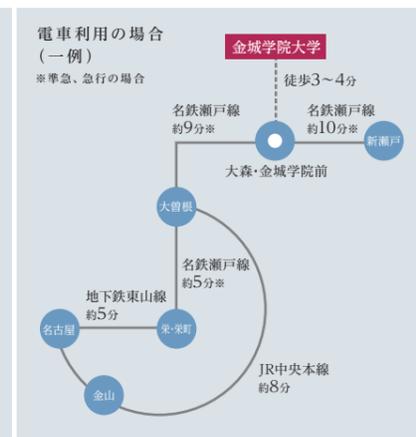
大学名	類似する学部・学科
相山女学園大学	看護学部 看護学科
中部大学	生命健康科学部 保健看護学科
名古屋学芸大学	看護学部 看護学科
名古屋女子大学	健康科学部 看護学科

(50音順)

✦ 設置場所



✦ アクセス



2022年4月開設予定 看護学部 看護学科

※仮称、設置構想中

多様な人々が、より健康に、
その人らしく生きられるよう、
看護の質の向上を
探究し続ける人に。



※記載の内容は現在計画中の予定であり
変更される可能性があります。

強く、優しく。



お問い合わせ
総務部総務担当 052-798-0180(代表)
〒463-8521 名古屋市守山区大森2-1723

2022年4月、金城学院大学は建学の精神に基づき、看護学部 看護学科(仮称)開設を計画中です。

◆金城学院の建学の精神

福音主義キリスト教に基づく女子教育

◆金城学院大学の目的

女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成する

医療現場を取り巻く社会的背景

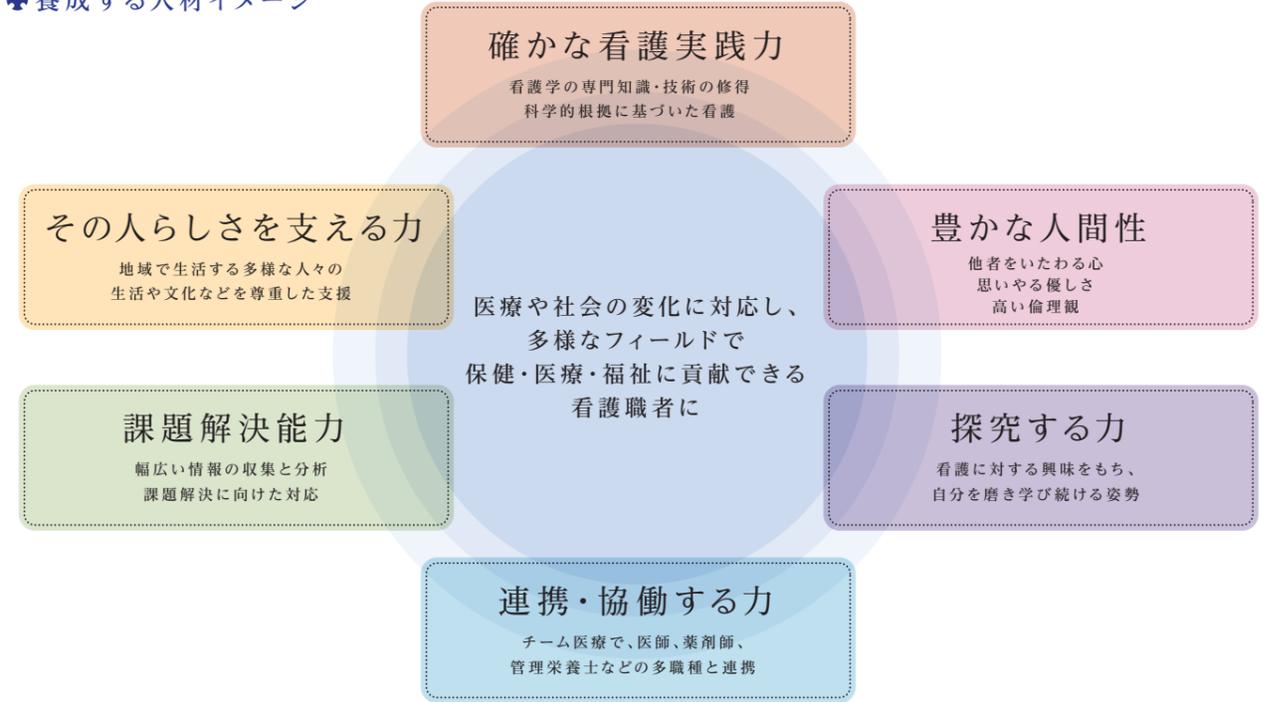
日本の保健・医療・福祉領域を取り巻く環境を見渡すと、少子高齢化の進展、生活習慣病やがんなど慢性疾患を抱えながら地域社会で生活する人の増加、核家族化による老々介護の増加、高齢者や子どもの虐待など、さまざまな課題が浮き上がってきます。こうした現代社会の変化を受けて医療現場は、療養の場を病院中心の体制から人々の生活の場へとシフトする「地域医療構想」を推進しています。看護職者が活躍するフィールドは、病棟のみならず、外来や地域社会へとますます拡大していきます。

また、訪日・在留外国人の増加、人々の価値観の多様化など、現代社会のグローバル化にも注目する必要があります。看護職者も、多様な人々の文化や社会的背景を理解し、尊重し、柔軟に関わることが求められています。

金城学院大学 看護学部の教育理念・養成する人材像

豊かな人間性を形成することにより、多様な価値観や文化を尊重し、人間への畏敬の念をもって他者をいたわり、思いやる優しさを身につける。そのうえで、看護学の専門知識に基づき自ら考えて判断する力と、確かな看護技術をもって実践する能力を養い、看護の質の向上に向けて探究し続ける看護職者を養成することです。

◆養成する人材イメージ



◆学びの特色

看護実践力が養われる環境

充実したシミュレーション教育環境、看護実践教育センター(仮称)によるセルフトレーニングへの支援などによりアクティブラーニングを促進し、高い看護実践力を養います。

ICT*を活用した教育

*Information and Communication Technology
タブレットタイプのテキストを使用するほか、動画やクラウド型教育支援システムmanaba(マナバ)を導入して双方向型の授業を実現させるなどICT教育を充実させ、医療のICT化に対応できる能力を養います。

きめ細かな教育サポート

「基礎ゼミナール」や「卒業研究」など、ゼミスタイルの科目があるほか、病院などの臨地実習において臨地実習指導者と大学教員による実習指導体制を組むなど、少人数によるきめ細かな教育サポートを行います。また学生相談室やアドバイザー制度など、学生個々の生活全般もきめ細かく支援します。

総合大学ならではの幅広い交流

現在、ワンキャンパスに5学部13学科・コースを有する女子総合大学だからこそ、他分野を学ぶ学生との交流も自然に生まれ、多様な価値観にふれることができます。また同じ医療関連を学ぶ薬学部や生活環境学部、人間科学部と連携した授業・活動も計画しています。



「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に対応

厚生労働省の看護基礎教育検討会が規則を改正し、4年制大学において2022年度入学生から適用を決定。この新規則に基づいたカリキュラムを制定します。

取得をめざす資格

● 看護師
国家試験受験資格

● 保健師
入学後、所定の単位を修めた学生のみ
国家試験受験資格

保健師の資格を取得すれば、申請により以下の資格が得られます。
■ 養護教諭二種免許状 ■ 第一種衛生管理者免許証

活躍のフィールド

- 看護師・保健師
 - 医療関連機関：病院、国・自治体、国際関連機関、訪問看護センター など
 - 福祉関連機関：介護保健施設、社会福祉施設 など
 - 国内外の企業 など
 - 国内外の大学院への進学